Acronis Access インストールおよびア ップグレード ガイド



著作権情報

Copyright © Acronis International GmbH, 2002-2014.All rights reserved.

「Acronis」および「Acronis セキュア ゾーン」は、Acronis International GmbH の登録商標です。

「Acronis Compute with Confidence」、「Acronis Startup Recovery Manager」、「Acronis Active Restore」、「Acronis Instant Restore」、および Acronis ロゴは、Acronis International GmbH の商標です。

Linux は、Linus Torvalds の登録商標です。

VMware および VMware Ready は、VMware, Inc. の米国ならびにその他の地域における商標 または登録商標です。

Windows および MS-DOS は、Microsoft Corporation の登録商標です。

ここに記載されているその他すべての商標および著作権は、それぞれの権利所有者に帰属します。

著作権所有者の明示的な許可なく本ドキュメントの実質的な修正版を配布することは禁止されています。

著作権所有者からの事前の許可がない限り、いかなる形態(紙媒体など)であっても商業目的で本 ドキュメントまたはその派生物を配布することは禁止されています。

ドキュメントは、「現状のまま」で提供され、商品性に対する黙示的保証、特定の目的に対する適合 性、権利を侵害していないことなどを含む明示的または黙示的な条件、言明、および保証に関する 責任を負いません(免責条項の範囲が法的に無効と見なす場合を除く)。

本ソフトウェアまたはサービスにサードパーティのコードが付属している場合があります。サードパ ーティのライセンス条項の詳細については、ルート インストール ディレクトリにある license.txt フ ァイルをご参照ください。本ソフトウェアまたはサービスと共に使用するサードパーティ コードおよび 関連するライセンス条項の最新の一覧については、http://kb.acronis.com/content/7696 をご参照 ください。

Acronis の特許取得済みの技術

この製品で使用されている技術は、以下の番号の米国特許のうち 1 つ以上の保護対象です。 7,047,380; 7,275,139; 7,281,104; 7,318,135; 7,353,355; 7,366,859; 7,475,282; 7,603,533; 7,636,824; 7,650,473; 7,721,138; 7,779,221; 7,831,789; 7,886,120; 7,895,403; 7,934,064; 7,937,612; 7,949,635; 7,953,948; 7,979,690; 8,005,797; 8,051,044; 8,069,320; 8,073,815; 8,074,035; 8,145,607; 8,180,984; 8,225,133; 8,261,035; 8,296,264; 8,312,259; 8,347,137; 8,484,427; 8,645,748; 8,732,121 および出願中特許。

目次

•	インストール	5
1.1	要件	5
1.1	.1 オペレーティング システムの要件	5
1.1	.2 モバイル クライアントの要件	5
1.1	.3 推奨される取りパートウェア構成	6
1.1	.5 デスクトップ クライアント要件	7
1.2	サーバーに Acronis Access Advanced をインストールする	8
1.3	設定ユーティリティの使用	10
1.4	セットアップ ウィザードの使用	14
1.5	Acronis Access のクラスタリング	20
1.6	Acronis Access の負荷分散	20
2	Microsoft フェールオーバー クラスタ上での Acronis Access のインストール	20
2.1	Windows 2003 Microsoft フェールオーバー クラスタ上での Acronis Access	
	のインストール	21
2.2	Windows 2008 Microsoft フェールオーバー クラスタ上での Acronis Access のインストール	
2.3	Windows 2012 Microsoft フェールオーバー クラスタ上での Acronis Access のインストール	50
3	アップグレード	65
3.1	Acronis Access の新しいバージョンへのアップグレード	65
3.2	Acronis Access Advanced へのアップグレード	66
3.3		
	mobilecho ハーション 4.5 以前からのアップクレート	67
3.3	MODILECHO ハーション 4.5 以前からのアップクレート	67 67
3.3 3.3	ModileCho ハーション 4.5 以前からのアッフクレート	67 67 75
3.3 3.3 3.3	 MODILECHO ハーション 4.5 以前からのアップクレート 第4.5 以前からのアップクレート アップグレード プロセス 3 mobilEcho 4.5 へのダウングレード activ Echo 4.5 へのダウングレード 	67 67
3.3 3.3 3.3 3.4	Mobile Cho ハーション 4.5 以前からのアッフクレート 3.1 開始する前に 3.2 アップグレード プロセス 3.3 mobilE cho 4.5 へのダウングレード activE cho バージョン 2.7 以前からのアップグレード 1. 開始する前に	67 67
3.3 3.3 3.3 3.4 3.4 3.4 3.4	 mobilecho ハーション 4.5 以前からのアップクレート 第4.5 以前からのアップクレート 第4.5 つりていたい アップグレード プロセス mobilEcho 4.5 へのダウングレード activEcho バージョン 2.7 以前からのアップグレード 用始する前に アップグレード プロセス 	67 67 110 111 111
3.3 3.3 3.4 3.4 3.4 3.4 3.5	 mobilecho ハーション 4.5 以前からのアップクレート 第4.5 以前からのアップクレート 第4.5 つりたい 第4.5 つりたい 第5.3 mobilEcho 4.5 へのダウングレード activEcho バージョン 2.7 以前からのアップグレード 第6.1 開始する前に 第6.2 アップグレード プロセス 7 フラスタ構成のアップグレード 	67 67 110 111 111
3.3 3.3 3.4 3.4 3.4 3.5 4	Mobile Cho パーション 4.5 以前からのアップクレート 3.1 開始する前に 3.2 アップグレード プロセス 3.3 mobilE cho 4.5 へのダウングレード 3.3 mobilE cho 4.5 へのダウングレード 4.1 開始する前に 3.2 アップグレード プロセス 4.2 アップグレード プロセス 5.2 アップグレード プロセス 5.3 Microsoft フェールオーバー クラスタ上での Acronis Access のアップグレー	67
3.3 3.3 3.4 3.4 3.4 3.5 4 5	MobileCho ハーション 4.5 以前からのアップクレート 3.1 開始する前に 3.2 アップグレード プロセス 3.3 mobilEcho 4.5 へのダウングレード 3.3 mobilEcho 4.5 へのダウングレード 3.1 開始する前に 3.2 アップグレード プロセス 4.2 アップグレード プロセス 5.2 アップグレード プロセス 5.3 Microsoft フェールオーバー クラスタ上での Acronis Access のアップグレー Microsoft フェールオーバー クラスタでの mobilEcho 4.5 からのアップグレー	67 67 110 111 111 133 F135 F138
3.3 3.3 3.4 3.4 3.4 3.5 4 5 5.1	MobilEcho パーション 4.5 以前からのアッククレート 1.1 開始する前に 2.2 アップグレード プロセス 3.3 mobilEcho 4.5 へのダウングレード activEcho バージョン 2.7 以前からのアップグレード 1.1 開始する前に 2.2 アップグレード プロセス クラスタ構成のアップグレード Microsoft フェールオーバー クラスタ上での Acronis Access のアップグレー Microsoft フェールオーバー クラスタでの mobilEcho 4.5 からのアップグレー Windows 2003 フェールオーバー クラスタ上の mobilEcho サーバーを Acroni Access にアップグレードする	67 67
3.3 3.3 3.4 3.4 3.4 3.5 4 5.1 5.1 5.2	MobileCho パーション 4.5 以前からのアックウレート 1 開始する前に 2 アップグレード プロセス 3 mobilEcho 4.5 へのダウングレード activEcho バージョン 2.7 以前からのアップグレード 1 開始する前に 2 アップグレード プロセス クラスタ構成のアップグレード Microsoft フェールオーバー クラスタ上での Acronis Access のアップグレー Microsoft フェールオーバー クラスタでの mobilEcho 4.5 からのアップグレー Windows 2003 フェールオーバー クラスタ上の mobilEcho サーバーを Acroni Access にアップグレードする Windows 2008 フェールオーバー クラスタ上の mobilEcho サーバーを Acroni Access にアップグレードする	67 67 110 111 111 133 F135 F138 s 138 s

6	クイック スタート: モバイル アクセス	178
6.1	初期設定	178
6.2	最初のゲートウェイ サーバーとデータ ソースの構成	183
6.3	ポリシーの設定	185
6.4	Access モバイル クライアント アプリケーションのインストール	186
6.5	クライアント管理での登録	187
7	クイック スタート: 同期と共有	192
7.1	初期設定	192
7.2	ファイルにアクセスするためのウェブ インターフェイスの使用	197
7.3	デスクトップ クライアントの使用	202

1 インストール

セクションの内容

要件	5
サーバーに Acronis Access Advanced をインストールする	8
設定ユーティリティの使用	10
セットアップ ウィザードの使用	14
Acronis Access のクラスタリング	20
Acronis Access の負荷分散	20

1.1 要件

Acronis Access をインストールする前に、管理者としてログインする必要があります。サーバーが次の要件を満たしていることを確認します。

セクションの内容

オペレーティング システムの要件	5
モバイル クライアントの要件	5
推奨される最小ハードウェア構成	6
ネットワーク要件	6
デスクトップ クライアント要件	7

1.1.1 オペレーティング システムの要件

推奨:

Windows 2012(すべてのエディション) Windows 2008 R2 64 ビット

サポート対象:

Windows 2012 R2 Windows 2012 (Standard Edition および Datacenter Edition) Windows 2008 (各エディション、32/64 ビット版)

注意: テスト用にシステムをインストールして、Windows 7 以降で実行することができます。これらのデスクト ップ クラスの構成は、本番環境ではサポートされません。

1.1.2 モバイル クライアントの要件

モバイル クライアント アプリケーションは、次のものと互換性があります。

サポートされるデバイス:

- Apple iPad 第 2 世代、第 3 世代、第 4 世代、Air、Air 2
- Apple iPad Mini 第 1 世代、第 2 世代、第 3 世代
- Apple iPhone 3GS, 4, 4S, 5, 5s, 5c, 6, 6 Plus
- Apple iPod Touch 第 4 世代、第 5 世代
- Android のスマートフォンおよびタブレット(x86 プロセッサ アーキテクチャのデバイスはサポ ートされていません)

サポートされる OS:

- iOS 6 以降
- Android 2.2 以降(x86 プロセッサ アーキテクチャのデバイスはサポートされていません)

Acronis Access アプリケーションは次のウェブ サイトからダウンロードできます。

- iOS の場合 http://www.grouplogic.com/web/meappstore
- Android の場合 https://play.google.com/store/apps/details?id=com.grouplogic.mobilecho

1.1.3 推奨される最小ハードウェア構成

プロセッサ: Intel/AMD

注意: Acronis Access サーバーは仮想コンピュータにインストールできます。

メモリ:

- 本番環境: 最低 8 GB。これ以上を推奨。
- 試用環境またはテスト環境: 最低 4 GB。8 GB 以上を推奨。

ディスク領域:

- ソフトウェアのインストールには、300 MB のディスク領域が必要です。
 注意: Acronis Access インストーラを実行するための十分な領域があることを確認してください。インストーラを実行するには、1 GB の空き領域が必要です。
- 同期と共有機能で使用されるファイルリポジトリは、デフォルトでローカル コンピュータにイン ストールされます。
- テスト パラメータを満たすため、十分な空き領域を確保してください。50 GB 以上が推奨です。

1.1.4 ネットワーク要件

- 1 つの静的 IP アドレス。一部の構成では、2 つの IP アドレスが必要になることがあります。
- 任意(推奨): 上記の IP アドレスに対応する FQDN。
- Active Directory が使用される場合は、ドメイン コントローラへのネットワーク アクセス。
- 電子メール通知および招待メッセージ用の SMTP サーバーへのネットワーク アクセス。
- アドレス 127.0.0.1 は Access モバイル クライアントの内部で使用するため、VPN、 MobileIron、Good Dynamics などのトンネルを経由して転送しないでください。
- Access サーバーまたはゲートウェイ サーバーが実行されているコンピュータはすべて、 Windows Active Directory にバインドされていなければなりません。

HTTPS トラフィックを処理する 2 つのコンポーネントとして、ゲートウェイ サーバーと Acronis Access サーバーがあります。ゲートウェイ サーバーは、モバイル クライアントからファイルとデー タ ソースの共有の両方にアクセスするのに使われます。Access サーバーは、「同期と共有」クライ アントのウェブ ユーザー インターフェイスを提供すると同時に、「モバイル アクセス」と「同期と共 有」の両方の管理コンソールにもなります。サーバーに 2 つの IP アドレスを割り当て、これらのア ドレスに対して 2 つの別個の DNS エントリを割り当てることをお勧めします。ただし、コンポーネ ントごとに別ポートを使って、1 つの IP アドレスだけを使用するように、サーバーを構成することも できます。通常のモバイル アクセスのみのインストールではこの 1 個の IP アドレス構成で十分 ですが、同期と共有も使用する場合は 2 個の IP アドレスを使用することをお勧めします。 モバイル デバイスがファイアウォールの外部からアクセスできるようにする場合は、次のようないく つかのオプションがあります。

- ポート 443 アクセス: Acronis Access は暗号化された転送に HTTP を使用するため、ポート 443 で HTTPS トラフィックを許可する一般的なファイアウォール ルールに自然に適合します。 ポート 443 から Acronis Access サーバーへのアクセスを許可すると、権限のある iPad ク ライアントをファイアウォールの内外で接続できます。希望する他のポートを使用するように、 Acronis Access を設定することもできます。
- VPN: Access モバイル クライアントは VPN 接続を介したアクセスをサポートします。組み込みの iOS VPN クライアントとサードパーティの VPN クライアントの両方がサポートされています。Mobile Device Management(MDM)システムまたは Apple iPhone 構成ユーティリティを使用して iOS 管理プロファイルをオプションでデバイスに適用し、証明書ベースの iOS 「VPN オンデマンド」機能を構成し、Acronis Access サーバーや会社の他のリソースへのシームレスなアクセスを実現できます。
- リバース プロキシ サーバー: リバース プロキシ サーバーが設定されている場合は、開かれ たファイアウォール ポートまたは VPN 接続がなくても iPad クライアントを接続できます。 Access モバイル クライアント アプリケーションは、リバース プロキシのパススルー認証、ユ ーザー名/パスワード認証、Kerberos 制約付き委任認証、および証明書認証をサポートします。 Access モバイル クライアント アプリケーションへの証明書追加の詳細については、「クライア ント証明書の使用」の記事を参照してください。
- Access モバイル クライアント アプリケーションでの Good Dynamics の有効化: Access モバイル クライアント アプリケーションには、Good Dynamics プラットフォームに登録して管 理する機能が用意されています。この構成では、Access モバイル クライアントとゲートウェイ サーバーの間のすべてのネットワーク通信が、Good Dynamics のセキュリティで保護された 通信チャネルと Good Proxy サーバーを経由して転送されます。詳細については、『Access モバイル クライアント for Good Dynamics』のマニュアル ページを参照してください。
- MobileIron AppConnect enrolled Access Mobile Client app(MobileIron AppConnect に登録された Access モバイル クライアント): Access モバイル クライアント アプリケーショ ンが MobileIron の AppConnect プラットフォームに登録されている場合は、Access モバイ ル クライアントとゲートウェイ サーバー間のすべてのネットワーク通信を MobileIron Sentry 経由で転送できます。詳細については、『MobileIron AppConnect』のマニュアル ページを参 照してください。

証明書:

Acronis Access には、テスト目的の自己署名証明書が付属しており、インストールされます。本稼 動時には、適切な CA 証明書を実装する必要があります。

注意:自己署名証明書を使用する際、一部のウェブ ブラウザに警告メッセージが表示されます。これらのメッセージを非表示にすると、システムを問題なく使用できます。本番環境で自己署名証明書を使用することはお勧めしません。

1.1.5 デスクトップ クライアント要件

サポートされるオペレーティング システム:

Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 および Windows 8.1

注意: Windows XP で Acronis Access デスクトップ クライアントを使用する場合、厳しくない SSL 暗号 化ルールを使用する必要があります。詳細については、「Acronis Access Tomcat SSL 暗号化の変更」 を参照してください。

■ Mac OS X 10.6.8 以降および 64 ビット ソフトウェアと互換性のある Mac

注意: Acronis Access デスクトップ クライアントをインストールする場合は、作成する同期フォルダが別のソフトウェアによる同期の対象となるフォルダに含まれないようにしてください。既知の競合のリストについては、「ソフトウェアの競合」を参照してください。

サポート対象ウェブ ブラウザ:

- Mozilla Firefox 6 以降
- Internet Explorer 9 以降

注意: 安全でないバージョンである Internet Explorer 8 のサポートが必要な場合は、「Acronis Access Tomcat SSL 暗号化の変更」の内容を実行してください。Internet Explorer 8 は、サーバー管理ではサポートされません。

注意: Internet Explorer を使用する場合、ファイルをダウンロードするためには、[暗号化されたページを ディスクに保存しない] にチェック マークが付いていない状態にしておく必要があります。この設定は、[イ ンターネット オプション] → [詳細設定] → [セキュリティ] にあります。

- Google Chrome
- Safari 5.1.10 以降

1.2 サーバーに Acronis Access Advanced をインストー ルする

次の手順では、提供された自己署名証明書を使用して HTTPS で Acronis Access Advanced を新規インストールしてテストできます。

注意: アップグレード手順については、「アップグレード『65ページ』」のセクションを参照してください。

注意: クラスタでのインストール手順については、「クラスタでの Acronis Access のインストール 『20ページ』」のセクションを参照してください。

Acronis Access のインストールは次の 3 ステップで行います。

- 1. Acronis Access Server インストーラのインストール。
- 2. Acronis Access サーバーが使用するネットワーク ポートおよび SSL 証明書の構成
- 3. ウェブベースのセットアップ ウィザードによる、用途に合わせたサーバーの構成

Acronis Access のインストール

管理者としてログインしていることを確認してから Acronis Access をインストールしてください。

- 1. Acronis Access のインストーラをダウンロードします。
- インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 3. 実行可能なインストーラをダブルクリックします。

Ac	Acronis Access Advanced へようこそ			
	Acronis Access			
	Acronis Access Advanced セットアップ ユーティリティへ ようこそ このユーティリティは、Acronis Access をインストール、アップデート、または削除しま す。			
L	7.0.0x340 (次ヘ>) キャンセル			

- 4. [次へ] を押して開始します。
- 5. 使用許諾契約を読み、承諾します。
- 6. **[インストール]**を押します。

注意: 複数の Acronis Access サーバーを配置する場合や、標準構成以外でインストールを行う場合は、 [カスタム インストール] ボタンからインストールするコンポーネントを選択することができます。

7. Acronis Access メイン フォルダのデフォルト パスを使用するか新しいパスを選択し、[OK] を 押します。

Acronis Access のシステム パスを指定する 🛛 🔀
Acronis Access
Acronis Access システムのインストール先ドライブ文字を含む、絶対パスを入力してくださ い。 このディレクトリが存在しない場合は、作成されます。
注意:このパスのすべてのファイルとフォルダは、セットアップ時に置き換えられることがあります。 す。 Acronis Access システム ディレクトリー
C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥ 参照
<戻る 次へ > キャンセル

8. Postgres ユーザーのパスワードを設定し、書き留めておきます。このパスワードは、データベースのバックアップとリカバリに必要です。

ローカルの PostgreSQLの構成
Acronis Access
PostgreSQL のインストール ロケーション: データ パス: C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥ 参照
PostgreSQL スーパーユーザー資格情報:
リモート アクセスのためにファイアウォールのこのボートを開く:
<戻る 次へ > キャンセル

- 9. インストールされるコンポーネントがすべてリストされたウィンドウが表示されます。 続行するに は、[OK] を押します。
- 10. Acronis Access のインストーラが完了したら、[終了] を押します。
- 11. 設定ユーティリティが自動的に起動し、インストールが完了します。



設定ユーティリティの使用方法については、「設定ユーティリティの使用『10ページ』」ページを参照してください。

1.3 設定ユーティリティの使用

Acronis Access インストーラには、設定ユーティリティを付属しています。このユーティリティを使用 すると、Acronis Access ゲートウェイ サーバー、ファイル リポジトリおよび Acronis Access サー バーへのアクセスを迅速簡単に設定できます。ゲートウェイ サーバーは、モバイル クライアントか らファイルと共有の両方にアクセスするのに使われます。Access サーバーは、「同期と共有」クライ アントのウェブ ユーザー インターフェイスを提供すると同時に、モバイル アクセスと同期と共有の 両方の管理コンソールにもなります。

注意: Acronis Access の IP アドレス設定のベスト プラクティスに関する詳細については、「ネットワーク要件『6ページ』」セクションを参照してください。

注意: Microsoft Windows 証明書ストアに証明書を追加する方法については、「証明書の使用」の記事を参照してください。

Access サーバーの概要

@ Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリボジト サーバー エンドボイント アドレス 利用可能なすべてのアドレス ▼ ポート 3000 証明書 Acronis Access … 「ポート 80 での接続を許可します	기 - サービス アカウント ・ ローカル システム アカウント
設定ログ 自己署名証明書を作成しています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ	OK キャンセル 適用

Access サーバーは、「同期と共有」クライアントのウェブ ユーザー インターフェイスを提供すると 同時に、モバイル アクセスと同期と共有の両方の管理コンソールにもなります。

- アドレス: ウェブ インターフェイスの FQDN または IP アドレス、またすべてのインターフェイ スでリッスンするには [すべてのアドレス] を選択します。
- **ポート**: ウェブ インターフェイスのポート。
- 証明書: ウェブ インターフェイスの証明書のパス。Microsoft Windows 証明書ストアから証明書を選択できます。
- ポート 80 での接続を許可します: このオプションが選択されている場合、Tomcat は、セキュ アでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートに リダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスを オンにしないでください。
- サービス アカウント: これにより、Acronis Access サーバー サービスを別のアカウントのコン テキストで実行できます。通常のインストールでは必要ありません。

ゲートウェイ サーバーの概要

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリポジト!	<u>д</u>
サーバーエンドポイント アドレス 利用可能なすべてのアドレス <	- サービス アカウント
ポート 443	
証明書 Acronis Access]	
 ■ Access リーバーに対するフロキン要求 ■ ボート 80 での接続を許可します 	
	<u> </u>
自己署名証明書を作成しています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました	•
Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました	
ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ	OK キャンセル 適用

ゲートウェイ サーバーは、モバイル クライアントからファイルと共有の両方にアクセスするのに使われます。

- アドレス: ゲートウェイ サーバーの FQDN または IP アドレス、またすべてのインターフェイス でリッスンするには [すべてのアドレス] を選択します。
- **ポート**: ゲートウェイ サーバーのポート。
- 証明書: ゲートウェイ サーバーの証明書のパス。Microsoft Windows 証明書ストアから証明 書を選択できます。
- サービス アカウント: これにより、ゲートウェイ サーバー サービスを別のアカウントのコンテキ ストで実行できます。通常のインストールでは必要ありません。
- Access サーバーに対するプロキシ要求: 有効になっている場合、ユーザーはゲートウェイ サ ーバーに接続します。このサーバーが Access サーバーのプロキシ サーバーとして機能しま す。これは、Access サーバーとゲートウェイ サーバーが同じコンピュータにインストールされ ている場合に使用できます。
- ポート 80 での接続を許可します: このオプションが選択されている場合、Tomcat は、セキュ アでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートに リダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスを オンにしないでください。

ファイル リポジトリの概要

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリボジトリ サーバー エンドボイント アドレス 利用可能なすべてのアドレス ポート 5787 ファイル ストアのパ C:¥ProgramData¥Acronis¥Acce	 サービス アカウント ● ローカル システム アカウント ● このアカウント パスワード パスワードの確認
設定ログ 自己署名証明書を作成しています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ	OK キャンセル 適用

ファイル リポジトリは、同期と共有機能によって使われます。同期と共有をまだ有効にしていない場合は、標準の値を受け入れます。同期と共有を使用している場合、ファイル ストアのパスとして、ストレージに使用するディスクのロケーションを指定する必要があります。ストレージに Amazon S3 を使用する計画がある場合、デフォルトの値でかまいません。

- アドレス: ファイル リポジトリの FQDN または IP アドレス、またすべてのインターフェイスで リッスンするには [すべてのアドレス] を選択します。IP または DNS アドレスを指定する場合、 同じアドレスを、ウェブ インターフェイスの [ファイル リポジトリ] セクションにも指定する必要が あります。詳しくは、「ファイル リポジトリ」の記事を参照してください。
- ポート: ファイル リポジトリのポート。同じポートを、ウェブ インターフェイスの [ファイル リポジ トリ] セクションにも指定する必要があります。詳しくは、「ファイル リポジトリ」の記事を参照して ください。
- ファイル ストアのパス: [ファイル ストア] の UNC パス。ファイル ストアのパスを変更する場合は、元のファイル ストアの場所に既に存在するファイルすべてを、新しい場所に手動でコピーする必要があります。

注意: ファイル ストアを別の場所に移動する場合は、新しいファイルが正しく新しい場所に移動され るようにアップロードする必要があります。また、ファイル ストアに既に存在していたファイルをダウン ロードして、元の場所にあったファイルのすべてが新しい場所でもアクセス可能な状態にしておく必要 があります。

 サービス アカウント: リポジトリのファイル ストレージがリモート ネットワーク共有にある場合、 サービス アカウントがそのネットワーク共有へのアクセス許可を持つように設定する必要があ ります。このアカウントには、ログ ファイルを書き込むため、Repository フォルダ(例えば、 C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥File Repository¥Repository)への読み取り/書き 込みアクセス権限も必要です。 必要なフィールドのすべてに入力した後、[適用] または [OK] を押すと、変更を加えたサービスが 再起動します。サービスが開始されてから 30~45 秒経つと、Acronis Access サーバーが利用で きるようになります。この時点で、ウェブ ブラウザが自動的に起動し、Acronis Access の IP アド レスおよびポートに接続します。ログイン ページで、管理者パスワードを設定します。セットアップ ウィザード 『14ページ』が表示され、そこでセットアップ プロセスを実行できます。

注意: 管理者パスワードを書き留めておいてください。忘れた場合にパスワードを復元することはできません。

注意: ネットワーク IP アドレス/ポートまたは Acronis Access コンポーネントが使用する証明書のいずれか を変更する必要がある場合、いつでも設定ユーティリティを再度実行してそれらの変更を加えることができま す。自動的に必要な設定ファイルを調整し、サービスを再起動します。

1.4 セットアップ ウィザードの使用

ソフトウェアをインストールし、設定ユーティリティを実行してネットワーク ポートと SSL 証明書を設定した後、管理者は Acronis Access サーバーを設定する必要があります。設定ウィザードは、管理者に一連の手順を案内し、サーバーの基本的な機能が動作するようにします。

注意: activEcho または mobilEcho からアップグレードする場合、続行する前に「アップグレード 『65ページ』」セクションをお読みください。

注意: 設定ユーティリティを実行した後、サーバーが最初に起動するまで 30~45 秒かかります。

設定ユーティリティで指定した IP アドレスとポートを使用して、Acronis Access のウェブ インター フェイスに移動します。デフォルトの管理者アカウントにパスワードを設定するように求めるメッセー ジが表示されます。

注意: 管理者は後から設定できます。詳細については、「サーバーの管理」セクションを参照してください。

このウィザードにより、製品の主要な機能を設定できます。

- [全般設定] では、言語、カラー スキーム、管理者通知で使用されるサーバー名、ライセンス、 管理者など、ウェブ インターフェイス自体の設定を行います。
- [LDAP] の設定では、製品で Active Directory の資格情報、ルール、ポリシーを使用できるようにします。
- [SMTP]の設定では、モバイル アクセス機能、および同期と共有機能の設定を行います。モバイル アクセスでは、登録招待の送信時に SMTP サーバーが使用されます。同期と共有機能は、フォルダへの招待、警告、エラーの概要を送信するために SMTP サーバーを使用します。

[初期構成] ページで見ることができるすべての設定は、構成の完了後にも確認することができます。 設定の詳細については、「サーバー管理」の記事を参照してください。

初期構成プロセスを進める

ライセンス

ライセンス

• • • •							
ライセンス: クライアント数: 現在のライセンス取得済みクライ 現在の無科クライアント数:	アントの数:	Access Advanced 無 50 2 1	規制				
ライセンス タイブ	クライアント参	々 有効期限日	ブロダクト キー				
Access Advanced 無期限	50						×
ブロダクト キーの追加						ライセンスの追加	
□ライセンスの詳細と範囲について	「は、納品書お。	tび <u>http://www.acronis</u>	.co.jp/company/licensi	ing.html で確認できることを	を理解しました。		

試用版を開始するには:

1. [試用を開始] を選択し、[続行] を押します。

Access サーバーにライセンスを付与するには:

- 1. [プロダクト キーを入力します] を選択します。
- 2. プロダクト キーを入力し、チェックボックスにマークを付けます。
- 3. [保存] を押します。

全般設定

サーバー設定	
サーバー名	Acronis Access
ウェブ アドレス	https://www.echoserver.com
モバイル クライアント登録 アドレス	www.echoserver.com
カスタム ロゴを使用	
監査ログの言語	日本語
保存	

1. [サーバー名] にサーバー名を入力します。

- 2. ユーザーが(http:// または https:// で始まる)ウェブ サイトにアクセスできる FQDN または IP アドレスを指定します。
- 3. モバイル ユーザーが登録する FQDN または IP アドレスを指定します。
- 4. カラー スキームを選択します。現在のオプションは、[灰色]、[紫]、[カプチーノ]、[青]、[濃紺]、および [オレンジ]です。
- 5. [監査ログ] のデフォルトの言語を選択します。現在のオプションは、[英語]、[ドイツ語]、[フラン ス語]、および [日本語] です。
- 6. [保存] を押します。

SMTP

SMTP

Acronis Access サーバーは、構成された SMTP サーバーを使用して電子メールを送信し、ファイルの共有やデバイスの登録のためにユーザーを招待したり、ユーザーや管理者にサーバー アクティビティを通知します。

SMTP サーバー アドレス	myemailserver.mycompany.com
SMTP サーバー ポート	25
セキュリティで保護された 接続を使用しますか?	
差出人名	Access Administrator
差出人電子メール アドレス	adminname@mycompany.com
SMTP 認証を使用します か?	
保存 テスト用の電子	メールの送信 SMTP セットアップのスキップ
注意: この手順をスキップして、後	そで SMTP を構成することもできます。

- 1. SMTP サーバーの FQDN または IP アドレスを入力します。
- 2. サーバーの SMTP ポートを入力します。
- 3. SMTP サーバーの証明書を使用しない場合は、[セキュリティで保護された接続を使用します か?] のチェックを外します。

- 4. サーバーによって送信される電子メールの「差出人」行に表示されるユーザー名を入力します。
- 5. サーバーから送信される電子メールのアドレスを入力します。
- 6. SMTP サーバーでユーザー名やパスワードの認証を使用している場合は、[認証を使用します か?] をチェックし、認証情報を入力してください。
- 7. [テスト用の電子メールの送信] を押して電子メールを手順 5 で指定したテスト用の電子メール アドレスに送信します。
- 8. [保存] を押します。

LDAP

LDAP

組織内のユーザーにモバ・ Directory への LDAP 接線 同期および共有サポートに Microsoft Active Director	イル アクセス、同期アクセス、および共有アクセスを提供するために、Active 荒を使用することができます。LDAP は、管理対象外のモバイル アクセスや、 対しては不要ですが、管理対象のモバイル アクセスには必要になります。 y への LDAP 接続のみがサポートされています。
LDAP を有効にしますか?	
LDAP サーバー アドレス	Idap.company.com
LDAP サーバー ポート	389
セキュリティで保護された LDAP 接続を使用します か?	
LDAP ユーザー名	domain\Administrator
LDAP パスワード	•••••
LDAP バスワードの確認入 力	•••••
LDAP 検索ベース	dc=company, dc=com
LDAP 認証のためのドメイ ン	 例: mycompany.com。このリストに含まれるドメ インの電子メール アドレスを使用しているユー ザーは、LDAP に対して認証する必要がありま す。他のドメインのユーザーは、Acronis Access データベースに対して認証します。 mycompany.co ・追加 一削除 一削除
LDAP 情報をキャッシュす る間隔	15
保存 LDAPのセッ	トアップをスキップ

注意: この手順をスキップして、後で LDAP を構成することもできます。

- 1. [LDAP を有効にしますか?] をチェックします。
- 2. LDAP サーバーの FQDN または IP アドレスを入力します。
- 3. LDAP サーバーのポートを入力します。
- 4. LDAP サーバーとの接続に証明書を使用する場合は、[セキュリティで保護された LDAP 接 続を使用しますか?] をチェックします。
- 5. LDAP の資格情報をドメインも含めて入力します(例: acronis¥hristo)。
- 6. LDAP 検索ベースを入力します。
- 7. LDAP 認証のドメインを入力します(例えば、電子メール joe@glilabs.com のアカウントの LDAP 認証を有効にするには、glilabs.com と入力します)。
- 8. [保存] を押します。

ローカル ゲートウェイ サーバー

ローカル ゲートウェイ サーバー

Acronis Access のモバイル アプリケーション クライアントは、ゲートウェイ サーバーのアドレスを使用して Access サーバーに接続します。サーバーの設定によっては、デスクトップ同期クライアントおよびウェブ クライア ントもこのサーバーに接続されていることがあります。ゲートウェイ サーバーは現在 192.168.2.129:443 で動作 しています。クライアントの接続設定では、接続元となるすべてのネットワークからアクセス可能な DNS アドレス を使用することが推奨されますクライアントがプロキシ サーバーを経由して接続する場合、このアドレスはプロキ シ サーバーの実際の DNS アドレスにすることができます(例: gateway.mycompany.com)。

クライアントがサーバーに接続するために使用 するアドレス: 192.168.2.129:443

保存 スキップ

注意: 同じコンピュータにゲートウェイ サーバーと Acronis Access サーバーの両方をインストールする場 合、ゲートウェイ サーバーが自動的に検出され、Acronis Access サーバーに管理されます。クライアントが アクセス可能なローカル ゲートウェイ サーバーの FQDN または IP アドレスを設定するように指示するメ ッセージが表示されます。このアドレスは後から変更できます。

- 1. ローカル ゲートウェイ サーバーの FQDN または IP アドレスを設定します。
- 2. [保存] を押します。

ファイル リポジトリ

- 1. ファイル ストア タイプを選択します。お使いのコンピュータのファイル ストアの場合、[ファイル システム] を、クラウドのファイル ストアの場合、[Amazon S3] を使います。
- 2. ファイル リポジトリ サービスの FQDN または IP アドレスを入力します。

注意: ファイル リポジトリのアドレス、ポート、およびファイル ストアのロケーションを設定するには、 Acronis Access 設定ユーティリティを使用します。ファイル ストア リポジトリ エンドポイントの設定は、 設定ユーティリティの [ファイル リポジトリ] タブの設定と一致していなければなりません。それらの設 定値を表示または変更するには、AcronisAccessConfiguration.exe を実行します。通常、これはエン ドポイント サーバーの C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Configuration Utility¥にあります。

- 3. 暗号化レベルを選択します。[なし]、[AES-128]、[AES-256] から選択してください。
- 4. サーバーがユーザーに警告を送信する最小限の空き領域を選択してください。
- 5. [保存] を押します。

1.5 Acronis Access のクラスタリング

Acronis Access では、サードパーティのクラスタリング ソフトウェアを使用せずに、可用性の高い 設定を行うことができます。設定には、Acronis Access 5.1 で導入された新しいクラスタ グループ 機能を使用します。設定手順はシンプルで、Acronis Access ゲートウェイ サーバーには高い可用 性がもたらされますが、ゲートウェイ サーバーは負荷が最も高いコンポーネントです。設定のすべ ては、Acronis Access サーバーを通して管理されます。

クラスタ グループの詳細や設定手順に関する詳細については、「クラスタ グループ」の記事を参照 してください。

組み込みのクラスタ グループ機能を使用することをお勧めいたしますが、Acronis Access では Microsoft Failover Clustering もサポートされています。こちらの詳細については、「補足資料」セク ションを参照してください。

1.6 Acronis Access の負荷分散

Acronis Access では負荷分散がサポートされています。詳細については、「Acronis Access の負荷分散」および「クラスタ グループ」の記事を参照してください。

2 Microsoft フェールオーバー クラスタ上での Acronis Access のインストール

警告: Acronis Access フェールオーバー クラスタリングは、5.0.3 より前のバージョンではサポートされていません。それより前のバージョンを使用している場合、何らかのクラスタの設定を続行する前に、5.0.3 以降のバージョンにアップグレードする必要があります。

Acronis Access をクラスタ上にインストールするには、以下のガイドが役立ちます。

セクションの内容

2.1 Windows 2003 Microsoft フェールオーバー クラスタ 上での Acronis Access のインストール

Acronis Access のインストール

管理者としてログインしていることを確認してから Acronis Access をインストールしてください。

- 1. Acronis Access のインストーラをダウンロードします。
- 2. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 3. 実行可能なインストーラをダブルクリックします。

cronis Access Advanced へようこそ	Ac
Acronis Access	
Acronis Access Advanced セットアップ ユーティリティへ ようこそ このユーティリティは、Acronis Access をインストール、アップデート、または削除しま す。	
7.0.0x340 (次ヘ >) キャンセル	

- 4. [次へ] を押して開始します。
- 5. 使用許諾契約を読み、承諾します。
- 6. **[インストール]**を押します。

注意: 複数の Acronis Access サーバーを配置する場合や、標準構成以外でインストールを行う場合は、 [カスタム インストール] ボタンからインストールするコンポーネントを選択することができます。

7. Acronis Access メイン フォルダのデフォルト パスを使用するか新しいパスを選択し、[OK] を 押します。

Acronis Access のシステム パスを指定する
Acronis Access
Acronis Access システムのインストール先ドライブ文字を含む、絶対パスを入力してくださ い。 このディレクトリが存在しない場合は、作成されます。
注意:このパスのすべてのファイルとフォルダは、セットアップ時に置き換えられることがあります。 す。
C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥ 参照…
< 戻る 次へ > キャンセル

- 8. Postgres ユーザーのパスワードを設定し、書き留めておきます。このパスワードは、データベースのバックアップとリカバリに必要です。
- 9. 共有ディスクのうち Postgres データ フォルダのためのロケーションを選択して [次へ] をクリックします。

ローカルの PostgreSQL の構成
Acronis Access
PostgreSQL のインストール ロケーション:
データパス: S:¥PSQL 参照
PostgreSQL スーパーユーザー資格情報:
PostgreSQL スーパーユーザー パスワード: *******
パスワードを再入力してください: *******
PostgreSQL ポート: 5432
リモート アクセスのためにファイアウォールのこのボートを開く: 🔲
<戻る 次へ > キャンセル

10. インストールされるコンポーネントがすべてリストされたウィンドウが表示されます。 続行するに は、 **[OK]**を押します。

Acronis Access のインストーラが完了したら、[終了] を押します。

クラスタ グループの作成

- 1. [クラスタ管理者]を開き、[グループ]を開きます。
- 2. [グループ] を右クリックし、[新規] および [グループ] を選択します。クラスタ グループに適切 な名前を付けます (Acronis Access、AAS クラスタなど)。

🖷 Cluster Administrator - SATURN (.))				>
<u>File View Window Help</u>					
🚳 👁 🔺 🖻 🏪	b- b-b-				
🖷 SATURN (.)					
E-G SATURN	Name	State	Owner	Description	
Configure Application	PHTG1 Cluster Group Test Cluster Group Group Ctrl+G Resource Node Cluster	Online Online Offline	RHEA RHEA TITAN		

3. このクラスタ グループの一部となるマシンを選択して [完了] をクリックします。

Preferred Owners	
AAS Cluster List all preferred owners on the right	, and then arrange them in the order of preference.
A <u>v</u> ailable nodes:	Preferred <u>o</u> wners:
Name	Name
	Add →
	<- <u>R</u> emove
	Move Up
	Move Down
×	
	< <u>B</u> ack Finish Cancel

アクティブ ノードでの設定

- 1. ゲートウェイ サーバーのデータベースが共有ディスク上のロケーションとなるように設定します。
 - a. C:\Program Files (x86)\Acronis\Access\Gateway Server\ に移動します。
 - b. database.yml ファイルを見つけ、テキスト エディタで開きます。
 - c. database_path: './database/'の行を見つけ、./database/を、使用するパスに置き換えます(例: database_path: 'S:/access_cluster/database/')。

注意:パスの区切りにはスラッシュ(/)を使用します。

注意: 第 1 ノードで設定した database.yml をコピーして、第 2 ノードに貼り付けることができます。

必要なすべてのサービスを Acronis Access クラスタ グループに追加する

AcronisAccessGateway、AcronisAccessPostgreSQL(Acronis Access のバージョンに応じて異なる)、AcronisAccessRepository、および AcronisAccessTomcat の各サービスについて、以下の手順を実行します。

- 1. Acronis Access クラスタ グループを右クリックします。
- 2. [新規]を開いて [リソース]を選択します。

Cluster Administrator -	SATURN (.)						×
<u>File Yiew Window H</u> elp							
<u>6 01 ×8</u>	<u>م</u> <u>م</u>						
🛱 SATURN (.)							
E-G SATURN		Name Michaelan ID Address	State	Owner	Resource Type	Description	
Cluster Group PHTG1 Test Cluste Resources Cluster Configu Resources Networks Network Ir Active Groups Network Inter TITAN Active Groups Active Resour Active Resour Network Inter	Bring Online Jake Offline Moye Group Delete Rename Configure Ay Properties fraces	Ctrl+B Ctrl+T Ctrl+P Ctrl+M	Group Ctrl+G Resource Ctrl+N Node Gluster	RHEA RHEA RHEA	Network Name Physical Disk Distributed Transaction Coordinator	Quorum Disk	
11							

3. サービスの名前を入力し、適切なクラスタ グループを選択します。

4. [リソースの種類] ドロップダウン メニューから [汎用サービス] を選択して [次へ] をクリックします。



5. 2 つのノードがいずれも[使用可能な所有者] のリストに含まれていることを確認してから[次へ] をクリックします。

pecity the possible o Vailable nodes:	whers for this resou	rce. Poss	ible <u>o</u> wners:	
Name		Add →	ame RHEA TITAN	

- 6. [次へ] をクリックして依存関係をスキップします。
- 7. 追加するサービスの正確なサービス名 (postgresql-x64-9.2 など)を入力して [次へ] をクリックします。
- 8. ここでは [次へ] を押して [レジストリ レプリケーション] ウィンドウをスキップします。
- 9. [完了] をクリックします。これで手順は完了です。

クラスタ グループの IP アドレスの設定

- 1. Acronis Access クラスタ グループを右クリックします。
- 2. [新規] を開いて [リソース] を選択します。



- 3. リソースの名前を入力し、適切なクラスタグループを選択します。
- 4. [リソースの種類] ドロップダウン メニューから [IP アドレス] を選択して [次へ] をクリックします。

New Resource	Acronis Access IP Name: Acronis Access IP Description: Image: IP Address Resource type: IP Address Generic Script Image: IP Address Broup: Generic Script Bun this resourc Local Quorum Majority Node Set Message Queuing To continue, click N Network Name Physical Disk Physical Disk
	Print Spooler Volume Shadow Copy Service Tas WINS Service ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓

5. 2 つのノードがいずれも [使用可能な所有者] のリストに含まれていることを確認してから [次 へ] をクリックします。

Possible Own	ners Acronis Access IP wners are nodes in the	cluster on which th	is resource can be br	ought online.
Available	nodes:	10 1000urbo.	Possible <u>o</u> wners:	
Name		<u>A</u> dd -> ≺- <u>R</u> emove	Name RHEA TITAN	
·		< <u>B</u> ack	<u>N</u> ext >	Cancel

- 6. [次へ] をクリックして依存関係をスキップします。
- 7. このクラスタ グループで使用する IP アドレスを入力します。
- 8. サブネット マスクを入力して [完了] をクリックします。

共有ディスクの追加

- 1. Acronis Access クラスタ グループを右クリックします。
- 2. [新規] を開いて [リソース] を選択します。

2	_	_					1-1-1-1
Cluster Administrator -	- SATURN (.)						
Hie View Window Help		· I					
	P= :						
SATURN (.)							
🖃 🏐 SATURN		Name	State	Owner	Resource Type	Description	
Groups		Cluster IP Address	Online	RHEA	IP Address		
Cluster Grou	Rring Online	Church	Online	RHEA	Network Name		
PHTG1	Take Offline	Ctrl+T	Online	RHEA	Physical Disk	Quorum Disk	
	Move Group	Curri	Online	RHEA	Distributed Transaction Coordinator		
	i io <u>t</u> o di odp						
Resource 1	Delete	Ctrl+D					
🕀 🧰 Networks	Rena <u>m</u> e	Ctrl+M					
🛁 Network Ir	New	•	Group Ctrl+G				
🖻 🔐 RHEA	Configure A	pplication	Resource Ctrl+N				
Active Gro	Duranting		Node				
Active Res	Properties		⊆luster				
	riaces			_			
Active Group	s						
Active Resou	irces						
Network Inte	erfaces						
11		l					
							1

3. リソースの名前を入力し、適切なクラスタ グループを選択します。

4. [**リソースの種類**] ドロップダウン メニューから [物理ディスク] を選択して [次へ] をクリック します。

New Resource	Image: Description: Resource type: Group: Image: Bun this resource To continue, click	Disk Q: Physical Disk AAS rce in a separate Resource Monitor Next.
	<	<u>∃</u> ack <u>N</u> ext > Cancel

5. 2 つのノードがいずれも [使用可能な所有者] のリストに含まれていることを確認してから [次 へ] をクリックします。

Possible <u>o</u> wners:
ritanio
BIRHEA
love
r

- 6. [次へ] をクリックして依存関係をスキップします。
- 7. ドロップダウン メニューから使用可能なディスクを選択し、[完了] をクリックします。

依存関係の設定

PostgreSQL および Acronis Access ファイル リポジトリでは、次の操作を実行します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。
- 3. [変更] をクリックします。
- 4. 追加した共有ディスクを選択し、右側に移動します。

	ependencies Advance	d Parameters s		<u>?</u> ×
Specify w resource Resource Name	Available resources:	Resource Type	Dependencies:	Resource Typ Physical Disk
	•	>	OK Cancel	Properties
		Modify	Properties	

5. **[OK]** を押します。

PostgreSQL では、次の操作も実行します。

1. [レジストリ レプリケーション] タブをクリックします。

2. [追加] を押し、SYSTEM\CurrentControlSet\Services\AcronisAccessPostgreSQL\の ように入力します(旧バージョンの Acronis Access の場合、サービスが postgresql-x64-9.2 のように異なることがあります)。

pSQL Properties	? ×
General Dependencies Advanced Parameters Registry Replication	
DSQL ₽SQL	
Programs or services may store data in the registry. Therefore, it is important to have this data available on the node on which they are running. Specify the registry keys below HKEY_LOCAL_MACHINE that should be replicated to all nodes in the cluster.	
Root Registry Ke	
Boot registry key:	
SYSTEM\CurrentControlSet\Services\postgresql-x64-9.2	
OK Cancel	
Add <u>M</u> odify <u>B</u> emove	
OK Cancel Apply	

Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスでは、次の操作を実行します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。
- 3. [変更] をクリックします。

4. IP アドレスと物理ディスクを選択し、右側に移動します。

AAS Gateway Properties	? ×
General Dependencies Advanced Parameters Registry Replication	
AAS Gateway	
Specify Modify Dependencies	
Available resources: <u>D</u> ependencies:	
Name Resource Type Name Resource Type	
Cluster Name Network Name — Cluster IP Address IP Address	
MSDTC Distributed Tra UDisk Q: Physical Disk	
Modifu Properties	
OK Cancel Apply	

5. **[OK]** を押します。

Acronis Access Tomcat サービスでは、次の操作を実行します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。
- 3. [変更] をクリックします。

4. PostgreSQL および Acronis Access ゲートウェイ サーバーのサービスを選択し、右側に移動します。

Acronis Access Tomcat Properties	<u>? ×</u>
General Dependencies Advanced Parameters Registry Replication	
Acronis Access Tomcat	
Specify Modify Dependencies	
Available resources: Dependencies:	
Name Resource Type Name Resource Type	
Cluster IP Address IP Address 🔤 🛄 AAS Gateway Generic Servic	
Cluster Name Network Name < WipSQL Generic Servic	
UI Disk Q: Physical Disk	
OK Cancel Properties	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
Modify Properties	
OK Cancel Apply	

5. **[OK]** を押します。

クラスタ グループをオンラインにして設定ユーティリティを使用する

- 1. クラスタ グループを右クリックし、[Bring online] をクリックします。
- 2. 設定ユーティリティを起動します。クリーン インストールの場合、通常このユーティリティは C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥Configuration Utility にあります。

3. Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サー ビス グループをリッスンするように設定します。

 ◇ Acronis Acces ゲートウェイサー// サーバーエンド アドレス ボート 証明書 □ Access サー □ ポート 80 0 	s 設定ユーティリティ ボー Access サーバー ファイルリポジト ボイント The Client Access IP address ▼ 443 Acronis Access -バーに対するプロキシ要求 この接続を許可します	-リ -リ - サービス アカウント © ローカル システム アカウント	×
設定ログ 自己署名証明書 ゲートウェイサーバ Accessサーバーの Accessサーバーの ファイルリポジトリ(ファイルリポジトリ(を作成しています 「一の設定値が正常にロードされました)設定をロードしています)設定値が正常にロードされました 別設定をロードしています 別設定値が正常にロードされました	OK ***//7/1	

4. Acronis Access サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サービス グルー プをリッスンするように設定します。

注意: [ポート 80 での接続を許可します] が選択されている場合、Tomcat は、セキュアでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートにリダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスをオンにしないでください。

💩 Acronis Access 設定ユーティリティ 🔀 🔀
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリボジトリ サーバー エンドボイント アドレス The Client Access IP address ボート 443 証明書 Acronis Access ボート 80 での接続を許可します
 設定ログ
ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリボジトリ の設定をロードしています ファイルリボジトリ の設定値が正常にロードされました
ヘルブ OK キャンセル 適用

5. Acronis Access ファイル リポジトリが localhost 上でリッスンするように設定し、FileStore へのパスが共有ディスク上になるように変更します。このパスは、2 つのノードで同じにする必要があります。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリボジトリ サーバー エンドポイント アドレス 127.0.0.1 ポート 5787 ファイル ストアのパ E:\FileStorePath	-サービス アカウント ・ ローカル システム アカウント ・ このアカウント パスワード パスワードの確認
設定ログ ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
	OK キャンセル 道用

6. [OK] をクリックすると、設定が完了し、サービスが再起動します。

第2ノードでのインストールおよび設定

- 1. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 2. 第 2 ノードに Acronis Access をインストールします。ただし、今回は、デフォルトの Postgres データ ロケーション、および第 1 ノードと同じ postgres ユーザー パスワードを使 用します。
- 3. インストールを実行します。
- 4. ゲートウェイ サーバーのデータベースが共有ディスク上のロケーションとなるように設定します。
 - a. C:\Program Files (x86)\Acronis\Access\Gateway Server\ に移動します。
 - b. database.yml ファイルを見つけ、テキスト エディタで開きます。
 - c. database_path: './database/'の行を見つけ、./database/を、使用するパスに置き換えます(例: database_path: 'S:/access_cluster/database/')。
 注意: パスの区切りにはスラッシュ(/)を使用します。
 注意: 第1ノードで設定した database.ymlを⊐ピーして、第2ノードに貼り付けることができます。
 注意: このパスは第1ノードで設定されているパスと同じでなければなりません。
- 5. クラスタ グループを第 2 ノードに移動します。そのためには、クラスタ グループを右クリックして [Move Group] をクリックします。
- 6. 設定ユーティリティを起動します。クリーン インストールの場合、通常このユーティリティは C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥Configuration Utility にあります。

7. Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サー ビス グループをリッスンするように設定します。

Acronis Acco	ess 設定ユーティリティ		×
ゲートウェイ サ・ サーバー エン アドレス ポート 証明書	-バー Access サーバー ファイルリボジ /ドポイント The Client Access IP address 443 Acronis Access ナーバーに対するプロキシ要求	ジトリ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ビボート 80 設定ログ) での接続を許可します 		
自己署名証明 ゲートウェイサー Accessサーバー Accessサーバー ファイルリポジト! ファイルリポジト!	書を作成しています バーの設定値が正常にロードされました ・の設定値が正常にロードされました りの設定をロードしています りの設定をロードしています りの設定値が正常にロードされました	-	•
ヘルプ		ок <i>キャ</i> ンセル	適用

8. Acronis Access サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サービス グルー プをリッスンするように設定します。

注意: [ポート 80 での接続を許可します] が選択されている場合、Tomcat は、セキュアでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートにリダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスをオンにしないでください。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイサーバー Access サーバー ファイルリボジトリ サーバー エンドボイント アドレス The Client Access IP address ▼ ポート 443 証明書 Acronis Access … 「ポート 80 での接続を許可します	サービス アカウント
ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
	OK キャンセル 適用

9. Acronis Access ファイル リポジトリが localhost 上でリッスンするように設定し、FileStore へのパスが共有ディスク上になるように変更します。このパスは、2 つのノードで同じにする必要があります。

Acronis Access 設定ユーティリティ	
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リポジトリ サーバー エンドポイント アドレス 127.0.0.1 ポート 5787 ファイル ストアのパ E:\FileStorePath	サービス アカウント ・ ローカル システム アカウント ・ このアカウント パスワード パスワードの確認
役定ログ デートウェイ サーバー の設定をロードしています デートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイル リポジトリ の設定をロードしています ファイル リポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ [OK キャンセル 適用

10. [OK] をクリックすると、設定が完了し、サービスが再起動します。

2.2 Windows 2008 Microsoft フェールオーバー クラスタ 上での Acronis Access のインストール

Acronis Access のインストール

管理者としてログインしていることを確認してから Acronis Access をインストールしてください。

- 1. Acronis Access のインストーラをダウンロードします。
- 2. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
3. 実行可能なインストーラをダブルクリックします。

Acronis Access Advanced へようこそ	
	Acronis Access
Acronis Access Advanc よう このユーティリティは、Acronis Access をイン す。	ed セットアップ ユーティリティへ うこそ パストール、アップデート、または肖明除しま
7.0.0x340	(次へ) キャンセル

- 4. [次へ] を押して開始します。
- 5. 使用許諾契約を読み、承諾します。
- 6. **[インストール]**を押します。

注意: 複数の Acronis Access サーバーを配置する場合や、標準構成以外でインストールを行う場合は、 [カスタム インストール] ボタンからインストールするコンポーネントを選択することができます。

7. Acronis Access メイン フォルダのデフォルト パスを使用するか新しいパスを選択し、[OK] を 押します。

Acronis Access のシステム パスを指定する 🛛 🔀
Acronis Access
Acronis Access システムのインストール先ドライブ文字を含む、絶対パスを入力してくださ い。 このディレクトリが存在しない場合は、作成されます。
注意:このパスのすべてのファイルとフォルダは、セットアップ時に置き換えられることがあります。 す。 Acronis Access システム ディレクトリー
C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥ 参照…
<戻る 次へ > キャンセル

8. Postgres ユーザーのパスワードを設定し、書き留めておきます。このパスワードは、データベ ースのバックアップとリカバリに必要です。 9. 共有ディスクのうち **Postgres データ** フォルダのためのロケーションを選択して [次へ] をクリックします。

ローカルの PostgreSQL の構成
Acronis Access
PostgreSQL のインストール ロケーション:
データパス: S:¥PSQL 参照
PostgreSQL スーパーユーザー資格情報:
PostgreSQL スーパーユーザー パスワード: *******
パスワードを再入力してください: *******
PostgreSQL ポート: 5432
リモート アクセスのためにファイアウォールのこのボートを開く: 📃
< 戻る 次へ > キャンセル

10. インストールされるコンポーネントがすべてリストされたウィンドウが表示されます。 続行するに は、 **[OK]**を押します。

Acronis Access のインストーラが完了したら、[終了] を押します。

サービス グループの作成

- 1. [フェールオーバー クラスタ マネージャ]を開き、使用するクラスタを展開します。
- 2. [サービスとアプリケーション]を右クリックし、[他の操作]を選択します。

3. [空のサービスまたはアプリケーションの作成] を選択して [次へ] をクリックします。サービス グループに適切な名前を付けます。(Acronis Access、AAS クラスタなど)。

響フェールオーバー クラスタ	- マネー:	Ĵŧ-			
ファイル(F) 操作(A) 表:	π(V) ∧	ルプ(H)			
🗢 🔿 🖄 🖬 🛛 🗖	1				
 マェールオーバー クラスター 同調 shimano glilabs com 	・マネージ	サービスとアプリケーション			
	unitaria Unitaria	「 <u>久</u> 前 」 状能 たはアプリケーションの構成(S)…	<u>種類</u>	現在の所有者 XTR	自動開始
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	仮想マシ	≻(A) ►	10 0012		
0528-142	その他の	アクション(0) ・	空のサービスまたはア	プリケーションの作成	(E)
	表示(V)	•			
	最新の情	 報に更新(F)			
	ヘルプ(H))			
			-		
		1			
		1 つのサービスまたはアプリケー:	ション。1 個の項目が	選択されました。	
		AAS Cluster			
		状態: 一部オンライン	自動開始 : はい	優先す XT, XTF	る所有者:
		警告 : (なし)	記憶域: ない	現在の XTR	所有者:
		クライアント アクセス名 : AASOLUSTER	容量: 合計:0/バイト	その他(4	かリソース:
		IP アドレス: アドレス数 1 - オンラインのア	主き預数:0/11ト 空き領域(%):0%		
•		•			
このアクションでは、空のクラスタ		サービスまたはアプリケーションを作成	します。クラスターリソー)	スは手動で追加する	必要があります。このオプション

アクティブ ノードでの設定

- 1. ゲートウェイ サーバーのデータベースが共有ディスク上のロケーションとなるように設定します。
 - a. C:\Program Files (x86)\Acronis\Access\Gateway Server\ に移動します。
 - b. database.yml ファイルを見つけ、テキスト エディタで開きます。
 - c. database_path: './database/' の行を見つけ、./database/ を、使用するパスに置き換えます(例: database_path: 'S:/access_cluster/database/')。

注意:パスの区切りにはスラッシュ(/)を使用します。

注意: 第 1 ノードで設定した database.yml をコピーして、第 2 ノードに貼り付けることができます。

必要なすべてのサービスを Acronis Access サービス グループに追加する

AcronisAccessGateway、AcronisAccessPostgreSQL(Acronis Access のバージョンに応じて異なる)、AcronisAccessRepository、および AcronisAccessTomcat の各サービスについて、以下の手順を実行します。

1. Acronis Access サービス グループを右クリックして、[リソースの追加] を選択します。

2. [汎用サービス]を選択します。

響フェールオーバー クラス	ター マネージャー	
ファイル(F) 操作(A)	表示(V) ヘルプ(H)	
🗢 🔿 🖄 🔜		
 	Tore Part of the second secon	自動開始: (はい) <u> 犬態</u> 1 - Generic Application 2 - Generic Script 3 - Generic Service 4 - クライアント アクセス ポイント その他のリソース(M)
	プロパティ(R)	
	ヘルプ(H)	
 このアクションでは、サービスま	たはアプリケーションに新しいリソースを作成します。	

3. 適切なサービスを選択して [次へ] をクリックします。

習新しいリソース ウィ	f-F	X
ぼう サービスの:	選択	
サービスの選択	一覧から使用するサービスを選択します:	
確認 汎用サービスの構成	名前 Acronis Access Gateway (AcronisAccessGat	説明 Mobile Gateway Server for Acronis Access
概要	Acronis Access Tomcat Application Experience Application Identity Application Information Application Layer Gateway Service Application Management ASP.NET State Service Background Intelligent Transfer Service Base Filtering Engine	Tomcat Web Server for Acronis Access 7.0.42 起動するアプリケーションに対して、アプリケーション… アプリケーションの ID を判定および検証します。こ… 追加の管理者特権による対話型アプリケーション… インターネット接続共有に使用する、サード パーテ… グループ ポリシーで展開されるソフトウェアに対する… Provides support for out-of-process session… アイドル状態のネットワーク帯域幅を使ってバックグ… ペース フィルター エンジン (BFE) は、ファイアウォ… コ、 ##、ETRR#bulk, LETRR##*ココ、Lth, M
		次へ(N) > キャンセル

4. 確認ウィンドウで [次へ] をクリックします。

- 5. [レジストリ設定のレプリケート] ウィンドウで [次へ] をクリックします。
- 6. 概要ウィンドウで [完了] をクリックします。

クライアント アクセス ポイントの設定

- 1. Acronis Access サービス グループを右クリックして、[リソースの追加] を選択します。
- 2. [クライアント アクセス ポイント] を選択します。



3. このアクセス ポイントの名前を入力します。

4. ネットワークを選択します。

🚰 新しいリソース ウィ	ザード				×
📑 ካライアント	・アクセス	ポ イン	› <mark>ኮ</mark>		
クライアント アクセス ポ イント 確認 クライアント アクセス ポ イント の構成 概要	ネットワー 名前(A): 1 つ以上の ていることも	ク名と) IP∨4 を確認!	IP アドレスの入力: AASCluster アドレスを自動的に構成でき し、アドレスを入力してください。	ませんでした。 使用するネットワークごとに、 ネッ ,	トワークが選択され
191.24		X	ネットワーク 172.27.0.0/16	アドレス 172.27.25.25	
				次へ(N) >	キャンセル

- 5. IP アドレスを入力して [次へ] をクリックします。
- 6. 確認ウィンドウで [次へ] をクリックします。
- 7. 概要ウィンドウで [完了] をクリックします。

共有ディスクの追加

- 1. Acronis Access サービス グループを右クリックして、[リソースの追加] を選択します。
- 2. 共有ドライブを選択します。

큔	憶域の追加			×
	追加するディスクを選択してく	ださい。		
	利田可能なディフク			
	名前	状態	容量	
	☑ 🗄 💼 Cluster Disk 1			
	,		OK(0) キャンセ	л. I
				///

- 3. 確認ウィンドウで [次へ] をクリックします。
- 4. 概要ウィンドウで [完了] をクリックします。

依存関係の設定

1. Acronis Access サービス グループをダブルクリックします。

PostgreSQL および Acronis Access ファイル リポジトリ サービスについて、次の操作を実行 します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。
- 3. [リソース] をクリックし、追加した共有ディスクを選択します。

全般 依存関係 ポリシー 詳細なポリシー レジストリのレプリケーション このリソースをオンラインにする前にオンラインにする必要のあるリソースを指定し てください: AND/OR リソース ● Cluster Disk 1 ▼ 依存関係を追加するには、ここをクリックしてください
このリソースをオンラインにする前にオンラインにする必要のあるリソースを指定してください: AND/OR リソース Cluster Disk 1 * 依存関係を追加するには、ここをクリックしてください
てください: AND/OR リソース Cluster Disk 1 ★ 依存関係を追加するには、ここをクリックしてください
 AND/OR リソース ▶ Cluster Disk 1 ★ 依存関係を追加するには、ここをクリックしてください
 ▶ Cluster Disk ★ 依存関係を追加するには、ここをクリックしてください
★ K(F)KII* € 20/09 SIEUX CE € 99999 GC(2000)
插入() ┃ 買服金(D) ┃
147 (W
Cluster Disk 1
リソースの依存関係の動作
OK キャンセル 適用(A)

4. [適用] をクリックしてウィンドウを閉じます。

PostgreSQL では、次の操作も実行します。

1. [レジストリ レプリケーション] タブをクリックします。

2. [追加] を押し、SYSTEM\CurrentControlSet\Services\AcronisAccessPostgreSQL\のように入力します(旧バージョンの Acronis Access の場合、サービスが postgresql-x64-9.2 のように異なることがあります)。

, I	Acronis Access PostgreSQLのプロパティ	
.# . UT	全般 依存関係 ポリシー 詳細なポリシー レジストリのレプリケーション	
	プログラムまたはサービスによって、データがレジストリに格納されることがある ため、プログラムやサービスが実行されているノードからこのデータを利用でき るようにしてください。クラスターの全ノードにレプリケートされるべき HKEY_LOCAL_MACHINEの下のレジストリキーを指定してください。	
\ASClus	ルートレジストリキー SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥AcronisAccessPostgreSQL	
インレジス	(トリ キー X	
л л-	・トレジストリキー(B): EY_LOCAL_MACHINE¥ M¥CurrentControlSet¥Services¥AcronisAccessPostgreSQU	
;A		//
: Acces: : Acces:		
	OK キャンセル 適用(A)	

Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスでは、次の操作を実行します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。

3. [**リソース**] をクリックしてから、追加した共有ディスク、および**ネットワーク名**(クライアント アクセス ポイントの名前)を選択します。

Acronis	Access Ga	iteway (Acro	onisAc	cessGatewa	y) [XT]{XT 🔉	×
全般	依存関係	ポリシー 詳細	はポリシ	ノー レジストリの)レプリケーション	
ະໜູ	ソースをオンライ	。 ンにする前にオ:	ンラインロ	。 こする必要のある	リソースを指定し	1
てくたる						L
	AND/OK	リンニス 欠前: mEClus	otar			
	AND	Cluster Disk	ster • 1			
	位在期係を追	thind a cold to a	こを方い	ふりしてください		L
*	IN PERSON 2.45	500 7 Q/(C/0× C	0200	//////////////////////////////////////		
						L
						L
						L
						L
				挿入(I)	削除(D)	L
	· mECluster (ND Cluster D	Viak 1			L
一日町		and Gluster D	ASK I			L
				UV-7 <i>0</i> 0	龙存眼区の新作	L
				22 - 200	R1FIXIT#02801 E	L
		ОК		キャンセル	適用(A)	1
				57200		

4. [適用] をクリックしてウィンドウを閉じます。

Acronis Access Tomcat サービスでは、次の操作を実行します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。

3. [**リソース**] をクリックし、依存関係として、PostgreSQL および Acronis Access ゲートウェイ サーバーのサービスを選択します。[**適用**] をクリックしてウィンドウを閉じます。

_	AND/OR	リソース
		Acronis Access Gateway (AcronisAccessGateway)
	AND	Acronis Access PostgreSQL
*	依存関係を逃	自加するには、ここをクリックしてください
		<u>挿入(l)</u> 削除(<u>D</u>)
	onis Access Ga onis Access Po	挿入(!) 削除(D) ateway (AcronisAccessGateway) [XT] <xt> AND ostgreSQL</xt>

注意: ゲートウェイ サーバーと Access サーバーを異なる IP アドレスで実行する場合は、Acronis Access サービス グループに第 2 IP をリソースとして追加し、ネットワーク名の依存関係として設定し ます。

サービス グループをオンラインにし、設定ユーティリティを使用する

- 1. Acronis Access サービス グループを右クリックし、[Bring this application or service group online] を押します。
- 2. 設定ユーティリティを起動します。クリーン インストールの場合、通常このユーティリティは C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥Configuration Utility にあります。

3. Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サー ビス グループをリッスンするように設定します。

💿 Acronis Access	設定ユーティリティ	л)	×
ーサーバー エンドボ アドレス ボート 証明書 □ Access サー/ □ ボート 80 での	イント The Client Access IP address 443 Acronis Access … 、 、 、 に 対するプロキシ要求) 接続を許可します	サービス アカウント © ローカル システム アカウント	
 設定ログ			
自己署名証明書を作 ゲートウェイ サーバー Access サーバー の設 Access サーバー の設 ファイルリポジトリ の語 ファイルリポジトリ の語	作成しています の設定値が正常にロードされました 設定をロードしています 設定値が正常にロードされました 設定をロードしています 設定値が正常にロードされました		•
ヘルプ		ок <i>キャ</i> ンセル	適用

4. Acronis Access サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サービス グルー プをリッスンするように設定します。

注意: [ポート 80 での接続を許可します] が選択されている場合、Tomcat は、セキュアでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートにリダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスをオンにしないでください。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リボジトリ サーバー エンドポイント サービス アカウント アドレス The Client Access IP address ▼ ボート 443 証明書 Acronis Access ボート 80 での接続を許可します	シト
 設定ログ	
ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ OK キャンセル	通 適用

5. Acronis Access ファイル リポジトリが localhost 上でリッスンするように設定し、FileStore へのパスが共有ディスク上になるように変更します。このパスは、2 つのノードで同じにする必要があります。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリポジトリ サーバー エンドポイント アドレス 127.0.0.1 ポート 5787 ファイル ストアのパ E:\FileStorePath	・サービス アカウント ● ローカル システム アカウント ● このアカウント // パスワード // パスワードの確認 //
設定ログ ゲートウェイサーバーの設定をロードしています ゲートウェイサーバーの設定値が正常にロードされました Access サーバーの設定値が正常にロードされました Access サーバーの設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリの設定をロードしています ファイルリポジトリの設定値が正常にロードされました	
	OK キャンセル 適用

6. [OK] をクリックすると、設定が完了し、サービスが再起動します。

第2ノードでのインストールおよび設定

- 1. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 2. 第 2 ノードに Acronis Access をインストールします。ただし、今回は、デフォルトの Postgres データ ロケーション、および第 1 ノードと同じ postgres ユーザー パスワードを使 用します。
- 3. インストールを実行します。
- 4. ゲートウェイ サーバーのデータベースが共有ディスク上のロケーションとなるように設定します。
 - a. C:\Program Files (x86)\Acronis\Access\Gateway Server\ に移動します。
 - b. database.yml ファイルを見つけ、テキスト エディタで開きます。
 - c. database_path: './database/'の行を見つけ、./database/を、使用するパスに置き換えます(例: database_path: 'S:/access_cluster/database/')。
 注意: パスの区切りにはスラッシュ(/)を使用します。
 注意: 第 1 ノードで設定した database.ymlをコピーして、第 2 ノードに貼り付けることができます。
 注意: このパスは第 1 ノードで設定されているパスと同じでなければなりません。
- 5. Acronis Access サービス グループを第 2 ノードに移動します。そのためには、そのサービス グループを右クリックして [第 2 ノードに移動] をクリックします。
- 6. 設定ユーティリティを起動します。クリーン インストールの場合、通常このユーティリティは C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥Configuration Utility にあります。

7. Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サー ビス グループをリッスンするように設定します。

💿 Acronis Access 設定コ	ーティリティ			×
ゲートウェイ サーバー Acc サーバー エンドポイント - アドレス The ポート 443 証明書 Acror Access サーバーに対 「ポート 80 での接続な	ress サーバー ファイルリボジトリ Client Access IP address ・ is Access ・ はるプロキシ要求 話年可します) - サービス アカウ © ローカル シ	ント ステム アカウント	
 設定ログ				
自己署名証明書を作成して ゲートウェイサーバーの設定 Accessサーバーの設定をロ Accessサーバーの設定値が ファイルリポジトリの設定を回 ファイルリポジトリの設定値が	ています 3値が正常にロードされました 1ードしています が正常にロードされました コードしています が正常にロードされました			•
~JV7		ОК	キャンセル	適用

8. Acronis Access サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サービス グルー プをリッスンするように設定します。

注意: [ポート 80 での接続を許可します] が選択されている場合、Tomcat は、セキュアでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートにリダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスをオンにしないでください。

Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリポジトリ サーバー エンドポイント サー アドレス The Client Access IP address ▼ ポート 443 証明書 Acronis Access 「ポート 80 での接続を許可します	-ビス アカウント ローカル システム アカウント
 設定Dグ	
ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
~/J/7	K キャンセル 適用

Acronis Access ファイル リポジトリが localhost 上でリッスンするように設定し、FileStore へのパスが共有ディスク上になるように変更します。このパスは、2 つのノードで同じにする必要があります。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リボジトリ サーバー エンドボイント サービス アカウント アドレス 127.0.0.1 ・ ボート 5787 ・ ファイル ストアのパ E: \FileStorePath ・	
」 設定ログ 「ビートローイサード」の設定すり、ビーズのます。	
ゲードフェイ サーバー の設定をロートしています ゲードウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ OK キャンセル 適用	

10. [OK] をクリックすると、設定が完了し、サービスが再起動します。

2.3 Windows 2012 Microsoft フェールオーバー クラスタ 上での Acronis Access のインストール

Acronis Access のインストール

管理者としてログインしていることを確認してから Acronis Access をインストールしてください。

- 1. Acronis Access のインストーラをダウンロードします。
- 2. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 3. 実行可能なインストーラをダブルクリックします。

Acronis Access Advanced へようこそ	
	Acronis Access
Acronis Access Advanced セ ようこそ このユーティリティは、Acronis Access をインストーノ す。	ットアップ ユーティリティへ に アップデート、または削除しま
7.0.0x340	(次へ) キャンセル

- 4. [次へ] を押して開始します。
- 5. 使用許諾契約を読み、承諾します。
- 6. **[インストール]**を押します。

注意: 複数の Acronis Access サーバーを配置する場合や、標準構成以外でインストールを行う場合は、 [カスタム インストール] ボタンからインストールするコンポーネントを選択することができます。

7. Acronis Access メイン フォルダのデフォルト パスを使用するか新しいパスを選択し、[OK] を 押します。

Acronis Access のシステム パスを指定する
Acronis Access
Acronis Access システムのインストール先ドライブ文字を含む、絶対パスを入力してくださ い。 このディレクトリが存在しない場合は、作成されます。
注意:このパスのすべてのファイルとフォルダは、セットアップ時に置き換えられることがあります。 す。 Acronis Access システム ディレクトリーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥ 参照…
< 戻る 次へ > キャンセル

8. Postgres ユーザーのパスワードを設定し、書き留めておきます。このパスワードは、データベ ースのバックアップとリカバリに必要です。 9. 共有ディスクのうち Postgres データ フォルダのためのロケーションを選択して [次へ] をクリックします。

ローカルの PostgreSQL の構成
Acronis Access
PostgreSQL のインストール ロケーション:
データパス: S:¥PSQL 参照
PostgreSQL スーパーユーザー資格情報:
PostgreSQL スーパーユーザー パスワード: ********
パスワードを再入力してください: *******
PostgreSQL ポート: 5432
リモート アクセスのためにファイアウォールのこのボートを開く: 📄
<戻る 次へ > キャンセル

10. インストールされるコンポーネントがすべてリストされたウィンドウが表示されます。 続行するに は、 **[OK]**を押します。

Acronis Access のインストーラが完了したら、[終了] を押します。

役割の作成

- 1. [フェールオーバー クラスタ マネージャ] を開き、[役割] を右クリックします。
- 2. [空の役割の作成] を選択します。役割に適切な名前を付けます (Acronis Access、AAS クラ スタなど)。

アクティブ ノードでの設定

- 1. ゲートウェイ サーバーのデータベースが共有ディスク上のロケーションとなるように設定します。
 - a. C:\Program Files (x86)\Acronis\Access\Gateway Server\ に移動します。
 - b. database.yml ファイルを見つけ、テキスト エディタで開きます。
 - c. database_path: './database/'の行を見つけ、./database/を、使用するパスに置き換えます(例: database_path: 'S:/access_cluster/database/')。

注意:パスの区切りにはスラッシュ(/)を使用します。

注意: 第 1 ノードで設定した database.yml をコピーして、第 2 ノードに貼り付けることができます。

必要なすべてのサービスを Acronis Access 役割に追加する

AcronisAccessGateway、AcronisAccessPostgreSQL(Acronis Access のバージョンに応じて異なる)、AcronisAccessRepository、および AcronisAccessTomcat の各サービスについて、以下の手順を実行します。

- 1. Acronis Access 役割を右クリックして、[リソースの追加] を選択します。
- 2. [汎用サービス]を選択します。

电			フェール	オーバー ク	フラスター マネージャー		
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へルプ(H)						
🗢 🔿 🞽 🖬 🚺 🖬							
闘 フェールオーバー クラスター マネージ	役割 (1)						
⊿ 闡 Qi.glilabs.com	検索				P /1	U 🗕 🗖 🖛	•
↓ 1 /- F	名前		状態	種類	所有者ノード	優先順位	信
▶ 🤮 記憶域	mE1			z.mAth	YANG	ф	
▷ ····································	6	役割の開始	(L)				
		役割の停止	(T)				
		移動(O)		•			
	3	スタートアップ	の優先順位の変更(P) •			
	5	情報の詳細	(D)				
		重要度の高	いイベントの表示(W))			
	4	記憶域の追	bዉ(S)				
		リソースの追加	加(A)	•	クライアント アクセス ポイン	4	
		他のアクション	>(M)	•	汎用アプリケーション		
	×	削除(∨)			沢田フクリプト	_	
		プロパティ(R))		その他のリソース(M)	•	/
	👻 📑 mE	1		l	優先所	有者: 任意の	<u>/-۴</u>
	2前		1+2 #B	/###2			
	Microsoft 分散	タトランザクション	11/15 1 コーディネーター	THIFK			
	🋵 New D	Distributed Tra	. 🖲 オフライン				
	記憶域						≡
	🕀 📇 Cluste	r Disk 2	🕥 オンライン				~
	<			ш		>	<u>, </u>
< III >	要約 リソース						
役割: mE1							

3. 適切なサービスを選択して [次へ] をクリックします。

🔮新しいリソース ウィ!	チード	×
ぼ サービスの	選択	
サービスの選択 確認 汎用サービス の構成 概要	ー覧から使用するサービスを選択します: 名前 Acronis Access Gateway (AcronisAccessGat Acronis Access Tomcat Application Experience Application Information Application Information Application Layer Gateway Service Application Management ASP.NET State Service Background Intelligent Transfer Service Base Filtering Engine	説明 Mobile Gateway Server for Acronis Access Tomcat Web Server for Acronis Access アプリケーションに対して、アプリケーション アプリケーションの ID を判定および検証します。こ 追加の管理者特権による対話型アプリケーション インターネット接続共有に使用する、サード パーテ グループ ポリシーで展開されるソフトウェアに対する Provides support for out=of=process session アイドル状態のネットワーク常域情を使ってパックグ ペース フィルター エンジン (BFE) は、ファイアウォ
		次へ(N) > キャンセル

- 4. 確認ウィンドウで [次へ] をクリックします。
- 5. 概要ウィンドウで [完了] をクリックします。

アクセス ポイントの設定

- 1. Acronis Access 役割を右クリックして、[リソースの追加] を選択します。
- 2. [**クライアント アクセス ポイント**] を選択します。

趨		フェール	レオーバー ク	ラスター マネージャー		
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へルプ(H)					
🗢 🄿 🙎 🗊 👔						
心 認 フェールオーバー クラスター マネージ	役割 (1)					
▲ I Qi.glilabs.com	検索			P 1	피ᆞᆔᆞ	
▶ 📑 記憶域	名前	状態	種類	所有者ノード	優先順位	情
▷ 🍓 ネットワーク	me I	役割の開始(1)	- - ≁/ixeni	YANG	Ŧ	
国 クラスター イベント	1) (QENO)第30(CL) (役割の)停止(工)				
		が (1) (2010)(1)(1) (1)	`			
			•			
	S) スタートアップの優先順位の変更	(P) •			
		情報の詳細(D)				
		重要度の高いイベントの表示(W	()			
	4	記憶域の追加(S)				
		' リソースの追加(A)	•	クライアント アクセス ポイン	21	
		他のアクション(M)	•	汎用アプリケーション		
	×	削除(∨)		汎用サービス		
				汎用スクリプト		>
				その他のリソース(M)	•	
	🗙 🖓 👘	E1		侵先的	所有者: <u>任意の</u>	<u>v-ř</u>
	名前	状態	情報			^
	Microsoft 分	散トランザクション コーディネーター				
	🋵 New	Distributed Tra 📀 オフライン				
	記憶域					≡
	🕀 🔠 Clust	er Disk 2 💿 オンライン				~
	<	-	Ш			>
< III >	要約 リソース					
役割: mE1	1,					

- 3. このアクセス ポイントの名前を入力します。
- 4. ネットワークを選択します。

🚰 新しいリソース ウィ!	× ×
「愛 クライアント	アクセス ポイント
クライアント アクセス ポ イント 確認 クライアント アクセス ポ イント の構成 概要	ネットワーク名と IP アドレスの入力: 名前(A): AASOluster 1 つ以上の IPv4 アドレスを自動的に構成できませんでした。使用するネットワークごとに、ネットワークが選択され ていることを確認し、アドレスを入力してください。
1913-20	ネットワーク アドレス ▼ 172.27.0.0/16 172.27.25.25
	次へ(N) > キャンセル

- 5. IP アドレスを入力して [次へ] をクリックします。
- 6. 確認ウィンドウで [次へ] をクリックします。
- 7. 概要ウィンドウで [完了] をクリックします。

共有ディスクの追加

1. Acronis Access 役割を右クリックして、[ストレージの追加] を選択します。

2. 共有ドライブを選択します。

記憶域の追加			×
追加するディスクを選択してく	ださい。		
利用可能なディスク			
名前 日 回 Chrater Diak 1	状態	容量	
	(T) 4,751,7		
		OK(0) **	シセル

依存関係の設定

1. Acronis Access の役割を選択し、[リソース] タブをクリックします。

PostgreSQL および Acronis Access ファイル リポジトリ サービスについて、次の操作を実行 します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。

3. [リソース] をクリックし、追加した共有ディスクを選択します。

Acronis Access File Repository Serverのプロパティ	×
このリソースをオンラインにする前にオンラインにする必要のあるリソースを指定し	
てください	
AND/OR UV-Z	
★ 低仔関係を追加するには、ここをクリックしてくたさい	
17.7 × 1964/63	
Cluster Disk 1	
リソースの依存関係の動作	
OK キャンセル 適用(A)	

4. [適用] をクリックしてウィンドウを閉じます。

Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスについて、次のことを実行します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。

3. [**リソース**] をクリックしてから、追加した共有ディスク、および**ネットワーク名**(クライアント アクセス ポイントの名前)を選択します。

Acronis	Access Ga	iteway (AcronisA	ccessGateway)	[XT]KXT 🗙
全般	依存関係	ポリシー 詳細なポリ:	シートレジストリのレ	プリケーション
このり) てくだる	ソースをオンライ さい:	ンにする前にオンライン	にする必要のあるり	ソースを指定し
	AND/OR	リソース		
		名前: mECluster		
	AND	Cluster Disk 1		
*	依存関係を追	助けるには、ここをかり	ックしてください	
			插入(1)	買川B余(D)
名前	: mECluster A	ND Cluster Disk 1		
			<u>リソースの依</u> 頼	存関係の動作
		ОК	キャンセル	適用(A)

4. [適用] をクリックしてウィンドウを閉じます。

Acronis Access Tomcat サービスについて、次のことを実行します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。
- 3. [リソース] をクリックし、依存関係として、PostgreSQL および Acronis Access ゲートウェイ サーバーのサービスを選択します。[適用] をクリックしてウィンドウを閉じます。

注意: ゲートウェイ サーバーとアクセス サーバーを異なる IP アドレスで実行する場合は、第 2 IP を リソースとして Acronis Access 役割に追加し、それをネットワーク名の依存関係として設定します。

	IS ACCESS I	iomcatのプロパティ
全般	依存関係	ポリシー 詳細なポリシー レジストリのレプリケーション
この して	リソースをオンラ ください:	インにする前にオンラインにする必要のあるリソースを指定
	AND/OR	リソース
•		Acronis Access Gateway (AcronisAccessGateway)
	AND	Acronis Access PostgreSQL
*	依存関係を	追加するには、ここをクリックしてください
		挿入(<u>[</u>] 削除(<u>D</u>)
Acr	ronis Access G ronis Access P	挿入(<u>l)</u> ateway (AcronisAccessGateway) [XT]:XT> AND ostgreSQL
Acr	ronis Access G ronis Access P	挿入(!) 削除(D) ateway (AcronisAccessGateway) [XT] <xt> AND ostgreSQL リソースの依存関係の動作</xt>

役割の開始と設定ユーティリティの使用

- 1. Acronis Access 役割を右クリックして、[役割の開始]を押します。
- 設定ユーティリティを起動します。クリーン インストールの場合、通常このユーティリティは C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥Configuration Utility にあります。

3. Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サー ビス グループをリッスンするように設定します。

 Acronis Access 設定ユ ゲートウェイ サーバー Acce 	┶ ティリティ ess サーバー โ ファイルリポジト	u)		×
・サーバーエンドポイントー アドレス The C ポート 443 証明書 Acron □ Access サーバーに対 □ ポート 80 での接続を	Jient Access IP address is Access するプロキシ要求 許可します	- サービス アカゲ © ローカル :	ント システム アカウント	
自己署名証明書を作成して ゲートウェイサーバーの設定 Accessサーバーの設定をロ Accessサーバーの設定値が ファイルリポジトリの設定をロ ファイルリポジトリの設定値が	います 値が正常にロードされました ードしています 「正常にロードされました ードしています 」)正常にロードされました			
~JJJJ		ОК	キャンセル	適用

4. Acronis Access サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サービス グルー プをリッスンするように設定します。

注意: [ポート 80 での接続を許可します] が選択されている場合、Tomcat は、セキュアでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートにリダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスをオンにしないでください。

Ø Acronis Access 設定ユーティリティ
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リボジトリ) サーバー エンドボイント アドレス The Client Access IP address ▼ ポート 443 証明書 Acronis Access … 「ポート 80 での接続を許可します
 設定ログ
ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました
ヘルプ OK キャンセル 適用

5. Acronis Access ファイル リポジトリが localhost 上でリッスンするように設定し、FileStore へのパスが共有ディスク上になるように変更します。このパスは、2 つのノードで同じにする必要があります。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リボジトリ サーバー エンドボイント	
パスワード ファイル ストアのパ E: FileStorePath	
設定ロク ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ OK キャンセル 適用	

6. [OK] をクリックすると、設定が完了し、サービスが再起動します。

第2ノードでのインストールおよび設定

- 1. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 2. 第 2 ノードに Acronis Access をインストールします。ただし、今回は、デフォルトの Postgres データ ロケーション、および第 1 ノードと同じ postgres ユーザー パスワードを使用します。
- 3. インストールを実行します。
- 4. ゲートウェイ サーバーのデータベースが共有ディスク上のロケーションとなるように設定します。
 - a. C:\Program Files (x86)\Acronis\Access\Gateway Server\ に移動します。
 - b. database.yml ファイルを見つけ、テキスト エディタで開きます。
 - c. database_path: './database/'の行を見つけ、./database/を、使用するパスに置き換えます(例: database_path: 'S:/access_cluster/database/')。
 注意: パスの区切りにはスラッシュ(/)を使用します。
 注意: 第 1 ノードで設定した database.yml をコピーして、第 2 ノードに貼り付けることができます。

注意: このパスは第 1 ノードで設定されているパスと同じでなければなりません。

PostgreSQL の場合、レジストリを手動で複製する必要があります。

- 1. Regedit を開きます。
- 2. HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\AcronisAccessPost greSQL\ に移動します。
- 3. キー「ImagePath」を開き、キーの値の一部を次のように変更します: -D "The path you selected for the PostgreSQL data location" (例: -D "E:/PostgreSQL/data")。
- 4. キー「DataDirectory」を開き、値を PostgreSQL のデータ フォルダに選択したパスに変更し ます(例: E:/PostgreSQL/data)。

₫ -	レジ	자기파	ディター			_ C		x
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H)								
⊳ - 🚹 PerfDisk	^	名前		種類	データ			
PerfHost		ab)(既)		REG_SZ	(値の設定なし)			
PerfNet		ab Dep	endOnSer	REG MULTI SZ	RPCSS			
▶ - 🛺 PerfOS		ab Des	cription	REG SZ	Provides relational datab	ase storad	ie.	
PerfProc		ab Dis	olavName	REG_SZ	postaresal-x64-9.2 - Post	areSOL S	erve	r 9.2
⊳ - <mark>]]</mark> pla		110 Frre	orControl	REG DWORD	0x00000001 (1)	.g		
PlugPlay		ab Im:	ageDath	REG EXPAND SZ	C:/PostgreSOL/9.2/hin/n	n ctleve	runea	envice
PolicyAgent		ablobi	octNamo	PEC 97	NT AUTHORITVXNotwork	Sonvice	i unov	CI VIC
		200j	ectivame rt	REG_52	0x0000002 (2)	CJEI VICE		
		00,20		REG_DWORD	0x0000002 (2)			
⊳ - 퉲 Power		I no i Ab	e	REG_DWORD	000000000000000000000000000000000000000			
PptpMiniport								
PrintNotify								
▶ - 🍌 ProfSvc								
⊳ - 🚹 Psched								_
⊳ - 퉲 ql2300				ż	マ字列の編集		2	×
⊳ - 퉲 ql40xx			-					
⊳ - 🄑 RasAcd			値の名前(<u>N</u>	<u>l</u>):				
🔉 🔑 RasAgileVpn			ImagePat	th				ין ר
⊳ - 🄑 RasAuto			Inagera					
⊳ 🌗 Rasl2tp			値のデータ()	<u>∨</u>):				
⊳ 🔑 RasMan			xe runser	vice -N "postaresal-	x64-9.2" -D "C+/PostareSO	/9.2/Data	a" -w	
⊳ - 🄑 RasPppoe			AC FOREC	nde n postgreba.		2, 512, 540		4
RasSstp					ОК	キャンヤ	uL.	
					OIL	-1720		
⊳ - 🔑 rdpbus								
RDPDR								
▶ 🔑 RDPNP								
RDPUDD	~	<						>
コンピューター¥HKEY LOCAL MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Servi	ices¥r	ostares	al-x64-9.2					

- 5. Regedit を閉じ、続けて以下のステップを実行します。
- 6. Acronis Access 役割を第 2 ノードに移動します。

第2ノードの設定ユーティリティの使用

1. 設定ユーティリティを起動します。クリーン インストールの場合、通常このユーティリティは C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥Configuration Utility にあります。 2. Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サー ビス グループをリッスンするように設定します。

Acronis Acces	s設定ユーティリティ	-	×
ゲートウェイ サーバ サーバー エンド アドレス ポート 証明書 □ Access サ・	 「ー Access サーバー ファイルリボジト ボイント The Client Access IP address ▼ 443 Acronis Access -バーに対するプロキシ要求 ごの接続を許可します 	リ - サービス アカウント	
設定ログ 自己署名証明書 ゲートウェイサーバ Accessサーバーの Accessサーバーの ファイルリポジトリの ファイルリポジトリの	を作成しています 〜の設定値が正常にロードされました)設定をロードしています)設定値が正常にロードされました D設定をロードしています D設定値が正常にロードされました		
ヘルプ		OK キャンセル 適	 囲

3. Acronis Access サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サービス グルー プをリッスンするように設定します。

注意: [ポート 80 での接続を許可します] が選択されている場合、Tomcat は、セキュアでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートにリダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスをオンにしないでください。

Ø Acronis Access 設定ユーティリティ
ゲートウェイサーバー Access サーバー ファイルリボジトリ サーバー エンドボイント サービス アカウント アドレス The Client Access IP address ・ ボート 443 ・ 証明書 Acronis Access ・ ボート 80 での接続を許可します ・ ・
ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました
ヘルプ OK キャンセル 適用

4. Acronis Access ファイル リポジトリが localhost 上でリッスンするように設定し、FileStore へのパスが共有ディスク上になるように変更します。このパスは、2 つのノードで同じにする必要があります。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リポジトリ サーバー エンドポイント アドレス 127.0.0.1 ボート 5787 ファイル ストアのパ E: \FileStorePath	
 設定Dグ	
ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ OK キャンセル 適用	

5. [OK] をクリックすると、設定が完了し、サービスが再起動します。

3 アップグレード

セクションの内容

Acronis Access の新しいバージョンへのアップグレード	65
Acronis Access Advanced へのアップグレード	66
mobilEcho バージョン 4.5 以前からのアップグレード	66
activEcho バージョン 2.7 以前からのアップグレード	111
クラスタ構成のアップグレード	133

3.1 Acronis Access の新しいバージョンへのアップグレード

Acronis Access を以前のバージョンからアップグレードする手順は、簡単で、設定の必要もほとんどありません。

Apache Tomcat フォルダのバックアップ

アップグレード時に Apache Tomcat がアップグレードされ、現在の Tomcat のすべての設定ファ イル およびログ ファイルが削除されます。Apache Tomcat フォルダのコピーを作成することをお 勧めします。デフォルトでは、このフォルダは次の場所にあります: C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥Common¥。

アップグレード

- インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 2. 実行可能なインストーラをダブルクリックします。

Acronis Access Advanced へようこそ	
	Acronis Access
Acronis Access Advanced ようこそ このユーティリティは、Acronis Access をインスト・ す。	セットアップ ユーティリティへ ール、アップデート、または削除しま
7.0.0x340	(次ヘ) キャンセル

3. [次へ] を押して開始します。

4. 使用許諾契約を読み、承諾します。

- 5. **[アップグレード]**を押します。
- 6. インストールするコンポーネントを確認して、[インストール]をクリックします。
- 7. インストールされたコンポーネントを確認して、インストーラを閉じます。
- 8. 設定ユーティリティを開くように求められたら、[OK] を押します。

Acronis A	lccess セットアップ ユーティリティ	×
1	インストールが完了しました。ご利用になるには設定が必要になります。 [OK] をクリックして Acronis Access 設定ユーティリティを実行します。	
	OK	

9. 設定ユーティリティの設定が変更されていないことを確認します。すべての設定が希望の設定と 同じであることを確認したら、[OK] を押して設定ユーティリティを閉じ、Acronis Access サービ スを開始します。

3.2 Acronis Access Advanced へのアップグレード

Acronis Access サーバーを Advanced バージョンにアップグレードするために必要な操作は、 Acronis Access Advanced ライセンス キーの追加だけです。

キーを追加するには:

- 1. 管理者として Acronis Access ウェブ インターフェイスを開きます。
- 2. [全般設定] タブを開き、[ライセンス] をクリックします。
- 3. ライセンスを追加します。

新しいライセンスの追加

- 1. プロダクト キーをコピーします。
- 2. [プロダクト キーの追加] フィールドに貼り付けます。
- 3. ライセンス契約を読み、チェックボックスをオンにして同意します。
- 4. [ライセンスの追加] を押します。

3.3 mobilEcho バージョン 4.5 以前からのアップグレード

セクションの内容

開始する前に	67
アップグレード プロセス	75
mobilEcho 4.5 へのダウングレード	.110

3.3.1 開始する前に

アップグレード前の mobilEcho のバックアップ

既存の mobilEcho サーバーで使用されているデータ ファイルをバックアップしてください。 Acronis Access インストーラによってデータ ファイルはバックアップされますが、安全のため、アッ プグレードを開始する前に独自のバックアップ コピーを作成することをお勧めします。

mobilEcho 4.5 以前のサーバーのバックアップと復元のプロセスについては、 http://docs.grouplogic.com/display/MobilEcho/mobilEcho+Server+Backup+and+Restoration を参照してください。

Acronis Access へのアップグレードに進むには、事前にご使用の mobilEcho のバージョンを バージョン 4.5 にアップグレードしてください。

設定の確認

アップグレードを続行する前に、次のことを確認してください。

- mobilEcho と activEcho の両方がインストールされていることを確認します。
- mobilEcho と activEcho が同一のコンピュータにインストールされているか、別々のコンピュ ータにインストールされているかを確認します。
- mobilEcho で使用されているポートを確認します。また、ファイル サーバーおよび管理サーバ ーのポートも確認します。
- activEcho で使用されているポートを確認します。ファイル レポジトリが同じコンピュータにある ことを確認します。

機能強化

Acronis Access には多数の機能強化が組み込まれており、mobilEcho サーバーの設定と管理が 改善されるとともに、mobilEcho と activEcho の両製品の管理が単一のコンソールに統合されま した。このガイドでは、Acronis Access へのアップグレード時に考慮する必要のある、アーキテクチ ャと機能の変更点を説明します。

Acronis Access では Network Reshare Path Mapping のセットアップが自動で行われるため、 これをユーザー自身で行う必要はありません。しかし、ホーム ディレクトリをホストするサーバーを 指す「フォルダ」データ ソースを、サーバーにつき 1 つずつ作成しなければなりません。

アップグレードには慎重な計画が必要

Acronis Access では、mobilEcho のソフトウェア サービス、データベース/設定の場所、および管理の面で、アーキテクチャと機能が大幅に変更されています。これらの変更により、強力な新機能と統合が導入されていますが、Acronis Access へのアップグレードにあたっては注意深く検討すべき事項がいくつかあります。

mobilEcho の単ーサーバーを配置する場合であれば、プロセスはきわめて簡単ですが、リバース プロキシ サーバーと負荷分散装置を使用する場合や、複数の mobilEcho サーバーがある場合、 または Microsoft フェールオーバー クラスタリングを使用する場合は、このドキュメントで説明され る、特定のシナリオに該当する場合のアップグレード考慮事項を理解してから実行してください。

このドキュメントでは、Acronis Access へのアップグレードを計画して安全に実行するために必要 な詳細事項を説明します。固有の mobilEcho の配置をシミュレートしたテスト環境でこのアップグ レードを実行してから、本番 mobilEcho サーバーをアップグレードすることを強くお勧めします。

負荷分散された mobilEcho サーバーと Microsoft フェールオーバー クラスタ

負荷分散装置をフロントエンドとして使用する複数の mobilEcho サーバーを配置している場合、ま たは Microsoft フェールオーバー クラスタ上で mobilEcho を実行している場合は、Acronis Access 5.1 以降にアップグレードする必要があります。5.1 では新機能が導入され、負荷分散さ れた一群のゲートウェイ サーバーを Acronis Access Server コンソールから自動的に管理できる ようになりました。この機能を使用すれば、レジストリ設定を複製したりサーバーの更新をスクリプト で実行したりする必要がなくなります。新しいデータ ソース(ボリューム)をサーバーに追加する操 作をワン ステップのプロセスとして管理コンソールから自動的に処理できます。詳しくは、「クラスタ グループ」の記事を参照してください。

Windows フェールオーバー クラスタで mobilEcho をインストールしたりアップグレードしたりする作業は、 かなり複雑なプロセスになります。mobilEcho 5.0 でアーキテクチャが変更された結果、Windows フェール オーバー クラスタで mobilEcho を実行する方法にも変更が必要になります。

クラスタでの Acronis Access のインストールについては、「クラスタ上での Acronis Access のインストール 『20ページ』」の記事を参照してください。

mobilEcho クラスタを Acronis Access クラスタにアップグレードする手順については、「クラスタでの Acronis Access のアップグレード 『138ページ』」の記事を参照してください。

アーキテクチャと用語の変更

mobilEcho と activEcho の両製品が統合されて、1 つの共通ソフトウェア プラットフォームになり ました。両製品は引き続き別個にライセンス供与され、別個に使用することも一緒に使用することも 可能ですが、インストーラと管理コンソールが共通になりました。ウェブ ベースのこの共通コンソー ルを Acronis Access サーバーといいます。

mobilEcho 4.5 以前のバージョンには 2 つの管理コンソールがありました

mobilEcho Administrator: この Windows プログラムは、mobilEcho クライアントで利用可能 なファイル共有「ボリューム」の定義、アクティブなユーザーの監視、mobilEcho File Access Server の全般設定の構成に使用されていました。

me mobilEcho - [PEZTEST] - mobilEcho	
File Server Summary File Server services running normally.	Close Help
Suspend File Sharing	About Licensing
Active Sessions: 4 Licenses Used: 2	Check for Opdates
Image: Description Image: Description Users ⊻olumes ∑ettings	
	4.5.1x103

mobilEcho Client Management Administrator: この Web ベースのコンソールは、 mobilEcho クライアント ユーザーのオンボード、監視、リモート ワイプ、およびクライアントのセキ ュリティと設定ポリシーの定義に使用されていました。さらに、mobilEcho アプリに自動的に表示さ れる mobilEcho サーバー、ネットワーク フォルダ ショートカット、および同期フォルダの割り当て にも使用されていました。

	Devices Invitations Groups Users Servers & Fol	ders Allowed App	s Settings	i Log ou
nobil Echo [®]				
ient Management Adn	ninistrator			
Manage Group Profiles	S	nown to the group me	embers. The g	roup
profile list is shown in the order of precedence	e. The first group in the list that a user belongs to will determine their	profile.		
Add new group	e. The first group in the list that a user belongs to will determine their	profile.		
Add new group	e. The first group in the list that a user belongs to will determine their Filter by	Name ¢		Filter
Add new group Common Name / Display Name	e. The first group in the list that a user belongs to will determine their Filter by Distinguished Name	Name +	Enabled	Filter
Add new group Common Name / Display Name TestSecGroup	e. The first group in the list that a user belongs to will determine their Filter by Distinguished Name CN=TestSecGroup,OU=Groups,DC=glilabs,DC=com	Name ÷	Enabled	Filter delete
Add new group Common Name / Display Name TestSecGroup Marketing	e. The first group in the list that a user belongs to will determine their Filter by Distinguished Name CN=TestSecGroup,OU=Groups,DC=glilabs,DC=com CN=Marketing,OU=Groups,DC=glilabs,DC=com	Name ÷	Enabled	Filter delete delete
Add new group Common Name / Display Name TestSecGroup Marketing Group1	e. The first group in the list that a user belongs to will determine their Filter by Distinguished Name CN=TestSecGroup,OU=Groups,DC=glilabs,DC=com CN=Marketing,OU=Groups,DC=glilabs,DC=com CN=Group1,CN=Users,DC=glilabs,DC=com	Name ⇒ ↑↓ ↑↓ ↑↓ ↑↓	Enabled	Filter delete delete
Add new group Common Name / Display Name TestSecGroup Marketing Group1 Group2	e. The first group in the list that a user belongs to will determine their Filter by Distinguished Name CN=TestSecGroup,OU=Groups,DC=glilabs,DC=com CN=Marketing,OU=Groups,DC=glilabs,DC=com CN=Group1,CN=Users,DC=glilabs,DC=com	Name ≑ ↑↓ ↑↓ ↑↓ ↑↓ ↑↓ ↑↓ ↑↓	Enabled	Filter delete delete delete

Acronis Access のリリースをもって、上記の 2 つの管理コンソールは Acronis Access サーバーというウェブ ベースの単一のコンソールにまとめられました。

Acronis	W				管理画面を閉じる	🖶 🔺 adn	ninistrator -
Access	グループ ボリシー	ユーザー ポリシー	許可されたアプリ	デフォルトのアクセス制限			
ふ モバイル アクセス	グループ ポリ	リシーの管理	Ł				
デバイス	グループ ポリシーは、モ	ミバイル クライアントの	Dアブリケーション設定。	機能、セキュリティ設定を構成	覚します。 グループ ポリシ	ノーリストは	優先度順
ユーザーの登録	「こ衣示されます。ユーフ	「一かぁするリストの」	1 (、戦も変力度の高い	クルーフのホリシーか適用さ	flag.		
ポリシー	+ グルーブ ボリシー	の追加					
ゲートウェイ サーバー		フィルタの条件	名前			フィルタ	リセット
データソース	共通名/表示名	識別名				有効	
設定	Demo Users	CN=Demo Us	sers,OU=Groups,DC=	glilabs,DC=com	↑↓	•	×
	Domain Admins	CN=Domain	Admins,CN=Users,DC	=glilabs,DC=com	$\uparrow \downarrow$	•	×
◎ 同期6よび共有	Default						
■ 監査ログ							
o ² 全般設定							

Acronis Access サーバーは以下の役目を果たすウェブ アプリケーションです。

- mobilEcho の管理コンソール
- activEcho の管理コンソール
- activEcho のクライアント ウェブ インターフェイス

mobilEcho 製品のみを使用している場合は、Acronis Access にアップグレードすると、既存の mobilEcho Client Management Administrator ウェブ コンソール(通常は mobilEcho サーバー のポート 3000 で実行)が Acronis Access サーバー ウェブ コンソールにアップグレードされます。

mobilEcho Administrator Windows プログラムの機能は、Acronis Access サーバー ウェブ コン ソールで処理されることになりました。Acronis Access にアップグレードすると、mobilEcho Administrator を使用して mobilEcho File Access Server サービスを設定することがなくなるた め、mobilEcho Administrator は mobilEcho サーバーから削除されます。

Windows レジストリに設定が保存されなくなりました

旧バージョンの mobilEcho では、mobilEcho File Access Server の設定と、設定されたボリュー ムが Windows レジストリに保存されていました。Acronis Access にアップグレードすると、これら の設定が内部の SQL データベースに移されます。mobilEcho ボリュームを直接 Windows レジ ストリに追加したり、mobilEcho のレジストリ設定をバックアップしたりするための自動プロセスを使 用していた場合、代わりに SQL データベースを処理するようにプロセスを変更する必要があります。

デフォルトで、この SQL データベースはアップグレード後のサーバーの以下の場所に置かれます。

C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\database\mobilEcho.sqlite3

負荷分散された一連の mobilEcho サーバーのボリュームを管理するためにレジストリを直接編集 している場合、新たに導入されるクラスタ mobilEcho サーバー管理機能のおかげで、レジストリで ボリューム変更を加える必要が軽減されます。

Acronis Access サーバーの管理

既存の設定

mobilEcho 4.5 以前の既存のボリューム、登録ユーザー、ポリシー、割り当て済みのサーバーとフ オルダ、および許可アプリは、アップグレード処理中にすべて Acronis Access サーバーに移行さ れます。既存の mobilEcho クライアント ユーザーは、クライアント側の変更を一切必要とせずに 引き続きサーバーに接続でき、同一のポリシーとデータ ソースを受け取ることができます。クライア ント ユーザーには Acronis Access iOS クライアント アプリまたは Acronis Access Android ク ライアント アプリにアップグレードすることをお勧めしますが、旧バージョンのクライアント アプリに は Acronis Access サーバーとの互換性があります。

サーバー管理者の設定

Acronis Access へのアップグレード前に mobilEcho 管理者として設定されていた既存のユーザ ーまたはグループには、引き続き Acronis Access サーバー ウェブ コンソールへの完全な管理 者権限が付与されます。Acronis Access では役割ベースの新しい管理者権限が導入され、これに よって管理の機能を特定のユーザーまたはグループに制限することができます。管理者を追加また は編集するには、「全般設定」 メニューの [管理者] ページにアクセスしてください。

プロビジョニング済み LDAP 管理者グループの追加 ×
選択済みグループ:
 管理者権限 ✓ 完全な管理者権限 ✓ ユーザーを管理する ✓ モバイル データソースを管理する ✓ モバイル ポリシーを管理する ✓ 転査ログを表示する
LDAP グループを検索して、共通名/表示名をクリックし、 [プロビジョニング済み LDAP 管理者グ ループ] として選択します。
次に該当するグループを検索 先頭の文字 検索
追加 キャンセル

電子メール テンプレート

ユーザーに送信する mobilEcho 登録招待メールに使用する電子メール テンプレートをカスタマイ ズした場合、Acronis Access へのアップグレード時にこの電子メール テンプレートは移行されま せん。電子メール テンプレート編集用の新しいインターフェイスが用意されています。Acronis Access コンソールの [全般設定] メニューで [電子メール テンプレート] ページを開き、必要に応 じて電子メール テンプレートを変更しなければなりません。詳細については、「電子メール テンプレ ートの設定」の記事を参照してください。

注意: 前の mobilEcho テンプレートのコピーは、Legacy mobilEcho files フォルダにあります。デフォルト では、そのロケーションは C:¥Program Files (x86)¥Group Logic¥Access Server¥Legacy mobilEcho files です。ファイルの名前は、invitation.html.erb および invitation.txt.erb です。新しいテ ンプレートをカスタマイズする際には、これらのファイルを参考にすることができます。

Acronis			管理画面を閉じる 📚 🔺 administrator 🕶
Access	電子メール テン	プレート	テンプレートの保存
◎ モバイル アクセス	Acronis Access サーバー	こよって送信されるすべての電子メールは、カスタマイズできます。各電子メールについて、H	TML とテキスト形式の電子メール テンプレートを
○ 同期および共有	指定9 る必要がありま9。7 スタマイズ方法を判断して。	テンノレートの本文は、EKB, embedded Kuby Milistike y る必要かめります。テンオルトの ださい。	アノノレートで確認して、アノフレートの1敗3回な月
😑 監査ログ	言語の強調		
◎ 全般設定	810-2/21/-		
サーバー	電子メール テンプレートの 選択:	モバイル アクセスのためのユーザー登録 🔍	
SMTP		@Invitation.cmpill フーザーの漂子ノール.マピュラ	
LDAP	1史用可能なバラメータ	@invitation.pin - ユーザーの PIN コード	
管理者		@invitation.display_name - ユーザーの表示名 @management_server_address - Acronis Access サーバー アドレス	
電子メール テンプレート		@expiration - PIN コードの有効期限日付 @url - Acronis Access URL	
ライセンス		 @invitation.user - ユーザー名(ユーザー ブリンシバル名) @app_name - アブリ名("Acronis Access" または "Acronis Access for Good Dynamics 	2
デバッグ ログ		@is_good - アブリケーションが Good Dynamics 用の場合は True	
監視		@send_android_instructions - 治時メールに Android の指示が含まれる場合は True @locale - このデンブレートのロケール コード	2
	電子メールの件名	Acronis Access へようこそ	
	<u>デフォルトの表示</u>	ー 作名でパラメータを使用するには、パラメータ名を #{} で囲みます(例: #{parameter_name}).
	HTML 電子メール テンブ	html	<u>^</u>
	レート <u>デフォルトの表示</u>	<html> <html> <mtla content="text/html; charset=UTF-8" http-equiv="Content-Type"></mtla> </html></html>	
		<body> <%= @invitation.email %>,</body>	

データ ソース/ボリューム管理

Acronis Access では、mobilEcho Administrator Windows プログラムと mobilEcho Client Management Administrator ウェブ コンソールのサーバー管理機能が統合されて単一のウェブ インターフェイスになります。その結果、ボリュームという概念が不要になりました。

新しいファイル共有または SharePoint ロケーションへのアクセス権を、1 ステップの処理でユー ザーに付与できるようになりました。そのためには、[データ ソース] ページの [フォルダ] タブで [新しいフォルダの追加] をクリックします。この 1 ステップで実行する操作は次のとおりです。

- 1. フォルダの表示名を指定します(これがユーザーに表示されます)。
- 2. このデータ ソースにアクセスするために使用するゲートウェイ サーバーを選択します。
- 3. データ ソースの種類を選択します。ゲートウェイ サーバー上のローカル フォルダ、SMB/CIFS 共有、SharePoint サイトまたはドキュメント ライブラリ、activEcho サーバーのいずれかです。
- 4. 割り当て先のユーザーにこのフォルダを自動的に同期するかどうかを選択します。
- 5. このフォルダを mobilEcho サーバーのルートに表示するかどうかを選択します(サーバーの ルートを表示することがユーザーに許可される設定の場合)。
6. このフォルダを一連の AD(Active Directory)ユーザーまたはグループに割り当てます。これで、 フォルダはユーザーの mobilEcho アプリケーションに自動的に表示されるようになります。

フォルダの編集		×	
表示名: Demo Share			
このデータソースにアクセス権を付与するために使用する	らゲートウェイ サーバーを選択する:		
Local (192.168.1.141:443)			
	•	_	
この Acronis Access ゲートウェイ サーバー上で共有す \Documents\")。ワイルドカード文字列 %USERNAME はユーザーのユーザー名で置き換えられます。	するローカル フォルダのバスを入力します(例: "E:\Shares % をパスに含めることができます。この場合、ワイルドカード		
バス: D:\Demo Share			
同期:なし			
 ✓ サーバーの参照時に表示する □ Salesforce.com アクティビティのログ記録を必須にする			
ユーザーまたはグループにこのフォルダを割り当てる			
次に該当するユーザーまたはグループを検索 先頭の)文字		
検索			
このフォルダの割り当て先:			
共通名	識別名		
	保存 キャンセ	V	

ゲートウェイ サーバーが mobilEcho クライアント アプリケーションに自動的に表示されるように 設定するには、[クライアントで表示されるゲートウェイ サーバー] タブを使用します。このページで AD ユーザーまたはグループをゲートウェイ サーバーに割り当てることができます。そうすると、そ れらのユーザーの mobilEcho アプリケーションには指定したサーバーのリストが表示されるように なります。それらのユーザーは、どんなフォルダであれ、[サーバーの参照時に表示する] プロパティ が有効で、かつ自分がファイル アクセス許可を持っているものなら、表示して中身を参照すること ができます。

フォルダ	クライアントで表示されるゲート	ウェイ サーバー	割り当て済みのソース			
クライアントで表示されるゲートウェイ サーバー						
Acronis Acce ユーザーの A スを参照でき	rss モバイル ユーザーが Active cronis Access モバイル アブリ るようになります。	Directory のユー・ こ表示されます。す	fーまたはグルーブによって割り当てられ ると、これらのユーザーが、既存のファィ	れると、特別 イル アクセ	定のゲートウェイ サーバーが、その Acronis Access モバ にス許可を持っているこれらのサーバー上の表示可能なデ	イル ータソー
表示名		サーバーアドレ	λ	\$	割り当て先	
Local		192.168.1.141	443		Domain Admins	Ø
Main Serve	er	192.168.1.140	443		Demo Users	Ø

mobilEcho クライアント管理のアドバンスト機能の使用を開始する

既存の mobilEcho サーバーで mobilEcho クライアント管理機能を設定していなかった場合は、 Acronis Access のインストール プロセスに表示される手順に従って基本設定を行うことにより、そ のアドバンスト機能を使用し始めることができます。

初めに、Active Directory ユーザーとグループを Acronis Access サーバーで列挙できるように LDAP を設定することと、電子メールによる登録招待をユーザーに送信できるように SMTP を設 定することが求められます。

この設定を実行すると、ユーザーとグループのポリシー、デバイスごとの追跡、およびその他の多くの機能を利用できるようになります。

新しい監査ログ オプション

Acronis Access には新しい監査ログ機能が含まれています。これにより、Acronis Access ゲート ウェイ サーバーはすべてのファイル アクティビティを Acronis Access ウェブ コンソールに報告 できるようになります。これらのアクティビティは統合された監査ログに保存されます。これを使用し て、ユーザーが実行するすべてのファイル操作を監査できます。

デフォルトで、ゲートウェイ サーバーの監査ログは無効になっています。ゲートウェイ サーバーで 監査ログを有効にするには、[ゲートウェイ サーバー] ページにアクセスし、希望のサーバーの [詳 細] ボタンをクリックし、[ログ] タブで [監査ログ] オプションを選択します。

Main Server	×		
ステータス ログ アクティブ ユーザー			
デバッグ ログの設定は、カスタマ サポート担当者の要求があった場合のみ変更することをお勧めします。追加のデバッ グ ログはサーバーで発生した問題のトラブルシューティングに役立つことがあります。			
ログ ファイルがあるロケーションの詳細については、 <u>ドキュアント</u> を参照してください。			
 ✓ 監査ログ □ デバッグ ログ 	ログ ファイルのアーカイブ		
	【閉じる】		

これでイベントが監査ログに記録されるようになります。監査ログには Acronis Access サーバーのメイン メニューからアクセスできます。

3.3.2 アップグレード プロセス

Acronis Access のアップグレード プロセス

まず、アップグレードする mobilEcho 実装環境のタイプを確認します。この後のセクションでは、シ ナリオごとに実行手順を説明していきます。以下のようなシナリオが一般的です。

1. 単一の mobilEcho サーバー(クライアント管理なし)

 1 つの Windows サーバーで mobilEcho File Access Server サービスだけを実行する 環境です。

2. 単一の mobilEcho サーバー(クライアント管理あり)

- 1 つの Windows サーバーで mobilEcho File Access Server サービスと mobilEcho Client Management サービスの両方を実行する環境です。
- 3. 複数の mobilEcho サーバー(クライアント管理あり)
 - 複数の Windows サーバーで mobilEcho File Access Server サービスを実行し、いず れか 1 つの Windows サーバーで mobilEcho Client Management サービスも実行す る環境です。
- 4. 複数の mobilEcho サーバー(負荷分散装置をフロントエンドで使用)
 - 1 つのスタンドアロン Windows サーバーで mobilEcho Client Management サービスを 実行し、負荷分散装置をフロントエンドで使用する 2 つ以上の Windows サーバーで mobilEcho File Access Server サービスだけを実行する環境です。
- 5. Windows フェールオーバー クラスタ
 - バージョン 5.0.3 以降でサポートされます。
 - マルチノード Windows フェールオーバー クラスタの 1 つ以上のアクティブ/アクティブ仮 想サーバーまたはアクティブ/パッシブ仮想サーバーで mobilEcho を実行する環境です。

シナリオ 4(mobilEcho File Access Server のために負荷分散装置を使用する環境)に関する 重要な注記

負荷分散装置をフロントエンドで使用する環境で複数の mobilEcho File Access Server を実行する場合は、 ユーザーが自分のファイルにアクセスするためにどのノードにも接続できるようにするために、それぞれの mobilEcho サーバーで常に同じ mobilEcho ボリュームを設定しておく必要があります。負荷分散装置を使 用する複数のサーバーで常に同じボリュームを設定しておくには、mobilEcho ボリュームの設定を複製する という方法が最も一般的です。その設定は、mobilEcho 4.5 以前ではレジストリに格納されています。

Acronis Access では、ボリュームの設定が SQL データベースに移されました。Acronis Access にアップ グレードすると、新しいボリュームを mobilEcho サーバーに追加するときに使用する既存のレジストリ アッ プデート スクリプトが機能しなくなります。5.1 では新機能が導入され、負荷分散された一群のゲートウェイ サーバーを Acronis Access Server コンソールから自動的に管理できるようになりました。この機能を使用 すれば、レジストリ設定を複製したりサーバーの更新をスクリプトで実行したりする必要がなくなります。新しい データ ソース(ボリューム)をサーバーに追加する操作をワン ステップのプロセスとして管理コンソールから 自動的に処理できます。詳しくは、「クラスタ グループ」の記事を参照してください。

シナリオ 5(Windows フェールオーバー クラスタ)に関する重要な注記

Windows フェールオーバー クラスタで mobilEcho をインストールしたりアップグレードしたりする作業は、 かなり複雑なプロセスになります。mobilEcho 5.0 でアーキテクチャが変更された結果、Windows フェール オーバー クラスタで mobilEcho を実行する方法にも変更が必要になります。 クラスタでの Acronis Access のインストールについては、「クラスタ上での Acronis Access のインストール 『20ページ』」の記事を参照してください。

mobilEcho クラスタを Acronis Access クラスタにアップグレードする手順については、「クラスタでの Acronis Access のアップグレード 『138ページ 』」の記事を参照してください。

セクションの内容

単一の mobilEcho サーバー(クライアント管理設定なし)のアップグレード	··· 76
単一の mobilEcho サーバー(クライアント管理有効)のアップグレード	88
複数の mobilEcho サーバー(クライアント管理あり)のアップグレード	· 105
クライアント管理を有効に設定した単一の mobilEcho サーバーと activEcho	
サーバーのアップグレード	· 110

3.3.2.1 単一の mobilEcho サーバー(クライアント管理設定なし)のアップ グレード

シナリオ 1: 単一の mobilEcho サーバー(クライアント管理設定なし)のアップグレード



これは、1 つの Windows サーバーで mobilEcho File Access Server サービスだけを実行する 環境です。このアーキテクチャでは、オプションの mobilEcho Client Management Administrator ウェブ コンソールを有効にしません。また、mobilEcho のポリシーやリモート管理機能も使用しま せん。ユーザーが mobilEcho を設定する場合は、自分のサーバー名、ユーザー名、パスワードを mobilEcho アプリに手動で入力します。

Acronis Access にアップグレードすると、mobilEcho File Access Server が Acronis Access ゲ ートウェイ サーバーにアップグレードされます。このサービスは、引き続き mobilEcho クライアント からの接続を受け入れ、ユーザーがアクセスするすべてのファイル サーバーや、NAS または SharePoint のデータ ソースへのゲートウェイの役割を果たします。

このアップグレードを実行すると、Acronis Access サーバー ウェブ コンソールもインストールされ ます。この新しいコンソールは、mobilEcho サーバーを管理するために以前に使用していた Windows プログラム mobilEcho Administrator に代わるものです。Acronis Access サーバー ウェブ コンソールを使用すれば、1 つの統一的なウェブ インターフェイスから mobilEcho サーバ ーを管理し、必要に応じて追加のクライアント管理機能を利用することも可能になります。

Acronis Access へのアップグレードは次の手順で実行します。

- 1. 必要なファイルすべてをバックアップします。「mobilEcho 4.5 バックアップ」や「activEcho 2.7 バックアップ」のガイドに従ってください。
- 2. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 3. Acronis Access Server インストーラを mobilEcho サーバーにダウンロードし、インストーラを 実行します。
 - a. 最新版のインストーラを入手するには、http://support.grouplogic.com/?page_id=3598 に アクセスします。
 - b. 確認のため、インストーラをダウンロードする前に製品のプロダクト キーを入力する必要が あります。
 - c. インストーラ ファイルの名前は AcronisAccessSetup.exe です。
- 4. [ようこそ] 画面で [次へ] をクリックします。

Acro	onis Access へようこそ
	Acronis Access
	Acronis Access セットアップ ユーティリティへようこそ
	このユーティリティは、Acronis Access をインストール、アップデート、または削除しま す。
	6.0.0x155 次へ > キャンセル

5. 使用許諾契約に同意します。

Acronis Access 使用許諾	契約
	Acronis Access
	ACRONIS
77	トウェア ライセンス契約書
ACRONIS ソフトウェア このソフトウェア ライ をよくお読みください。 (「ACRONIS」または	(「本ソフトウェア」)をご利用になる前に センス契約書(「本契約」または「EULA」) ACRONIS INTERNATIONAL GMBH 「ライセンサ」)は、個人または法人の利用
者(「ライセンシ」また	とは「利用者」)が本契約のすべての条件に ▼
をよくお読みください。 (「ACRONIS」または 者(「ライセンシ」また <戻る	ACRONIS INTERNATIONAL GMBH 「ライセンサ」)は、個人または法人の利用 とは「利用者」)が本契約のすべての条件に この契約に同意します キャンセル

6. **[アップグレード]** オプションをクリックすると、mobilEcho File Access Server サービスが自動 的に Acronis Access ゲートウェイ サーバーにアップグレードされます。アップグレード プロセ スでは、Acronis Access サーバーとそれに必要なサービスもインストールされます。 **注意**: **[カスタム]** を選択して Acronis Access ゲートウェイ サーバーだけをインストールすることは しないでください。Acronis Access サーバーは、mobilEcho Administrator Windows プログラムに 取って代わる新しいウェブ コンソールです。mobilEcho サーバーを管理するにはこのコンソールが 必要です。これをインストールしないと、mobilEcho の設定を変更したり、新規ファイル共有へのアク セス権を付与したりすることができません。

Acronis Access セットアップ オプション
Acronis Access
Acronis Access サーバー 「アップグレード] をクリックすると、ソフトウェアが Acronis Access サーバーおよびそれに 関連するコンボーネントにアップグレードされます。 <i>注意: カスタム インストールは、特別な構成にのみ使用します。</i>
アンインストール カスタム アップグレード キャンセル

 Acronis Access コンポーネントのインストール先となるインストール ロケーションを選択します。
 既存の mobilEcho サーバーをアップグレードする場合、既存のインストール ロケーションが デフォルトのパスになります。デフォルトのインストール パスを変更しないことをお勧めします。

Acron	is Access
Acronis Access Server	
C:\Program Files (x86)\Group Logic\Access Server\	参照
Acronis Access File Repository	
C:\Program Files (x86)\Group Logic\File Repository\	参照
Acronis Access Configuration Utility	
C:\Program Files (x86)\Group Logic\Configuration Utility\	参照

8. Acronis Access サーバーでは設定を保存するために PostgreSQL データベースが使用され ます。このデータベースは必須であり、自動的にインストールされます。

注意:「postgres」管理アカウント用のスーパーユーザー パスワードを入力し、確認のために再度入力します。必ずこのパスワードを安全な場所に記録してください。

注意: PostgresSQL のインストール場所もポートも変更しないことをお勧めします。

PostgreSQLの構成			
Acronis Access			
PostgreSQL のインストール ロケーション: ベース パス: C:\PostgreSQL\9.2\ データ パス: C:\PostgreSQL\9.2\Data\			
PostgreSQL スーパーユーザー資格情報:(必要な場合は作成されます) PostgreSQL スーパーユーザー パスワード: *********			
パスワードを再入力してください: *********			
PostgreSQL ポート: 5432			
(大へ) キャンセル			

9. インストールおよびアップグレードするサービスを確認します。それから [インストール] をクリッ クして、アップグレードを開始します。

Acronis Access のインストールに関する警告			
Acronis Access			
セットアップにより、以下の製品がインストールまたはアップグレードされます。この処理によ り、Acronis Access が起動または停止され、このシステムのユーザーの作業が中断される 可能性があります。			
Acronis Access Server v. 6.0.0.155 + Acronis Access Tomcat web server v. 7.0.42 + Java Runtime Environment v. 7.0.510 Acronis Access Gateway Server v. 4.5.2.103> v. 6.0.0.125 Acronis Access File Repository v. 6.0.0.155 Acronis Access Configuration Utility v. 6.0.0.155 PostgreSQL Database Server v. 9.2.4			
< 戻る インストール キャンセル			

注意: 必要なすべてのコンポーネントが順に自動的にインストールされます。これにはサーバーに応じて 5~15 分かかります。将来のアップグレードのインストールはより高速になります。



10. インストールが完了すると、インストールされたコンポーネントの要約が表示されます。 続行する には、 [終了] をクリックします。

以下の 7 製品がインストールまたはアップグレードされ Acconis Access Server version 6.0.0.155	.ました:
Acronis Access Server Version 0.00101 + Acronis Access Tomcat web server v. + Java Runtime Environment v. 7.0.51 Acronis Access Gateway Server version 6.0 Acronis Access File Repository version 6.0 Acronis Access Configuration Utility version PostgreSQL Database Server 64-bit 9.2.4	7.0.42 0 64-bit 0.0.125 .0.155 n 6.0.0.155

11. 必要なすべてのソフトウェアはアップグレード処理のこの時点ですべてインストール済みですが、 次に、使用するネットワーク インターフェイス、ポート、および証明書を設定する必要があります。

重要: この設定ステップに進まないと、mobilEcho サーバーは機能しません。このステップは必須です。

インストーラを終了すると、Acronis Access 設定ユーティリティを実行するよう促すプロンプトが表示されます。続行するには、[OK] をクリックしてください。



誤ってこのステップを飛ばしてしまった場合、あるいは後でネットワーク インターフェイス、ポート、また は証明書を変更しなければならなくなった場合は、設定ユーティリティをいつでも手動で実行できます。

アップグレード済みの mobilEcho サーバーにおいて、ユーティリティのデフォルト位置は以下のとおりです。

C:\Program Files (x86)\Group Logic\Configuration Utility\AcronisAccessConfiguration.exe

12. Acronis Access ゲートウェイ サーバーのネットワーク アドレス、ポート、および証明書を設定 するには、設定ユーティリティ内で [ゲートウェイ サーバー] タブを使用します。Acronis Access ゲートウェイ サーバーは mobilEcho クライアントの接続先となる主要な mobilEcho サービスであり、ファイル サーバー、NAS、および SharePoint サーバーへのアクセス権はこ こから付与されます。Acronis Access より前、このサービスは mobilEcho File Access Server という名前でした。

注意: 既存の設定は保持されます。これらの設定が mobilEcho File Access Server の既存の設 定と一致することを確認してください。通常、このサービスはすべての有効なネットワーク アドレスの ポート 443 で実行されます。既存の SSL サーバー ID 証明書があれば、その証明書が自動的に 選択されます。既存の SSL サーバー ID 証明書がない場合は、自己署名証明書が生成されます。

 ◇ Acronis Access 設定ユーティリティ ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリボジト! サーバー エンドボイント アドレス 利用可能なすべてのアドレス ▼ ボート 443 証明書 Acronis Access … □ Access サーバーに対するプロキシ要求 □ ポート 80 での接続を許可します 	× ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
設定ログ 自己署名証明書を作成しています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイル リポジトリ の設定値が正常にロードされました ヘルプ	▲ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

13. [Access サーバー] タブを使用して、Acronis Access サーバーのネットワーク アドレス、ポート、証明書を設定します。Acronis Access サーバーは、サーバー管理とリモート クライアント 管理のすべての作業を実行するためのウェブ コンソールです。このコンソールは、Windows プログラム mobilEcho Administrator の代わりに使用する必須コンポーネントです。

注意: Access サーバーの設定を確認してください。デフォルトの設定をお勧めします。通常、このウェブ コンソールはすべての有効なネットワーク アドレスのポート 3000 で実行されます。既存の SSL サーバー ID 証明書があれば、その証明書が自動的に選択されます。既存の SSL サーバ ー ID 証明書がない場合は、自己署名証明書が生成されます。

4	Acronis Access 設定ユーティリティ
	ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリポジトリ
	サーバー エンドポイント アドレス 利用可能なすべてのアドレス ・ ポート 2000
	証明書 Acronis Access
	🥅 ポート 80 での接続を許可します
	ストア (80092004) に証明書がみつかりませんでした。新しい自己署名証明書を作成しています。
	Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました
	ファイルリポジトリの設定をロードしています

14. Acronis Access Server では、ファイル リポジトリの場所を選択しなければなりません。 mobilEcho だけを使用する場合、このファイル リポジトリに何かを格納することはありません が、それでも場所の設定は必要です。

このリポジトリは、Acronis の activEcho のファイル同期機能とファイル共有機能で使用します。これらの機能がまだインストールされていないサーバーをアップグレードした場合、これらの機能は有効になりませんが、必要に応じて後から有効にすることができます。

ファイル リポジトリのデフォルトの場所は、以下のとおりです。

C:¥ProgramData¥Acronis¥Access¥FileStore

後から activEcho を試してみようと思う場合は、C: ドライブではなくデータ ドライブにある場所を選択することもできます。この場所もインストール後に変更できます。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リポジトリ サーバー エンドポイント アドレス 利用可能なすべてのアドレス マ ポート 5787 ファイル ストアのパ C:¥ProgramData¥Acronis¥Acce	サービス アカウント ・ ローカル システム アカウント ・ このアカウント パスワード パスワードの確認
 設定ログ	
自己署名証明書を作成しています ゲートウェイサーバーの設定値が正常にロードされました Access サーバーの設定をロードしています Access サーバーの設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリの設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリの設定値が正常にロードされました	
	OK キャンセル 適用

- 15. [OK] をクリックして設定ユーティリティを終了し、設定を適用します。
- 16. その後、Acronis Access Server ウェブ コンソールに初めてログインすることによって、この設 定作業を完了できます。表示される画面で [OK] をクリックしてウェブ ブラウザを起動すると、 設定が完了します。

Acronis Access 設定ユーティリティ	×
Acronis Access は正常に設定され、起動しています。[OK] をクリックし、ウェブ ブラウザを起動して、ウェブ インターフェイスを使用したサーバーの設定を継続する か、または [キャンセル] をクリックして設定ユーティリティを終了します。	
OK キャンセル	

Acronis Access で必要な初期設定:

- 1. 上記の手順を実行すると、Acronis Access Server のウェブ コンソールが自動的に表示され ます。各種サービスが始動してウェブ ページの初回のロードが完了するまでに、30 秒程度の 時間がかかることがあります。
- 2. ウェブ ページが自動的にロードされない場合は、ウェブ ブラウザを開いて、設定ユーティリティ で選択した Access Server の HTTPS アドレスとポートを指定してください。
 - a. たとえば、https://mobilecho.mycompany.com:3000 または https://localhost:3000 のように指定します。

注意: SMTP、全般設定、LDAP の各ページにある設定のほとんどは、常に mobilEcho のシステムから提示されます。

3. Acronis Access Server では、ローカル管理者アカウントを作成する必要があります。このローカル管理者アカウントのパスワードを入力して、確認のために再度入力してください。

Acronis Access	
Acronis Access へようこそ	
 管理者の初期パスワードを設定してください。 ▲ パスワードの確認入力 パスワードの設定 	
© 2002-2014 Acronis International GmbH All rights reserved. リパー・ジョン 6.0 0x155 [/	

- a. このローカル管理者アカウントのユーザー名は administrator です。
- b. このローカル管理者のパスワードを安全な場所に保管しておいてください。他の管理ユーザ ーを設定するまでは、管理者としてログインするためにそのパスワードが必要になります。
- c. サーバーを設定したら、サーバーの管理者としての役割を果たす追加の Active Directory ユーザー/グループを設定できるようになります。
- 4. この時点で、残りの設定プロセスを進めていくための設定ウィザードが表示されます。
- 5. ライセンス
- a) 新しいタイプのライセンスの入力を求めるメッセージが表示されるか、古い mobilEcho ライセンスの使用を続けることになります。
- 6. SMTP の設定

Acronis			🔺 administrator 👻				
Access	SMTP						
	Acronis Access サーバー	ま、構成された SMTP サーバーを使用して電子メールを送信し、ファイルの共有や	デバイスの登				
☞ 全般設定	\$\$K0)/200127-0-64914	したり、エーリーや音理者にリーハーアクティビディを通知したりします。					
SMTP	SMTP サーバー アドレス	smpt.example.com					
🗆 LDAP	SMTP サーバー ポート	587					
	セキュリティで保護された 接続を使用しますか?	×.					
	差出人名	mobilEcho Invitation					
	差出人電子メール アドレス	invtitation@example.com					
	SMTP 認証を使用します か?						
	保存 テスト用の電子	Zメールの送信 SMTP セットアップのスキップ					

- a. Access Server でアラートやクライアント登録招待の電子メールを送信するために使用する SMTP の設定を定義するための画面が表示されます。
- b. テスト用の電子メールを送信して設定内容を確認するためのオプションもあります。
- 7. LDAP の設定

Acronis	A administrator
Access	LDAP
	組織内のユーザーにモバイル アクセスを提供するためにディレクトリ サービスを使用することができます。管理対象のモバイル アクセスには LDAP が必要です。
SMTP	LDAP を有効にしますか? 🕢
LDAP	LDAP サーバー アドレス Idap.example.com
	LDAP サーバーボート 3268
	セキュリティで保護された LDAP 接続を使用します か?
	LDAP ユーザー名 example\user
	LDAP パスワード ・・・・・・・
	LDAP バスワードの確認入 力
	LDAP 検索ペース dc=example, dc=com
	LDAP 認証のためのドメイ example.com ン
	保存 LDAP のセットアップをスキップ

- a. Acronis Access Server では、ポリシーやデータ ソースの割り当て先にするユーザーやグ ループを Active Directory で検索するときに、LDAP 接続が必要になります。
- b. ネットワーク上にある Active Directory サーバーの LDAP 情報を入力してください。マル チドメイン ネットワークがある場合は、ポート 3268 または 3269 (SSL 接続の場合) のグ ローバル カタログ サーバーを指定する必要があります。各フィールドの詳細を説明したツ ールチップが表示されます。
- c. サーバーから LDAP への要求を実行するときに使用する LDAP のユーザー名とパスワ ードを設定しなければなりません。
- d. 入力した LDAP の設定値を保存するときに、その設定値がテストされます。
- 8. ローカル ゲートウェイ サーバー: クライアント接続アドレス

	🛓 administrator 🛩
mobilEcho	ローカル ゲートウェイ サーバー
☞ 製品の選択	ローカル ゲートウェイ サーバーは、アドレス 192.168.1.72:443 を介して管理されています。クライアント接続がゲートウェイ サーバーに接続するために使用す るアドレスは何ですか?例: mobilecho.example.com
☞ ライセンス	mobilecho.mycompany.com
☞ 全般設定	保存 スキップ
SMTP	
□ ローカル ゲートウェイ サー バー	

a. mobilEcho ゲートウェイ サーバーは、管理作業のために Acronis Access サーバー ウェブ コンソールに自動的に関連付けられます。デフォルトでは、IP アドレスに基づいてこの 接続が行われますが、後から変更することも可能です。

- b. この手順では、mobilEcho クライアントからこの mobilEcho サーバーに接続するための ネットワーク アドレスを入力する必要があります。通常は DNS アドレスであり、このサー バーの DNS アドレスを指定できますが、このサーバーにアクセスするためのプロキシ サ ーバーのアドレスも使用できます。
- 9. 初期設定はこれで完了です。
 - a. [設定の完了] をクリックして次に進みます。

mobilEcho ゲートウェイ サーバーの操作

ゲートウェイ サーバーは、この設定プロセスで自動的に登録され、[ゲートウェイ サーバー] リストに 表示されます。そのリストで、設定を変更したり、詳細情報や状況を表示したりすることができます。



登録が済んだ時点で、Acronis Access へのアップグレード前に mobilEcho ゲートウェイ サーバ ーに存在していたボリュームが [データ ソース] ページのフォルダ リストにインポートされています。

フォル	ダ				筹	新しいフォ	ルダを追加
		and the second se	The other disc from				
	(サーバーで特定のフォル	を多照する場合に、こ ダのロケーションを追	これらを表示するように 自加し、これらのフォル	- もほえて いさより。 ダをユーザーまたはグループに割り当てます。		C349	
、ユーリ・ ートウェイ タイプ ヘ	(サーバーで特定のフォル 表示名	ど参照する場合に、 ダのロケーションを追 ◇ サーバー	- れらを表示するようい 自加し、これらのフォル	-04.5元 (できょう。 ダをユーザーまたはグルーブに割り当てます。 パス	٥	同期	\$
、エーッ・ ートウェイ タイブ ^	メット・フェーット イサーバーで特定のフォル 表示名 test folder	を参照する場合に、 ダのロケーションを通 ↓ サーバー Local	- れらを表示するようい 自加し、これらのフォル	-vug定 できょす。 ダをユーザーまたはグルーブに割り当てます。 パス D:Westfolder	\$	同期 なし	¢ & *
-トウェイ タイプ ^ を の	メリーバーで特定のフォル 表示名 test folder Access	を受照する場合に、C ダのロケーションを追 ↓ サーバー Local Local	- (1つを表示するよう)。 自加し、これらのフォル	- PURCE C できょす。 ダをユーザーまたはグルーブに割り当てます。 バス D:Vtestfolder https://192.168.1.141:3000	\$	同期 なし なし	 Image: Second sec
	(サーバーで特定のフォル 表示名 test folder Access Thousand Files	ダのロケーションを通 ◆ サーバー Local Local Local	■15を表示するように 自加し、これらのフォル ○ 日 ○ ○ ○	-24版定できます。 ダをユーザーまたはグルーブに割り当てます。 バス D:Mestfolder https://192.168.1.141:3000 Nvegaltest files\10000 files	\$	同期 なし なし なし	 3 3 3 3 3 4 5 5

mobilEcho 5.0 には「ボリューム」がなくなりました。ボリュームを使用してデータ ソースを共有する 代わりに、フォルダを作成するようになりました。これらのフォルダには [サーバーの参照時に表示 する] というオプションのプロパティがあります。このオプションを有効にすると、ユーザーが mobilEcho アプリでゲートウェイ サーバーのルートを参照したときに、mobilEcho 4.5 以前でボリ ュームが表示されていたのとまったく同様に、フォルダが表示されます。

フォルダの編集		×
表示名: test folder		
このデータソースにアクセス権を付与するために使用するゲート	ウェイ サーバーを選択する:	
Local (192.168.1.141)	* •	
データのロケーション:ゲートウェイサーバー上 🔽		
この Acronis Access ゲートウェイ サーバー上で共有するロー ワイルドカード文字列 %USERNAME% をバスに含めることが 換えられます。	カル フォルダのバスを入力します(例: "E:\Shares\Documents\")。 できます。この場合、ワイルドカードはユーザーのユーザー名で置き	
パス: D:\testfolder		
同期: なし 🗸		
☑ サーバーの参照時に表示する		
🗌 Salesforce.com アクティビティのログ記録を必須にする 🌼		
ユーザーまたはグループにこのフォルダを割り当てる		
次に該当するユーザーまたはグループを検索 先頭の文字	検索	
このフォルダの割り当て先:		
共通名	識別名	
	保存 キャンセ	ν

mobilEcho 4.5 以前のサーバーにあったボリュームはすべて、[サーバーの参照時に表示する] プ ロパティが有効に設定されたフォルダとして Acronis Access コンソールにインポートされます。し たがって、ユーザーが mobilEcho ゲートウェイ サーバーのルートを参照するときには、これらのフ ォルダが引き続き表示されます。後から追加したフォルダについては、この設定を有効にすることに より、ボリュームと類似の方法で動作するように構成できます。先進的なクライアント管理機能を使 用し始めることもできます。例えば、割り当て先の Active Directory ユーザーまたはグループのリ スト用の mobilEcho クライアント アプリに自動で表示されるフォルダを追加する機能などです。 以下に示すとおり、ゲートウェイ サーバーの登録後、この mobilEcho 4.5 サーバーの 4 つの既 存のボリュームが [フォルダ] リストにインポートされ、mobilEcho アプリからサーバーを参照する ときに引き続き表示されます。

フォルタ	クライアントで表示さ	れるゲートウェイ	サーバー	レガシー	デー	-タソース 割り当て済みのソース		
フォル	ダ						新しいフォノ	レダを追力
10 20 11	2 2 1 2 2 7 1 C 3 2 1 C 3	POUL A MOV 2 0 FT -				STORONS TO STORE STORE TO STORE TO STORE	~~~~~	V 2 0 0 0 0 0
、ユーザ・ ートウェイ	ーがゲートウェイ サーバ・ イサーバーで特定のフォ)	ーを参照する場合 ルダのロケーション	に、これらな /を追加し、	を表示するよ これらのフ:	うにす	も設定できます。 ダをユーザーまたはグループに割り当てます。	C149	
、ユーザ・ ートウェイ タイプ ~	ーがゲートウェイ サーバ・ イサーバーで特定のフォノ 表示名	ーを参照する場合 ルダのロケーション ◇ サーバー	に、これられ ノを追加し、 ◇	を表示するよ これらのフ: 日	:うに ォルタ ◇	も設定できます。 ダをユーザーまたはグループに割り当てます。 パス ≎	同期	\$
、ユーザ・ ートウェイ タイプ ・	ーがゲートウェイ サーバ・ イサーバーで特定のフォ) 表示名 test folder	 −を参照する場合 ルダのロケーション ⇒ サーバー Local 	に、これられ ノを追加し、 ◇	を表示するよ これらのフ; 臼 ♥	:うに オルタ ◇	も設定できます。 ダをユーザーまたはグループに割り当てます。 バス ◇ D:testfolder	同期 なし	¢ Ø
、ユーザ・ ートウェイ タイプ ・ 〇	ーがゲートウェイ サーバー イサーバーで特定のフォノ 表示名 test folder Access	-を参照する場合 いダのロケーション ◆ サーバー Local Local	に、これられ /を追加し、 ◇	を表示するよ これらのフ; 日 ○	:うに オルタ ◇	も設定できます。 ダをユーザーまたはグループに割り当てます。 バス D:\testfolder https://192.168.1.141:3000	同期 なし なし	 Ø Ø Ø Ø
、ユーザ・ 「ートウェイ タイプ ^ を 全	ーがゲートウェイ サーバー イサーバーで特定のフォノ 表示名 test folder Access Thousand Files	 -を参照する場合I ルダのロケーション サーバー Local Local Local 	IC、これられ /を追加し、 ↓	を表示するよ これらのフ: 日 〇 〇	:うに ォルタ ◇	も設定できます。 ダをユーザーまたはグループに割り当てます。 バス ↓ D:Itestfolder https://192.168.1.141:3000 \\vegaitest files\10000 files	同期 なし なし なし なし	 Image: Solution of the second s

この時点で、クライアント ポリシーを作成して使用し、そのポリシーによってユーザーを管理するためにユーザーを正式にサーバーに登録する作業を開始できます。すべてのユーザーに適用される デフォルトのポリシーを有効にして設定することも、Active Directory のユーザーとグループに基づいてカスタム ポリシーを追加することも可能です。

ポリシーの設定が済んだ後に、[ユーザーの登録] ページから登録招待電子メールをユーザーに送 信すれば、ユーザーが管理対象ユーザーとして自分を登録できるようになります。

3.3.2.2 単一の mobilEcho サーバー(クライアント管理有効)のアップグレ ード

シナリオ 2 - 単一の mobilEcho サーバー(クライアント管理有効)のアップグレード



これは、1 つの Windows サーバーで mobilEcho 4.5 以前を実行する環境です。このサーバー では、必須の mobilEcho File Access Server サービスが稼動し、オプションの mobilEcho Client Management Server サービスも有効になっています。

Acronis Access にアップグレードすると、mobilEcho File Access Server が Acronis Access ゲ ートウェイ サーバーにアップグレードされます。このサービスは、引き続き mobilEcho クライアント

からの接続を受け入れ、ユーザーがアクセスするすべてのファイル サーバーや、NAS または SharePoint のデータ ソースへのゲートウェイの役割を果たします。

mobilEcho Client Management Administrator ウェブ コンソールは Acronis Access サーバー ウェブ コンソールにアップグレードされます。この新しいウェブ コンソールを使用すれば、1 つの共 通のなウェブ インターフェイスから mobilEcho のサーバーとクライアントを管理できます。

Acronis Access のアップグレードは次の手順で実行します。

- 1. 必要なファイルすべてをバックアップします。「mobilEcho 4.5 バックアップ」や「activEcho 2.7 バックアップ」のガイドに従ってください。
- 2. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 3. Acronis Access Server インストーラを mobilEcho サーバーにダウンロードし、インストーラを 実行します。
 - a. 最新版のインストーラを入手するには、http://support.grouplogic.com/?page_id=3598 に アクセスします。
 - b. 確認のため、インストーラをダウンロードする前に製品のプロダクト キーを入力する必要が あります。
 - c. インストーラ ファイルの名前は AcronisAccessSetup.exe です。
- 4. [ようこそ] 画面で [次へ] をクリックします。

Ac	cronis Access へようこそ
	Acronis Access
	Acronis Access セットアップ ユーティリティへようこそ
	このユーティリティは、Acronis Access をインストール、アップデート、または削除します。
	6.0.0x155 次ヘ > キャンセル

5. 使用許諾契約に同意します。

Acronis Access 使用許諾契約	
Acronis Acce	SS
ACRONIS	
ソフトウェア ライセンス契約書 ACRONIS ソフトウェア(「本ソフトウェア」)をご利用になる前に このソフトウェア ライセンス契約書(「本契約」または「EULA」) をよくお読みください。ACRONIS INTERNATIONAL GMBH (「ACRONIS」または「ライセンサ」)は、個人または法人の利用 者(「ライセンシ」または「利用者」)が本契約のすべての条件に	T
< 戻る この契約に同意します キャン	セル

6. **[アップグレード]** オプションをクリックすると、mobilEcho File Access Server サービスが自動 的に Acronis Access ゲートウェイ サーバーにアップグレードされます。アップグレード プロセ スでは、Acronis Access サーバーとそれに必要なサービスもインストールされます。

注意: [カスタム] を選択して Acronis Access ゲートウェイ サーバーだけをインストールすることは しないでください。Acronis Access サーバーは、mobilEcho Administrator Windows プログラムに 取って代わる新しいウェブ コンソールです。mobilEcho サーバーを管理するにはこのコンソールが 必要です。これをインストールしないと、mobilEcho の設定を変更したり、新規ファイル共有へのアク セス権を付与したりすることができません。

Acronis Access セットアップ オプション
Acronis Access
Acronis Access サーバー [アップグレード] をクリックすると、ソフトウェアが Acronis Access サーバーおよびそれに 関連するコンポーネントにアップグレードされます。 <i>注意: カスタム インストールは、特別な構成にのみ使用します。</i>
アンインストール カスタム アップグレード キャンセル

7. Acronis Access コンポーネントのインストール先となるインストール ロケーションを選択します。 既存の mobilEcho サーバーをアップグレードする場合、既存のインストール ロケーションが デフォルトのパスになります。デフォルトのインストール パスを変更しないことをお勧めします。

ターゲットパスの選択	
Acroni	s Access
Acronis Access Server	
C:\Program Files (x86)\Group Logic\Access Server\	参照
Acronis Access File Repository	
C:\Program Files (x86)\Group Logic\File Repository\	参照
Acronis Access Configuration Utility	
C:\Program Files (x86)\Group Logic\Configuration Utility\	参照
<戻る 次/	> キャンセル

8. Acronis Access サーバーでは設定を保存するために PostgreSQL データベースが使用され ます。このデータベースは必須であり、自動的にインストールされます。

注意:「postgres」管理アカウント用のスーパーユーザー パスワードを入力し、確認のために再度入力します。必ずこのパスワードを安全な場所に記録してください。

注意: PostgresSQL のインストール場所もポートも変更しないことをお勧めします。

PostgreSQLの構成		
Acronis Access		
PostgreSQL のインストール ロケーション: ベース パス: C:\PostgreSQL\9.2\ データ パス: C:\PostgreSQL\9.2\Data\		
PostgreSQL スーパーユーザー資格情報:(必要な場合は作成されます) PostgreSQL スーパーユーザー パスワード: *********		
パスワードを再入力してください: ********** PostgreSQL ポート: 5432		
< 戻る 次へ > キャンセル		

9. インストールおよびアップグレードするサービスを確認します。それから [インストール] をクリックして、アップグレードを開始します。

Acronis Access のインストールに関する警告	
Acronis Access	
セットアップにより、以下の製品がインストールまたはアップグレードされます。この処理によ り、Acronis Access が起動または停止され、このシステムのユーザーの作業が中断される 可能性があります。 Acronis Access Server v. 6.0.0.155 + Acronis Access Tomcat web server v. 7.0.42 + Java Runtime Environment v. 7.0.510 Acronis Access Gateway Server v. 4.5.2.103> v. 6.0.0.125 Acronis Access File Repository v. 6.0.0.155 Acronis Access Configuration Utility v. 6.0.0.155 PostgreSQL Database Server v. 9.2.4 < 戻る インストール キャンセル	

注意: 必要なすべてのコンポーネントが順に自動的にインストールされます。これにはサーバーに応じて 5~15 分かかります。将来のアップグレードのインストールはより高速になります。

Acronis Access コンボーネントのインストール	
Acronis Access	
Acronis Access Server をインストールしています…	
製品のインストールが完了するのを待っています。この処理には数分間かかる場合があり ます	
I	

10. インストールが完了すると、インストールされたコンポーネントの要約が表示されます。 続行する には、 [終了] をクリックします。

\cr	onis Access のセットアップが完了しました Acronis Access
	ACIONIS ALLESS
	以下の 7 製品がインストールまたはアップグレードされました: Acronis Access Server version 6.0.0.155 + Acronis Access Tomcat web server v. 7.0.42 + Java Runtime Environment v. 7.0.510 64-bit Acronis Access Gateway Server version 6.0.0.125 Acronis Access File Repository version 6.0.0.155 Acronis Access Configuration Utility version 6.0.0.155 PostgreSQL Database Server 64-bit 9.2.4
	ログの表示 終了

11. 必要なすべてのソフトウェアはアップグレード処理のこの時点ですべてインストール済みですが、 次に、使用するネットワーク インターフェイス、ポート、および証明書を設定する必要があります。

重要: この設定ステップに進まないと、mobilEcho サーバーは機能しません。このステップは必須です。

インストーラを終了すると、Acronis Access 設定ユーティリティを実行するよう促すプロンプトが表示されます。続行するには、[OK] をクリックしてください。

Acronis Access セットアップ ユーティリティ	×
インストールが完了しました。ご利用になるには設定が必要になります。 [OK] をクリックして Acronis Access 設定ユーティリティを実行します。	
ОК	

誤ってこのステップを飛ばしてしまった場合、あるいは後でネットワーク インターフェイス、ポート、または 証明書を変更しなければならなくなった場合は、設定ユーティリティをいつでも手動で実行できます。

アップグレード済みの mobilEcho サーバーにおいて、ユーティリティのデフォルト位置は以下のとお りです。

C:\Program Files (x86)\Group Logic\Configuration Utility\AcronisAccessConfiguration.exe

12. Acronis Access ゲートウェイ サーバーのネットワーク アドレス、ポート、および証明書を設定 するには、設定ユーティリティ内で [ゲートウェイ サーバー] タブを使用します。Acronis Access ゲートウェイ サーバーは mobilEcho クライアントの接続先となる主要な mobilEcho サービスであり、ファイル サーバー、NAS、および SharePoint サーバーへのアクセス権はこ こから付与されます。Acronis Access より前、このサービスは mobilEcho File Access Server という名前でした。 注意: 既存の設定は保持されます。これらの設定が mobilEcho File Access Server の既存の設定と一致することを確認してください。通常、このサービスはすべての有効なネットワーク アドレスの ポート 443 で実行されます。既存の SSL サーバー ID 証明書があれば、その証明書が自動的に 選択されます。既存の SSL サーバー ID 証明書がない場合は、自己署名証明書が生成されます。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリボジトリ サーバー エンドボイント サービス アカウント アドレス 利用可能なすべてのアドレス ・ ボート 443 ・ 証明書 Acronis Access ・ Access サーバーに対するプロキシ要求 ・ ・ ボート 80 での接続を許可します ・ ・	<u></u>
自己署名証明書を作成しています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	•
ヘルプ OK キャンセル	適用

13. [Access Server] タブを使用して、Acronis Access サーバーのネットワーク アドレス、ポート、 証明書を設定します。Acronis Access サーバーは、mobilEcho Client Management Server ウェブ コンソールの後継になるウェブ コンソールです。 注意: mobilEcho Client Management Server の既存の設定と同じ設定になっていることを確認し てください。通常、このウェブ コンソールはすべての有効なネットワーク アドレスのポート 3000 で 実行されます。既存の SSL サーバー ID 証明書があれば、その証明書が自動的に選択されます。 既存の SSL サーバー ID 証明書がない場合は、自己署名証明書が生成されます。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイサーバー Access サーバー ファイルリボジトリ サーバーエンドボイント アドレス 利用可能なすべてのアドレス ▼ ボート 3000 証明書 Acronis Access … 「 ボート 80 での接続を許可します	サービス アカウント © ローカル システム アカウント
設定ログ ストア (80092004) に証明書がみつかりませんでした。新しい自 ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています	己署名証明書を作成しています。 ▲
Access リーバー の設定値が正常にロートされました ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	■ OK キャンセル 適用

14. Acronis Access Server では、ファイル リポジトリの場所を選択しなければなりません。 mobilEcho だけを使用する場合、このファイル リポジトリに何かを格納することはありません が、それでも場所の設定は必要です。

このリポジトリは、Acronis の activEcho のファイル同期機能とファイル共有機能で使用します。これらの機能がまだインストールされていないサーバーをアップグレードした場合、これらの機能は有効になりませんが、必要に応じて後から有効にすることができます。

ファイルリポジトリのデフォルトの場所は、以下のとおりです。

C:¥ProgramData¥Acronis¥Access¥FileStore

後から activEcho を試してみようと思う場合は、C: ドライブではなくデータ ドライブにある場所を選択することもできます。この場所もインストール後に変更できます。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	X
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリポジトリ サーバー エンドポイント アドレス 利用可能なすべてのアドレス ▼ ポート 5787 ファイル ストアのパ C:¥ProgramData¥Acronis¥Acce	サービス アカウント ・ ローカル システム アカウント ・ このアカウント パスワード パスワードの確認
設定ログ 自己署名証明書を作成しています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	

- 15. [OK] をクリックして設定ユーティリティを終了し、設定を適用します。
- 16. その後、Acronis Access Server ウェブ コンソールに初めてログインすることによって、この設 定作業を完了できます。表示される画面で [OK] をクリックしてウェブ ブラウザを起動すると、 設定が完了します。

Acronis Access 設定ユーティリティ	×
Acronis Access は正常に設定され、起動しています。[OK] をクリックし、ウェブ ブラウザを起動して、ウェブ インターフェイスを使用したサーバーの設定を継続する か、または [キャンセル] をクリックして設定ユーティリティを終了します。	
OK キャンセル	

Acronis Access で必要な初期設定:

- 1. 上記の手順を実行すると、Acronis Access Server のウェブ コンソールが自動的に表示され ます。各種サービスが始動してウェブ ページの初回のロードが完了するまでに、30 秒程度の 時間がかかることがあります。
- 2. ウェブ ページが自動的にロードされない場合は、ウェブ ブラウザを開いて、設定ユーティリティ で選択した Access Server の HTTPS アドレスとポートを指定してください。
 - a. たとえば、https://mobilecho.mycompany.com:3000 または https://localhost:3000 のように指定します。

注意: SMTP、全般設定、LDAP の各ページにある設定のほとんどは、常に mobilEcho のシステムから提示されます。

3. Acronis Access Server では、ローカル管理者アカウントを作成する必要があります。このローカル管理者アカウントのパスワードを入力して、確認のために再度入力してください。

Acronis Access	
Acronis Access へようこそ	
管理者の初期バスワードを設定してください。	
● パスワードの確認入力	
パスワードの設定	
© 2002-2014 Acronis International GmbH.All rights reserved. パージョン 6.	.0.0x155 へルプ

- a. このローカル管理者アカウントのユーザー名は administrator です。
- b. このローカル管理者のパスワードを安全な場所に保管しておいてください。他の管理ユーザ ーを設定するまでは、管理者としてログインするためにそのパスワードが必要になります。
- c. サーバーを設定したら、サーバーの管理者としての役割を果たす追加の Active Directory ユーザー/グループを設定できるようになります。
- 4. この時点で、残りの設定プロセスを進めていくための設定ウィザードが表示されます。
- 5. ライセンス
- a) 新しいタイプのライセンスの入力を求めるメッセージが表示されるか、古い mobilEcho ライセン スの使用を続けることになります。
- 6. SMTP の設定

Acronis	🔺 administrator 🕶							
Access	SMTP							
	Acronis Access サーバーは、構成された SMTP サーバーを使用して電子メールを送信し、ファイルの共有やデバイスの登録のためにユーザーを招待したり、ユーザーや管理者にサーバー アクティビティを通知したりします。							
☞ 全般設定								
SMTP	SMTP サーバー アドレス smpt.example.com							
🗆 LDAP	SMTP サーバーボート 587							
	セキュリティで保護された ・ 「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・							
	差出人名 mobilEcho Invitation							
	差出人電子メール アドレス invtitation@example.com							
	SMTP 認証を使用します D ¹ ?							
	保存 テスト用の電子メールの送信 SMTP セットアップのスキップ							

- a. Access Server でアラートやクライアント登録招待の電子メールを送信するために使用する SMTP の設定を定義するための画面が表示されます。
- b. テスト用の電子メールを送信して設定内容を確認するためのオプションもあります。
- 7. LDAP の設定

Acronis	🔺 administrator 🕶						
Access	LDAP						
図 ライセンス 図 会報設定	組織内のユーザーにモバイル アクセスを提供するためにディレクトリ サービスを使用することができます。管理対象のモバ イル アクセスには LDAP が必要です。						
	LDAP を有効にしますか?						
	LDAP サーバー アドレス Idap.example.com						
	LDAP サーバーボート 3268						
	セキュリティで保護された 🗌 LDAP 接続を使用します か?						
	LDAP ユーザー名 example\user						
	LDAP バスワード •••••••						
	LDAP バスワードの確認入 カ						
	LDAP 検索ペース dc=example, dc=com						
	LDAP 認証のためのドメイ example.com ン						
	保存 LDAP のセットアップをスキップ						

a. Acronis Access Server では、ポリシーやデータ ソースの割り当て先にするユーザーやグ ループを Active Directory で検索するときに、LDAP 接続が必要になります。

- b. ネットワーク上にある Active Directory サーバーの LDAP 情報を入力してください。マル チドメイン ネットワークがある場合は、ポート 3268 または 3269 (SSL 接続の場合) のグ ローバル カタログ サーバーを指定する必要があります。各フィールドの詳細を説明したツ ールチップが表示されます。
- c. サーバーから LDAP への要求を実行するときに使用する LDAP のユーザー名とパスワ ードを設定しなければなりません。
- d. 入力した LDAP の設定値を保存するときに、その設定値がテストされます。
- 8. 初期設定はこれで完了です。
 - a. [設定の完了] をクリックして次に進みます。

mobilEcho ゲートウェイ サーバーの登録

mobilEcho クライアント管理サービスが設定されていた既存の mobilEcho 4.5 以前のサーバー をアップグレードすると、[サーバーとフォルダ] ページで設定されていたすべてのサーバーが Acronis Access ゲートウェイ サーバーのリストにインポートされます。

これらのゲートウェイ サーバーは、初期状態ではレガシー ゲートウェイ サーバーとしてインポート されます。これはつまり、Acronis Access ウェブ コンソールで管理するための登録がまだなされて いないサーバーという意味です。Acronis Access へのアップグレード後にこれらのゲートウェイ サ ーバーを管理するには、この登録作業が必要になります。

これらのサーバーを管理対象として登録するには、まずこれらのサーバーを Acronis Access にア ップグレードしなければなりません。アップグレードするまでは、Windows プログラムの mobilEcho Administrator を使用してこれらのサーバーを引き続き管理できます。

以下の例では、mobilEcho 4.5 の [サーバーとフォルダ] ページにあった 2 つのサーバーが [ゲ ートウェイ サーバー] ページに表示されています。



Acronis	_						🐣 administr	ator -
Access	ゲートウュ	イサーバー			◆ゲートウェイ サー	バーの追加 + クラスタ	グループの	追加
	タイナ 🌣	名前 ≎	7FLA 0	バージョン ◇	ステータス 🌣	アクティブ セッション 🗘		
	8	Local	192.168.1.141		レガシー	0	●詳細	-
	8	Main Server	rrt.glilabs.com		レガシー	0	0詳細	•
ゲートウェイ サーバー								
○ 同期および共有								
監査ログ								
0、全般設定								

mobilEcho 4.5 Client Management Administrator で設定されていたすべての既存のフォルダは、 まず [データ ソース] ページの [レガシー データ ソース] タブに移されます。関連するゲートウェ イ サーバーを Acronis Access にアップグレードするまでは、引き続きこのページでフォルダの追 加や変更の操作を実行できます。ゲートウェイ サーバーを Acronis Access にアップグレードし、 この Acronis Access サーバーで管理されるように登録すると、そのゲートウェイ サーバーに関連 付けられたフォルダが、[データ ソース] ページのメインの [フォルダ] タブに移動します。

注意: どの mobilEcho Gateway Server も、1 つの Acronis Access コンソールだけで管理できます(複数 のコンソールから管理することはできません)。mobilEcho Client Management Server (現在の名称: Acronis Access サーバー) が複数ある場合は、Acronis Access Server ごとに固有のゲートウェイ サーバ ーを実装する必要があります。

Acronis						📥 adm	inistrator -
Access	フォルダ	クライアントで表示されるゲートウェイ	サーバー レガシー データ:	ソース 割り当て済みのソース			
	レガシ	ーデータソース			新しい	レガシー フォル	ダの追加
	Acronis Ac	cess へのマップグレード性前に mobilEct	ho クライマンル登録サーバーで	協定された群在の「フォルダ」の一部が	[レガシー フォリ	しないオイン	ポートされ
	ました。以下	ドに示すレガシー フォルダは、まだ Acron	is Access にアップグレードされ	ていない、あるいは Acronis Access IC	アップグレードさ	わたものの、こ	D Acronis
	Access サー アップグレー	ーバーから管理するように登録されていな -ドし、 ゲートウェイ サー バー ページで登録	いゲートウェイ サーバーのロケ・ まを行えば、そのレガシー フォル	ーションをボイントしています。これらのケ レダは標準の フォルダ リストにインボート	「ートウェイ サー. されます。	バーを Acroni	s Access IC
	こわらのから	ートウェイ サーバーにあるフォルダを Acr	nis Access レフップグレードす	る前に追加または編集する必要がある#	合け このべー	277案行で考:	FT.
	2113137	1217 / 100/00/07/07/07/07/07	,	anti-average crossing a weather of ant	1010(00)	2 (20) (0)	.,,,
データソース・	917 -	表示名 ◇	サーバー ・	パス	0	同期	٥
	-	Access	Local	VEGA AE	-	なし	12 ×
	-	Management	Main Server	sp2010\Management		なし	©×
	6	Management Presentations	Main Server Main Server	sp2010/Management localfiles/Presentations		なし なし	© ×
	8	Management Presentations Reports	Main Server Main Server Main Server	sp2010\Management localfiles\Presentations localfiles\Reports		なし なし なし	©× ©×
⁸¹² - 同期および共有 - 監査ログ		Management Presentations Reports SharePoint	Main Server Main Server Main Server Local	sp2010/Management localfiles/Presentations localfiles/Reports sp		なし なし なし なし	8 x 8 x 8 x
※22 : 同期および共有 監査ログ : 全般設定		Management Presentations Reports SharePoint SharePoint 2010	Main Server Main Server Local Main Server	sp20101Management localfiles\Presentations localfiles\Reports sp sp2010		なし なし なし なし なし	8 x 8 x 8 x 8 x
822 : 同期および共有 : 監査ログ : 全般設定		Management Presentations Reports SharePoint SharePoint 2010 SharePoint 2013	Main Server Main Server Main Server Local Main Server Main Server	sp2010/Management locatilles/Presentations locatilles/Reports Sp sp2010 sp2013		なし なし なし なし なし なし	
8月 - 同時および共有 - 監査ログ - 全般設定		Management Presentations Reports SharePoint SharePoint 2010 SharePoint 2013 Team Docs	Main Server Main Server Local Main Server Main Server Main Server	sp2010/Management localfiles/Presentations localfiles/Preports sp p2010 sp2010 sp2013 localfiles/Team Docs		なし なし なし なし なし なし なし	G × G × G × G × G × G × G ×
1822 同期および共有 監査ログ 全般設定		Management Presentations Reports SharePoint SharePoint 2010 SharePoint 2013 Team Docs test folder	Main Server Main Server Main Server Local Main Server Main Server Local	sp2010/Management localfiles/Presentations localfiles/Reports sp sp2010 sp2010 localfiles/Team Docs test		なし なし なし なし なし なし なし なし	8 × 8 ×

このシナリオでは、1 つの Windows サーバーで Acronis Access コンソールとゲートウェイ サ ーバーを実行するので、[ゲートウェイ サーバー] ページに表示されるサーバーは 1 つだけになり ます。このサーバーを管理するには、登録が必要です。

1. Acronis Access Server でそのゲートウェイ サーバーのメニュー ボタンをクリックして、[登録] を選択します。

a	Local	192.168.1.141	レガシー	0	●詳細 -
					☞ アドレスの編集
					⊘登録
					≍削除

 2. 登録対象のサーバーの既存のネットワーク アドレスでそのサーバーに直接アクセスできるかどうかを確認するための画面が表示されます。通常、既存のアドレスは、モバイル デバイスのユ ーザーがゲートウェイ サーバーにアクセスするために使用するネットワーク アドレスになっているので、プロキシ サーバーや負荷分散装置のアドレスになっている可能性があります。

注意: その場合は、このダイアログで **[いいえ]** を選択し、Acronis Access サーバーからこのゲート ウェイ サーバーへの直接的なネットワーク アクセスをするための代替ネットワーク アドレスを入力 する必要があります。

サーバー 'Local' の登録	ж
このゲートウェイ サーバーのクライアント向ナアドレスは 192.168.1.141 です。このサー バーは Acronis Access ウェブ コンソールから管理されます。192.168.1.141 が、負荷: 散装置またはリバース ブロキシ サーバーをポイントしている場合、代替管理アドレスを 定する必要がある場合があります。192.168.1.141 は、この個別のゲートウェイ サーバ に直接アクセスするために使用できるアドレスですか?	- 分 受
QUUNZ OIN	.x

3. その後、登録ダイアログが表示されます。

サーバー 'Demo Share' の登録	:
名前: Demo Share	
管理とクライアント接続のアドレス: https:// sda.glilabs.com:4430	
 クライアント接続に代替アドレスを使用 管理キー: 	
MCGE-KAW4-NR92	
Save キャンセル)

注意: ゲートウェイ サーバーで自己署名 SSL 証明書を使用する場合は、[自己署名した証明書を 使用した Acronis Access サーバーからの接続を許可] を有効にする必要があります。

注意: このリモート サーバーとの組み合わせを有効にするために、管理キーを入力することも必要です。この目的は、管理作業のための関係を検証し、セキュリティを確保することです。

 ゲートウェイ サーバーから管理キーを取得するには、ウェブ ブラウザの新しいウィンド ウまたはタブを開いて、ゲートウェイ サーバーの HTTPS アドレスを指定します。[管理 とクライアント接続のアドレス]フィールドに表示されるアドレスと同じアドレスを入 カしてください。

Acronis Access	管理
	この Acronis Access Gateway Serverを設定するには、Acronis Access Management Server に登録する必要があります。登録するには、Management Server の [ゲートウェイ サーバー] セクションにアクセスし、次のキーを使用して新しいゲートウェイ サーバーを登録します。
	CH3H-M6V9-MNAZ

注意: セキュリティ上の理由から、この操作は、ゲートウェイ サーバーが実際に稼動している Windows サーバーのウェブ ブラウザから実行する必要があります。リモート ウェブ ブラウザから 管理キーを表示することはできません。

5. 12 桁の管理キー(ダッシュを含む)を登録フォームに入力して、[保存] をクリックします。

注意: サーバーを登録すると、[ゲートウェイ サーバー] リストに登録済みのサーバーとして表示され、 そのサーバーの設定を変更したり、詳細情報や状況を表示したりすることが可能になります。

ートウェ	イサーバー		+ゲートウェイサー	+ クラスタ グル-	一ブの追加		
タイプ 🌣	名前 🔻	アドレス ◇	バージョン ◇	ステータス 🌣	アクティブ セッ	ション 🌣	
8	Main Server	rrt.glilabs.com		レガシー	0	0 i	羊細 👻
	Local	192.168.1.141		٢	0	0	羊細 👻
						 ● 詳細 ☞ 編集 ● アクセス制 × 削除 	限

登録が済むと、Acronis Access へのアップグレード前に mobilEcho ゲートウェイ サーバーに存 在していたボリュームが [データ ソース] ページのフォルダ リストにインポートされます。

Acronis	🛓 administrator 🕶									
Access	フォルダ	クライアントで表示されるゲ	ートウェイ サーバー	レガシー データン	ハース 割り当て済みのソース					
⇒ モバイル アクセス	フォル	ダ					新しいフォル	レダを追加		
デバイス	フォルダは、	Acronis Access がアクセス権	を付与するファイル コン	テンツの場所を定	義します。フォルダはユーザーおよびグループに割り当てる	もことができる	ので、モバー	イル クライ		
ユーザーの登録	アント アブ イ サーバー	リに自動的に表示されます。各コ -を参照する場合に、これらを表:	2ーザーは、ユーザー アナ 示するようにも設定できま	カウントおよびメン にす。	バであるグループに割り当てられた一連のリソースを受け	取ります。また	ミ、ユーザー	がゲートウェ		
ボリシー	ゲートウェイ	サーバーで特定のフォルダのロ	コケーションを追加し、こ	れらのフォルダをコ	ユーザーまたはグループに割り当てます。					
ゲートウェイ サーバー	タイプ ム	表示名 🗘	サーバー ◇	⊜ ≎	パス	٥	同期	\$		
データソース	•	test folder	Local	۲	D:\testfolder		ねし	₿×		
10 - 0	0	Access	Local	۲	https://192.168.1.141:3000		なし	₿×		
BRAE	±.	Thousand Files	Local	۲	\\vega\test files\10000 files		なし	₿×		
⊘ 同期および共有	쓭	SharePoint	Local	۲	http://sharepoint2010.glilabs.com:2229		なし	(3 ×		
◎ 監査ログ										
0% 全般設定										

mobilEcho 5.0 には「ボリューム」がなくなりました。ボリュームを使用してデータ ソースを共有する 代わりに、フォルダを作成するようになりました。これらのフォルダには [サーバーの参照時に表示 する] というオプションのプロパティがあります。このオプションを有効にすると、ユーザーが mobilEcho アプリでゲートウェイ サーバーのルートを参照したときに、mobilEcho 4.5 以前でボリ ュームが表示されていたのとまったく同様に、フォルダが表示されます。

フォルダの編集		×
表示名: test folder		
このデータソースにアクセス権を付与するために使用するゲート	ウェイ サーバーを選択する:	
Local (192.168.1.141)	* •	
データのロケーション:ゲートウェイサーバー上 🔽		
この Acronis Access ゲートウェイ サーバー上で共有するロー ワイルドカード文字列 %USERNAME% をバスに含めることが 換えられます。	カル フォルダのバスを入力します(例: "E:\Shares\Documents\")。 できます。この場合、ワイルドカードはユーザーのユーザー名で置き	
パス: D:\testfolder		
同期: なし 🗸		
☑ サーバーの参照時に表示する		
🗌 Salesforce.com アクティビティのログ記録を必須にする 🌼		
ユーザーまたはグループにこのフォルダを割り当てる		
次に該当するユーザーまたはグループを検索 先頭の文字	検索	
このフォルダの割り当て先:		
共通名	識別名	
	保存 キャンセ	ν

mobilEcho 4.5 以前のサーバーにあったボリュームはすべて、[サーバーの参照時に表示する] プ ロパティが有効に設定されたフォルダとして Acronis Access コンソールにインポートされます。し たがって、ユーザーが mobilEcho ゲートウェイ サーバーのルートを参照するときには、これらのフ ォルダが引き続き表示されます。後から追加したフォルダについては、この設定を有効にすることに より、ボリュームと類似の方法で動作するように構成できます。先進的なクライアント管理機能を使 用し始めることもできます。例えば、割り当て先の Active Directory ユーザーまたはグループのリ スト用の mobilEcho クライアント アプリに自動で表示されるフォルダを追加する機能などです。

以下に示すとおり、ゲートウェイ サーバーの登録後、この mobilEcho 4.5 サーバーの 4 つの既 存のボリュームが [フォルダ] リストにインポートされ、mobilEcho アプリからサーバーを参照する ときに引き続き表示されます。

フォルダ	クライアントで	表示される	ゲートウェイ ち	ナーバー	レガシ	ーデー	-タソース 割り当て済み	のソース				
フォル	ダ									新しいフォ	+ルダ:	を追加
フォルダは、 イル クライン た、ユーザー ゲートウェイ タイナ ヘ	Acronis Access アント アブリに自動 -がゲートウェイ サ サーバーで特定の 表示名	がアクセス 肺的に表示。 トーバーを書 のフォルダ(権を付与する されます。各ユ シ照する場合1 Dロケーション サーバー	ファイル ニ ーザーは、 こ、これらを を追加し、	レテンツ(ユーザー 表示する これらの	D場所 - アカ ように フォル	を定義します。フォルダはユ・ ウントおよびメンバであるグル も設定できます。 ダをユーザーまたはグループ パス	ーザーおよびグループに書け当 ッープに割り当てられた一連の に割り当てます。	17る リン-	ことができ -スを受け 同期	きるの h取りま	で、モバ ます。ま
5	test folder		Local		0		D:\testfolder			なし		X

517 -	我不省 ジ	9-11- 0	H	<i>₩ Υ</i>	回例 0	
-	test folder	Local	۲	D:\testfolder	なし	8 ×
0	Access	Local	٢	https://192.168.1.141:3000	なし	⊗ ×
<u>*</u>	Thousand Files	Local	۲	\\vega\test files\10000 files	なし	⊠ ×
쓥	SharePoint	Local	۲	http://sharepoint2010.glilabs.com:2229	なし	8 × 8

iPad 후 IVIN	17:50	81% 💷
ホーム	Local	
現在のデバイス上	Access	>
── ファイル受信ボックス	SharePoint	>
🚆 マイ ファイル	test folder	>
お気に入り	Thousand Files	>
!!! ブックマークされたフォルダ >		
ネットワーク フォルダ / サーバー		
Home Folder		
Local		
□ + 贷	🖹 4 個のファイル共有	EE

3.3.2.3 複数の mobilEcho サーバー(クライアント管理あり)のアップグレ ード



シナリオ 3: 複数の mobilEcho サーバー(クライアント管理あり)のアップグレード

これは、複数の Windows サーバーで mobilEcho 4.5 以前を実行する環境です。1 つのサーバ ーで、必須の mobilEcho File Access Server サービスが稼動し、オプションの mobilEcho クライ アント管理サーバー サービスが有効になっています。その他のサーバーでは、mobilEcho File Access Server だけを実行します。

Acronis Access にアップグレードすると、mobilEcho File Access Server が Acronis Access ゲ ートウェイ サーバーにアップグレードされます。このサービスは、引き続き mobilEcho クライアント からの接続を受け入れ、ユーザーがアクセスするすべてのファイル サーバーや、NAS または SharePoint のデータ ソースへのゲートウェイの役割を果たします。

mobilEcho クライアント管理サーバーを実行するサーバーの mobilEcho Client Management Administrator ウェブ コンソールは、Acronis Access サーバー ウェブ コンソールにアップグレー ドされます。アップグレード後は、mobilEcho File Access Server を管理するために、それぞれの サーバーで Windows プログラム mobilEcho Administrator を使用することはありません。この 新しいウェブ コンソールを使用すれば、1 つの統一的なウェブ インターフェイスから mobilEcho のすべてのサーバーとクライアントを管理できます。

Acronis Access のアップグレードは次の手順で実行します。

mobilEcho Client Management Server を実行する Windows サーバーで、以下の手順を実行します。

 シナリオ 2 の手順を実行して、mobilEcho Client Management Server を実行する Windows サーバーをアップグレードします。これは、mobilEcho Client Management Administrator ウェブ コンソールにログインするときの接続先になっていたサーバーです。

- このアップグレードが完了すると、機能の豊富な Acronis Access サーバー ウェブ コンソー ルを使用できるようになり、その Windows サーバーにある mobilEcho File Access Server (現在の名称 Acronis Access ゲートウェイ サーバー)が管理対象として登録されます。さらに、 [Acronis Access Gateway Server] ページでは、その他のサーバーがレガシー サーバーとし て表示されます。以下の例では、アップグレード済みのサーバー「BGU2008」が登録済みにな っている一方で、まだアップグレードしていないサーバー「Department Server」は未登録になっ ています。
- 3. 次に、mobilEcho File Access Server だけを実行する他のサーバーをそれぞれアップグレード します。以下の手順を実行してください。

mobilEcho File Access Server だけを実行するそれぞれの Windows サーバーで、以下の手順を実行します。

- 1. 必要なファイルすべてをバックアップします。「mobilEcho 4.5 バックアップ」や「activEcho 2.7 バックアップ」のガイドに従ってください。
- 2. 対象のサーバーで Acronis Access インストーラを実行します。
- 3. [ようこそ] 画面で [次へ] をクリックします。

Ac	Acronis Access へようこそ			
	Acronis Access			
	Acronis Access セットアップ ユーティリティへようこそ			
	このユーティリティは、Acronis Access をインストール、アップデート、または削除します。			
	6.0.0x155 次へ > キャンセル			

4. 使用許諾契約を読み、承諾します。

Acronis Access 使用許諾契約	
Acronis Acce	ess
ACRONIS	
ソフトウェア ライセンス契約書	
ACRONIS ソフトウェア(「本ソフトウェア」)をご利用になる前に このソフトウェア ライセンス契約書(「本契約」または「EULA」) をよくお読みください。ACRONIS INTERNATIONAL GMBH (「ACRONIS」または「ライセンサ」)は、個人または法人の利用	
者(「ライセンシ」または「利用者」)が本契約のすべての条件に	
この契約に同意します キャン	

5. **[カスタム]** をクリックします。

Acronis Access セットアップ オブション				
Acronis Access				
Acronis Access サーバー 「アップグレード] をクリックすると、ソフトウェアが Acronis Access サーバーおよびそれに 関連するコンポーネントにアップグレードされます。 <i>注意: カスタム インストールは、特別な構成にのみ使用します。</i>				
アンインストール カスタム アップグレード キャンセル				

6. [Acronis Access ゲートウェイ サーバー] コンポーネントのみを選択して、[次へ] をクリック します。

Acronis Access セットアップ コンボーネント					
ŀ	Acronis Access				
- インストールするコンポーネント: 複数の Acronis Access サーバーまたはその他の非標準構成を配置するときは通常、 個々のコンポーネントをインストールします。					
Acronis Access Server	6.0.0.155				
Acronis Access Gateway Server	v. 4.5.2.103> 6.0.0.125				
Acronis Access File Repository	6.0.0.155				
PostgreSQL Database Server	9.2.4				
<u>. <</u>	える 次へ > キャンセル				

- 7. 残りのインストール手順と設定ユーティリティの手順は、既に取り上げた内容と同じですが、ここでは設定ユーティリティで Access Server とファイル リポジトリを設定する必要はありません。
- 8. Acronis Access サーバー コンソールはインストールされていないので、設定ユーティリティの プロセスが完了したら、ウェブ コンソールに関する追加の設定は必要ありません。
- 9. フル インストールを実行した最初のサーバーの Acronis Access サーバー コンソールに戻っ てください。[ゲートウェイ サーバー] ページを開き、Acronis Access にアップグレードした追加 のゲートウェイ サーバーのメニュー ボタンをクリックして、[登録] を選択します。
- 10. 登録対象のサーバーの既存のネットワーク アドレスでそのサーバーに直接アクセスできるかど うかを確認するための画面が表示されます。通常、既存のアドレスは、モバイル デバイスのユ ーザーがゲートウェイ サーバーにアクセスするために使用するネットワーク アドレスになって いるので、プロキシ サーバーや負荷分散装置のアドレスになっている可能性があります。

注意: その場合は、このダイアログで [いいえ] を選択し、Acronis Access サーバーからこのゲート ウェイ サーバーへの直接的なネットワーク アクセスを取得するための代替ネットワーク アドレスを 入力する必要があります。

サーバー 'Local' の登録	×
このゲートウェイ サーバーのクライアント向ナアドレスは 192.168.1.141 です。このサー バーは Acronis Access ウェブ コンソールから管理されます。192.168.1.141 が、負荷 散装置またはリバース ブロキシ サーバーをポイントしている場合、代替管理アドレスを 定する必要がある場合があります。192.168.1.141 は、この個別のゲートウェイ サーバ に直接アクセスするために使用できるアドレスですか?	- 分 设 一
ゆ いいえ 必 は	()

11. その後、登録ダイアログが表示されます。
| サーバー 'Demo Share' の登録 | × |
|--|---|
| 名前: | |
| Demo Share | |
| 管理とクライアント接続のアドレス: | |
| https:// sda.glilabs.com:4430 | |
| □ クライアント接続に代替アドレスを使用 | |
| MCGE-KAW4-NR92 | |
| ☑ 自己署名証明書を使用した Acronis Access サーバーからの接続を許可 | |
| | |
| Save キャンセル | , |

注意: ゲートウェイ サーバーで自己署名 SSL 証明書を使用する場合は、[自己署名証明書を使用 した Acronis Access サーバーからの接続を許可] を有効にする必要があります。

注意: このリモート サーバーとの組み合わせを有効にするために、管理キーを入力することも必要 です。この目的は、管理作業のための関係を検証し、セキュリティを確保することです。

12. このゲートウェイ サーバーから管理キーを取得するには、登録する実際の Windows サーバー でウェブ ブラウザの新しいウィンドウまたはタブを開いて、ゲートウェイ サーバーの HTTPS ア ドレスを指定します。[管理とクライアント接続のアドレス] フィールドに表示されるアドレスと同じ アドレスを入力してください。

注意: セキュリティ上の理由から、この操作は、ゲートウェイ サーバーが実際に稼動している Windows サーバーのウェブ ブラウザから実行する必要があります。リモート ウェブ ブラウザから 管理キーを表示することはできません。

13.12桁の管理キー(ダッシュを含む)を登録フォームに入力して、[保存]をクリックします。

注意: サーバーを登録すると、[ゲートウェイ サーバー] リストに登録済みのサーバーとして表示され、 そのサーバーの設定を変更したり、詳細情報や状況を表示したりすることが可能になります。

注意: 登録が済むと、Acronis Access へのアップグレード前にこの mobilEcho ゲートウェイ サー バーに存在していたボリュームが [データ ソース] ページのフォルダ リストにインポートされます。 その後の動作は、前のアップグレード シナリオで取り上げた内容のとおりです。

Acronis Access	onis _{管理}			
	この Acronis Access Gateway Serverを設定するには、Acronis Access Management Server に登録する必要があります。登録するには、Management Serverの [ゲートウェイ サーバー] セクションにアクセスし、次のキーを使用して新しいゲートウェイ サーバーを登録します。			
	CH3H-M6V9-MNAZ			

14. このゲートウェイ サーバーのすべての管理作業は、Acronis Access サーバー ウェブ コンソ ールから実行できます。[データ ソース] ページで新しいフォルダを作成すると、有効なゲートウ ェイ サーバーのリストにこのゲートウェイ サーバーが表示され、その新しいフォルダにアクセス できるようになります。

- 15. アップグレードして登録するゲートウェイ サーバーがまだある場合は、ここで取り上げた手順を 繰り返してください。
- 3.3.2.4 クライアント管理を有効に設定した単一の mobilEcho サーバーと activEcho サーバーのアップグレード

この手順については、「activEcho サーバーと mobilEcho Client Management Server のアップ グレード 『117ページ 』」の記事を参照してください。

3.3.3 mobilEcho 4.5 へのダウングレード

Acronis Access の mobilEcho 4.5 へのダウングレードは複雑な手順であるため、やむを得ない 場合以外は行わないでください。正しいバックアップを作成して、安全な場所に保管してください。

Acronis Access の mobilEcho 4.5 へのダウングレード

警告: 手順全体が完了するまで mobilEcho Administrator にライセンスを追加しないでください。この手順の実行中にレジストリを編集しないでください。

この手順を正しく実行するには、Acronis Access のアップグレードが成功していなければなりません。

1. 開始する前に、ファイル settings_backup とフォルダ Legacy mobilEcho files のバックア ップを取ります。

注意: ファイルは C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server にあり、フォルダのパス は C:\Program Files (x86)\Group Logic\Access Server\Legacy mobilEcho files です。

- 2. mobilEcho 4.5 インストーラと Acronis Access インストーラをダウンロードします。
- 3. Acronis Access のインストーラを実行します。
- 4. [ようこそ] 画面で [次へ] をクリックします。
- 5. 使用許諾契約に同意します。
- 6. [アンインストール] をクリックしてダウングレードの手順を開始します。
- 7. 警告のポップアップで [OK] をクリックします。
- 8. [すべての Acronis Access コンポーネントのアンインストール] を選択します。
- 9. 選択されているコンポーネントを確認し、[アンインストール] をクリックします。
- 10. PostgreSQL のアンインストールのポップアップで [はい] をクリックします。一部のファイルと 設定は残されます。
- 11. アンインストールされた内容すべてを確認し、[終了] をクリックします。
- 12. mobilEcho 4.5 インストーラを実行します。
- 13. 使用許諾契約を読んで同意してから、[次へ] をクリックします。
- 14. 前に mobilEcho をインストールしたフォルダを選択します。 デフォルトのままだった場合は、今回もそのデフォルトを使用できます。
- [インストール] をクリックして、mobilEcho 4.5 のインストールを開始します。インストールが完 了したら、[Launch the File Server Administrator] (File Server Administrator を起動)を選択 解除して、[完了] をクリックします。
- 16. バックアップした settings_backup ファイルを実行します。
- 17. バックアップした Legacy mobilEcho files フォルダを開きます。

- a. ファイル invitation.html.erb と invitation.txt.erb を、C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\ManagementUl\app\views\user_mailer にコピーします。
- b. ファイル mobilEcho_manager を C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\ManagementUI にコピーします。
- c. ファイル production.sqlite3 を C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\ManagementUl\db にコピーします。
- d. priority.txt という第 4 のファイルがある場合は、それを C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\Management にコピーします。Management フォルダは手動で作成することが必要です。

注意: まず古いファイルを削除してから新しいファイルをコピーすることを強くお勧めします。

18. mobilEcho File Access サービスを開始し、mobilEcho Management サービスを開始します。 注意: ユーザーおよびグループのすべてのプロファイルを手動で再び有効にする必要があります。

3.4 activEcho バージョン 2.7 以前からのアップグレード

セクションの内容

開始する前に	.1	1	1	
アップグレード プロセス	.1	1	2	

3.4.1 開始する前に

アップグレード前の activEcho のバックアップ

既存の activEcho サーバーによって使用されているデータ ファイルをバックアップしてください。

activEcho 2.7 以前のサーバーのバックアップと復元のプロセスについては、 http://docs.grouplogic.com/display/ActivEcho/Maintenance+Tasks を参照してください。

注意: アップグレードすると、activEcho ウェブ インターフェイスのすべてのカスタマイズが失われます。

Acronis Access にアップグレードするには、事前にご使用の activEcho のバージョンをバージョン 2.7 にアップデートしてください。

アップグレード前の Tomcat のバックアップ

アップグレード時に Apache Tomcat がアップグレードされ、現在の Tomcat のすべての設定ファ イル、証明書、およびログ ファイルが削除されます。Apache Tomcat フォルダのコピーを作成する ことをお勧めします。デフォルトでは、このフォルダは次の場所にあります: C:¥Program Files (x86)¥Group Logic¥Common¥。

設定の確認

アップグレードを続行する前に、次のことを確認してください。

mobilEcho と activEcho の両方がインストールされていることを確認します。

- mobilEcho と activEcho が同一のコンピュータにインストールされているか、別々のコンピュ ータにインストールされているかを確認します。
- mobilEcho で使用されているポートを確認します。また、ファイル サーバーおよび管理サーバ ーのポートも確認します。
- activEcho で使用されているポートを確認します。ファイル レポジトリが同じコンピュータにある ことを確認します。

3.4.2 アップグレード プロセス

activEcho 5.0 のアップグレード プロセス

まず、アップグレードする activEcho 実装環境のタイプを確認します。この後のセクションでは、シ ナリオごとに実行手順を説明していきます。以下のようなシナリオが一般的です。

- 1. 単一 activEcho サーバー(mobilEcho Client Management Server なし)
 - 1 つの Windows サーバーで activEcho Server だけを実行する環境です。
- 2. 単一 activEcho サーバー(mobilEcho Client Management Server あり)
 - 1 つの Windows サーバーで activEcho Server と mobilEcho Client Management Server/File Server サービスの両方を実行する環境です。
- 3. activEcho Server と mobilEcho Client Management Server を別々のサーバーで実行 する環境
 - 1 つの Windows サーバーで activEcho Server を実行し、別のサーバーで mobilEcho Client Management サービスを実行する環境です。

セクションの内容

3.4.2.1 単一 activEcho サーバー(mobilEcho Client Management Server なし)のアップグレード

シナリオ 1 - 単一 activEcho サーバー(mobilEcho Client Management Server なし)のアッ プグレード

これは、1 つの Windows サーバーで activEcho Server だけを実行する環境です。この手順に よって、activEcho Server を Acronis Access Server ウェブ コンソールにアップグレードします。 この新しいコンソールには、activEcho のすべての機能が含まれており、さらにいくつかの機能が 追加されています。Acronis Access サーバー ウェブ コンソールを使用すれば、1 つの共通のウ ェブ インターフェイスから activEcho と mobilEcho の両方を管理できます。

activEcho のアップグレードを実行するには、次のように操作します。

1. 必要なファイルすべてをバックアップします。「mobilEcho 4.5 バックアップ」や「activEcho 2.7 バックアップ」のガイドに従ってください。

- 2. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 3. Acronis Access Server インストーラを activEcho サーバーにダウンロードし、インストーラを 実行します。
 - a. 最新版のインストーラを入手するには、http://support.grouplogic.com/?page_id=3598 に アクセスします。
 - b. 確認のため、インストーラをダウンロードする前に製品のプロダクト キーを入力する必要が あります。
 - c. インストーラ ファイルの名前は AcronisAccessSetup.exe です。
- 4. [ようこそ] 画面で [次へ] をクリックします。

Acronis	: Access へようこそ		
		Acronis Ad	ccess
	Acronis Access セットア	ップ ユーティリティへようこう	£
i	このユーティリティは、Acronis Access をインス す。	、トール、アップデート、または削り	除しま
6.0.	0x155	次< >	キャンセル

5. 使用許諾契約に同意します。

Acronis Access 使用許諾契約	
Acronis Acces	S
ACRONIS]
ソフトウェア ライセンス契約者	
ACRONIS ソフトウェア(「本ソフトウェア」)をご利用になる前に このソフトウェア ライセンス契約書(「本契約」または「EULA」) をよくお読みください。ACRONIS INTERNATIONAL GMBH	
(「ACRONIS」または「ライセンサ」)は、個人または法人の利用 者(「ライセンシ」または「利用者」)が本契約のすべての条件に	-
< 戻る この契約に同意します キャンセル	

- 6. **[アップグレード]** をクリックすると、activEcho Server が新しい Acronis Access Server に自動的にアップグレードされます。このアップグレード プロセスでは、ゲートウェイ サーバーとそのサーバーで必要な各種サービスもインストールされます。
- リモート mobilEcho Server に関する画面が表示されます。mobilEcho Client Management Server がない場合は、[しいえ] をクリックします。mobilEcho Client Management Server が ある場合は、「mobilEcho クライアント管理サーバーを使用する activEcho サーバーのアップ グレード『117ページ』」または「別サーバーの mobilEcho クライアント管理サーバーを使用 する activEcho サーバーのアップグレード『124ページ』」の記事を参照してください。そこで は、mobilEcho のインストールを伴うアップグレードについて説明されています。

	Acronis Acces
Acronis Access Server では、activEchoとmo れました。	bilEcho クライアント管理サーバーが統合さ
別のサーバーで mobilEcho クライアント管理を 通のサーバーインストールに3つのファイルをコ 的ではないことに注意してください)。	実行している場合、そのコンピュータから共 ピーする必要がありますくこの構成は一般
警告: このインボート処理は後で多 ップグレードの一環として実行する	ミ行することはできません。このア 必要があります。
この共通のサーバーインストールにインポートす 行している別のコンピュータがありますか?	する mobilEcho クライアント管理サーバーを実

 Acronis Access コンポーネントのインストール先となるインストール ロケーションを選択します。 既存の activEcho サーバーをアップグレードする場合、デフォルトのインストール パスは既存 のインストール ロケーションになります。デフォルトのインストール パスを変更しないことをお勧 めします。[次へ] をクリックします。

インストール先の指定	
	9 Acronis
Acronis Access Gateway Server	
C:¥Program Files (x86)¥Group Logic¥Gateway Server¥	参照
Acronis Access File Repository	
C:¥Program Files (x86)¥Group Logic¥File Repository¥	参照
Acronis Access Configuration Utility	
C:¥Program Files (x86)¥Group Logic¥Configuration Utility¥	参照
_ < 戻る [次/	(>) キャンセル

9. インストールおよびアップグレードするサービスを確認します。



10. [インストール] を押して、アップグレードを開始します。インストールが完了すると、インストール されたコンポーネントの概要が表示されます。[終了] を押します。

Acronis Access のセットアップが完了し	ました
	9 Acronis
以下の 7 製品がインストールまたはアップグレードされました: Acronis Access Server version 5.0.3.121 + Acronis Access Tomcat web server v. 7.0.42 + Java Runtime Environment v. 7.0.250 64-bit Acronis Access Gateway Server version 5.0.3.107 Acronis Access File Repository version 5.0.3.121 Acronis Access Configuration Utility version 5.0.3.121 PostgreSQL Database Server 64-bit 9.2.4	
ログの表示	[]

注意:必要なすべてのコンポーネントが順に自動的にインストールされます。これにはサーバーに応じて 5~15 分かかります。その後のアップグレードはより速く完了します。

11. 必要なすべてのソフトウェアはアップグレード処理のこの時点ですべてインストール済みですが、 次に、使用するネットワーク インターフェイス、ポート、および証明書を設定する必要があります。 このステップは必須です。インストーラを終了すると、Acronis Access 設定ユーティリティを実 行するよう促すプロンプトが表示されます。続行するには、[OK] をクリックしてください。

Acronis Access セットアップ ユーティリティ	×
インストールが完了しました。ご利用になるには設定が必要になります。 [OK] をクリックして Acronis Access 設定ユーティリティを実行します。	
OK	

12. Acronis Access Gateway Server のネットワーク アドレス、ポート、および証明書を設定する には、設定ユーティリティ内で [ゲートウェイ サーバー] タブを使用します。Acronis Access Gateway Server は mobilEcho クライアントの接続先となる主要な Acronis Access サービ スであり、ファイル サーバー、NAS、および SharePoint サーバーへのアクセス権はここから 付与されます。 注意: 既存の設定は保持されます。これらの設定が mobilEcho File Access Server の既存の設定と一致することを確認してください。通常、このサービスは、すべての有効なネットワーク アドレスのポート 443 で実行されます。既存の SSL サーバー ID 証明書があれば、その証明書が自動的に選択されます。 既存の SSL サーバー ID 証明書がない場合は、自己署名証明書が生成されます。

 [Access Server] タブを使用して、Acronis Access Server のネットワーク アドレス、ポート、 証明書を設定します。Acronis Access Server は、すべての同期および共有機能と activEcho ユーザーを設定したり、サーバー管理とリモート クライアント管理のすべての作業を実行したり するためのウェブ コンソールです。また、これはウェブ クライアントにアクセスするためにユー ザーが使用するコンソールでもあります。

注意: Access Server の設定を確認してください。デフォルトの設定をお勧めします。通常、このウェ ブ コンソールは、ポート 3000 で有効になっているすべてのネットワーク アドレスで動作します。既 存の SSL サーバー ID 証明書があれば、その証明書が自動的に選択されます。既存の SSL サ ーバー ID 証明書がない場合は、自己署名証明書が生成されます。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	X
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリポジト サーバー エンドポイント アドレス 利用可能なすべてのアドレス マ ポート 3000 証明書 Acronis Access … ボート 80 での接続を許可します	ノ - サービス アカウント © ローカル システム アカウント
設定ログ ストア (80092004) に証明書がみつかりませんでした。新しい ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定をロードしています	自己署名証明書を作成しています。
ヘルプ	OK キャンセル 適用

注意: Acronis Access Server では、ファイル リポジトリの場所を選択しなければなりません。このリポジトリは、Acronis の activEcho のファイル同期機能とファイル共有機能で使用します。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリボジトリ サーバー エンドボイント アドレス 利用可能なすべてのアドレス マ ボート 5787 ファイル ストアのパ C:¥ProgramData¥Acronis¥Acce	サービス アカウント ・ ローカル システム アカウント ・ このアカウント パスワード パスワードの確認
ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています	
ファイル リホントリ の設定値か正常にロードされました	 OK キャンセル 適用

- 14. [OK] をクリックして設定ユーティリティを終了し、設定を適用します。
- 15. その後、Acronis Access Server ウェブ コンソールに初めてログインすることによって、この設 定作業を完了できます。表示される画面で [OK] をクリックしてウェブ ブラウザを起動すると、 設定が完了します。

Acronis Access 設定ユーティリティ	×
Acronis Access は正常に設定され、起動しています。[OK] をクリックし、ウェブ ブラウザを起動して、ウェブ インターフェイスを使用したサーバーの設定を継続する か、または [キャンセル] をクリックして設定ユーティリティを終了します。	
OK キャンセル	

3.4.2.2 activEcho サーバーと mobilEcho Client Management Server の アップグレード

シナリオ 2 - activEcho サーバーと mobilEcho Client Management Server のアップグレード

これは、1 つの Windows サーバーで activEcho Server と mobilEcho File Server と mobilEcho Management Server を実行するシナリオです。この手順では、activEcho サーバーと mobilEcho クライアント管理サーバーを統一 Acronis Access サーバー ウェブ コンソールにアッ プグレードします。以前 mobilEcho サーバーの管理に使用されていた mobilEcho Administrator Windows プログラムも新しいコンソールに置き換えられます。Acronis Access サーバー ウェブ コンソールを使用すれば、1 つの共通のウェブ インターフェイスから activEcho と mobilEcho の 両方を管理できます。

activEcho のアップグレードを実行するには、次のように操作します。

- 1. 必要なファイルすべてをバックアップします。「mobilEcho 4.5 バックアップ」や「activEcho 2.7 バックアップ」のガイドに従ってください。
- 2. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 3. Acronis Access Server インストーラを activEcho サーバーにダウンロードし、インストーラを 実行します。
 - a. 最新版のインストーラを入手するには、http://support.grouplogic.com/?page_id=3598 に アクセスします。
 - b. 確認のため、インストーラをダウンロードする前に製品のプロダクト キーを入力する必要が あります。
 - c. インストーラ ファイルの名前は AcronisAccessSetup.exe です。
- 4. [ようこそ] 画面で [次へ] をクリックします。

Acronis	Access へようこそ		
	ŀ	Acronis A	ccess
	Acronis Access セットアッ	ップ ユーティリティへようご	C Z
ī	のユーティリティは、Acronis Access をインス す。	トール、アップデート、または肖	训除しま
6.0.0	x155	次^ >	キャンセル

5. 使用許諾契約に同意します。

Acronis Access 使用許諾契約	
Acronis	Access
ACRONIS	
ソフトウェア ライセンス契約書	
ACRONIS ソフトウェア(「本ソフトウェア」)をご利用に このソフトウェア ライセンス契約書(「本契約」または「1 をよくお読みください。ACRONIS INTERNATIONAL GMBH (「ACRONIS」または「ライセンサ」)は、個人または法 者(「ライセンシ」または「利用者」)が本契約のすべて(なる前に EULA」) 人の利用 D条件に ▼
< 戻る この契約に同意します	キャンセル

- [アップグレード] をクリックすると、activEcho Server と mobilEcho Client Management Server が新しい Acronis Access Server に自動的にアップグレードされます。このアップグレ ード プロセスでは、ゲートウェイ サーバーとそのサーバーで必要な各種サービスもインストー ルされます。File Server もある場合は、新しいゲートウェイ サーバーがインストールされるの ではなく、その File Server がインストーラにより新しいゲートウェイ サーバーにアップグレード されます。
- Acronis Access コンポーネントのインストール先となるインストール ロケーションを選択します。 既存の activEcho サーバーをアップグレードする場合、デフォルトのインストール パスは既存 のインストール ロケーションになります。デフォルトのインストール パスを変更しないことをお 勧めします。[次へ] をクリックします。

インストール先の指定	
	9 Acronis
Acronis Access Gateway Server	
C:¥Program Files (x86)¥Group Logic¥Gateway Server¥	参照
Acronis Access File Repository	
C:¥Program Files (x86)¥Group Logic¥File Repository¥	参照
Acronis Access Configuration Utility	
C:¥Program Files (x86)¥Group Logic¥Configuration Utility¥	参照
<戻る [次/	(>) キャンセル

8. インストールおよびアップグレードするサービスを確認します。



9. [インストール] を押して、アップグレードを開始します。インストールが完了すると、インストール されたコンポーネントの概要が表示されます。[終了] を押します。



注意: 必要なすべてのコンポーネントが順に自動的にインストールされます。これにはサーバーに応じて 5~15 分かかります。その後のアップグレードはより速く完了します。

10. 必要なすべてのソフトウェアはアップグレード処理のこの時点ですべてインストール済みですが、 次に、使用するネットワーク インターフェイス、ポート、および証明書を設定する必要があります。 このステップは必須です。インストーラを終了すると、Acronis Access 設定ユーティリティを実 行するよう促すプロンプトが表示されます。続行するには、[OK] をクリックしてください。

Acronis Access セットアップ ユーティリティ	X
インストールが完了しました。ご利用になるには設定が必要になります。 [OK] をクリックして Acronis Access 設定ユーティリティを実行します。	
ОК	

11. Acronis Access Gateway Server のネットワーク アドレス、ポート、および証明書を設定する には、設定ユーティリティ内で [ゲートウェイ サーバー] タブを使用します。Acronis Access Gateway Server は mobilEcho クライアントの接続先となる主要な Acronis Access サービ スであり、ファイル サーバー、NAS、および SharePoint サーバーへのアクセス権はここから 付与されます。

注意: 既存の設定は保持されます。これらの設定が mobilEcho File Access Server の既存の設定と一致することを確認してください。通常、このサービスは、すべての有効なネットワーク アドレスのポート 443 で実行されます。既存の SSL サーバー ID 証明書があれば、その証明書が自動的に選択されま す。既存の SSL サーバー ID 証明書がない場合は、自己署名証明書が生成されます。

12. [Access Server] タブを使用して、Acronis Access Server のネットワーク アドレス、ポート、 証明書を設定します。Acronis Access Server は、すべての同期および共有機能と activEcho ユーザーを設定したり、サーバー管理とリモート クライアント管理のすべての作業を実行したり するためのウェブ コンソールです。また、これはウェブ クライアントにアクセスするためにユー ザーが使用するコンソールでもあります。

注意: Access Server の設定を確認してください。デフォルトの設定をお勧めします。通常、このウェ ブ コンソールは、ポート3000で有効になっているすべてのネットワーク アドレスで動作します。既存 の SSL サーバー ID 証明書があれば、その証明書が自動的に選択されます。既存の SSL サーバ ー ID 証明書がない場合は、自己署名証明書が生成されます。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リボジトリ サーバー エンドボイント サービス アカウント アドレス 利用可能なすべてのアドレス サービス アカウント ボート 3000 … 証明書 Acronis Access … ボート 80 での接続を許可します …	
 設定ログ ストア (80092004) (証明書がみつかりませんでした。新しい自己署名証明書を作成しています。 ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました 	
ヘルプ OK キャンセル	適用

注意: Acronis Access Server では、ファイル リポジトリの場所を選択しなければなりません。このリポジトリは、Acronis の activEcho のファイル同期機能とファイル共有機能で使用します。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイサーバー Access サーバー ファイルリボジトリ サーバー エンドボイント アドレス 利用可能なすべてのアドレス ▼ ポート 5787 ファイル ストアのパ C:¥ProgramData¥Acronis¥Acce	サービス アカウント ● ローカル システム アカウント ● このアカウント // パスワード // パスワードの確認
設定ログ 自己署名証明書を作成しています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
	OK キャンセル 適用

- 13. [OK] をクリックして設定ユーティリティを終了し、設定を適用します。
- 14. その後、Acronis Access Server ウェブ コンソールに初めてログインすることによって、この設 定作業を完了できます。表示される画面で [OK] をクリックしてウェブ ブラウザを起動すると、 設定が完了します。



ゲートウェイの登録

このシナリオでは、1 つの Windows サーバーで Acronis Access コンソールとゲートウェイ サ ーバーを実行するので、[ゲートウェイ サーバー] ページに表示されるサーバーは 1 つだけになり ます。このサーバーを管理するには、登録が必要です。

1. Acronis Access Server でそのゲートウェイ サーバーのメニュー ボタンをクリックして、[登録] を選択します。



 2. 登録対象のサーバーの既存のネットワーク アドレスでそのサーバーに直接アクセスできるかどうかを確認するための画面が表示されます。通常、既存のアドレスは、モバイル デバイスのユ ーザーがゲートウェイ サーバーにアクセスするために使用するネットワーク アドレスになっているので、プロキシ サーバーや負荷分散装置のアドレスになっている可能性があります。

注意: その場合は、このダイアログで **[いいえ]** を選択し、Acronis Access サーバーからこのゲート ウェイ サーバーへの直接的なネットワーク アクセスをするための代替ネットワーク アドレスを入力 する必要があります。



3. その後、登録ダイアログが表示されます。

サーバー 'Demo Sha	re' の登録
名前:	
Demo Share	
管理とクライアント接続のアドレス:	
https:// sda.glilabs.com:4430	
クライアント接続に代替アドレスを使うな	用
MCGE-KAW4-NR92)
図 自己署名証明書を使用した Acronis	s Access サーバーからの接続を許可
	Save キャンセル

注意: ゲートウェイ サーバーで自己署名 SSL 証明書を使用する場合は、[自己署名した証明書を 使用した Acronis Access サーバーからの接続を許可] を有効にする必要があります。

注意: このリモート サーバーとの組み合わせを有効にするために、管理キーを入力することも必要 です。この目的は、管理作業のための関係を検証し、セキュリティを確保することです。

 ゲートウェイ サーバーから管理キーを取得するには、ウェブ ブラウザの新しいウィンドウまた はタブを開いて、ゲートウェイ サーバーの HTTPS アドレスを指定します。[管理とクライアント 接続のアドレス] フィールドに表示されるアドレスと同じアドレスを入力してください。

Acronis Access	管理
	この Acronis Access Gateway Serverを設定するには、Acronis Access Management Server に登録する必要があります。登録するには、Management Serverの [ゲートウェイ サーバー] セクションにアクセスし、次のキーを使用して新しいゲートウェイサーバーを登録します。
	CH3H-M6V9-MNAZ

注意: セキュリティ上の理由から、この操作は、ゲートウェイ サーバーが実際に稼動している Windows サーバーのウェブ ブラウザから実行する必要があります。リモート ウェブ ブラウザから 管理キーを表示することはできません。

5. 12 桁の管理キー(ダッシュを含む)を登録フォームに入力して、[保存] をクリックします。

注意: サーバーを登録すると、[ゲートウェイ サーバー] リストに登録済みのサーバーとして表示され、 そのサーバーの設定を変更したり、詳細情報や状況を表示したりすることが可能になります。

ゲートウェイ サーバー			◆ゲートウェイ サー	バーの追加	+ クラスタ グループの追加		
	タイプ 🌣	名前 🔹	アドレス ◇	バージョン ◇	ステータス ◇	アクティブ セッ	ション ◇
	a	Main Server	rrt.glilabs.com		レガシー	0	●詳細 ▼
		Local	192.168.1.141		٢	0	●詳細 -
							 ● 詳細 ☑ 編集 ♥ アクセス制限 × 削除

3.4.2.3 別サーバーの mobilEcho クライアント管理サーバーを使用する activEcho サーバーのアップグレード

シナリオ 3- 別サーバーの mobilEcho クライアント管理サーバーを使用する activEcho サー バーのアップグレード

警告: このシナリオでは、activEcho サーバーと mobilEcho サーバーは別個のままにして、各サーバーを 個別にアップグレードすることを推奨します。activEcho サーバーのアップグレードの説明については、 「mobilEcho クライアント管理サーバーを使用しない単一の activEcho サーバーのアップグレード『112ペー ジ』」のガイドに従い、mobilEcho サーバーのアップグレードの説明については、「クライアント管理を有効に設 定した単一の mobilEcho サーバーのアップグレード『88ページ』」のガイドに従ってください。

このシナリオでは、2 台(またはそれ以上)の Windows Server があり、一方は activEcho サー バーのみが稼働し、他方は mobilEcho ファイル サーバーと管理サーバーが稼働しているものと します。この手順では、activEcho サーバーと mobilEcho クライアント管理サーバーを統一 Acronis Access サーバー ウェブ コンソールにアップグレードします。以前 mobilEcho サーバー の管理に使用されていた mobilEcho Administrator Windows プログラムも新しいコンソールに置 き換えられます。Acronis Access サーバー ウェブ コンソールを使用すれば、1 つの共通のウェ ブ インターフェイスから activEcho と mobilEcho の両方を管理できます。

Acronis Access サーバーへのアップグレードを実行する手順:

- 1. 必要なファイルすべてをバックアップします。「mobilEcho 4.5 バックアップ」や「activEcho 2.7 バックアップ」のガイドに従ってください。
- 2. mobilEcho が稼働しているサーバーの現在の IP アドレスを書き出し、そのコンピュータに別の IP アドレスを与えます(新しい IP アドレスも必要になります)。
- 3. activEcho が稼働しているサーバーで、mobilEcho が稼働するサーバーの IP アドレスを別 個のネットワーク アダプタに追加します。
- 4. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 5. Acronis Access Server インストーラを activEcho サーバーにダウンロードし、インストーラを 実行します。
 - a. 最新版のインストーラを入手するには、http://support.grouplogic.com/?page_id=3598 に アクセスします。
 - b. 確認のため、インストーラをダウンロードする前に製品のプロダクト キーを入力する必要が あります。
 - c. インストーラ ファイルの名前は AcronisAccessSetup.exe です。
- 6. [ようこそ] 画面で [次へ] をクリックします。

Acronis Access へようこそ
Acronis Access
Acronis Access セットアップ ユーティリティへようこそ
このユーティリティは、Acronis Access をインストール、アップデート、または削除しま す。
6.0.0x155 次へ > キャンセル

7. 使用許諾契約に同意します。

Acronis Access 使用許諾契約
Acronis Access
ACRONIS
ソフトウェア ライセンス契約書 ACRONIS ソフトウェア(「本ソフトウェア」)をご利用になる前に
このソフトワェア ライセンス契約者(「本契約」または「EULA」) をよくお読みください。ACRONIS INTERNATIONAL GMBH (「ACRONIS」または「ライセンサ」)は、個人または法人の利用 者(「ライセンシ」または「利用者」)が本契約のすべての条件に
< 戻る この契約に同意します キャンセル

- 8. **[アップグレード]** をクリックすると、activEcho Server が新しい Acronis Access Server に自動的にアップグレードされます。このアップグレード プロセスでは、ゲートウェイ サーバーとそのサーバーで必要な各種サービスもインストールされます。
- 9. mobilEcho クライアント管理サーバーを使用している場合、[はい] をクリックします。 mobilEcho クライアント管理サーバーを使用していない場合、mobilEcho の実行環境が存在 しない場合のアップグレードに関する最初の記事に進みます。



 mobilEcho クライアント管理サーバーが稼働しているサーバーで、production.sqlite3、 mobilEcho_manager.cfg、priority.txt(このファイルは存在しない可能性があります)の 3 つのファイルを見つけ、アップグレードを開始したマシンにそれらをコピーします。コピー先フォル ダは、現在のコンピュータのダイアログに示されているフォルダ ロケーションです。このパスは、 インストールごとに異なります (C:¥Users¥Administrator¥AppData¥Local¥Temp¥Acronis Access Installer¥ など)。これらのファイルがすべてコピーされたら、[OK] を押して続行します。

Acronis Acces: mobilEcho のリモート コピー ファイル
Acronis Access
以下の 3 つのファイルをリモート mobilEcho 管理サーバー インストール フォルダ(通常、 'C: \Program Files (x86) \Group Logic \mobilEcho Server') からこのコンピュータの 'C: \Users \Administrator \AppData \Local \Temp \Acronis Access Installer \' (こ手動でコピー してください。 Management UI \db \production.solite 3
ManagementUI \mobilEcho_manager.cfg
Management\priority.txt〈このファイルは存在しない可能性があります〉 続行する準備ができたら、[OK] をクリックします。
ОК

注意: これらのファイルは通常次の場所にあります。

C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\ManagementUI\db\production.sqlite3

C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\ManagementUI\mobilEcho_manager.cfg

C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\Management\priority.txt

11. Acronis Access コンポーネントのインストール先となるインストール ロケーションを選択します。 既存の activEcho サーバーをアップグレードする場合、デフォルトのインストール パスは既存 のインストール ロケーションになります。デフォルトのインストール パスを変更しないことをお 勧めします。[次へ] をクリックします。

インストール先の指定	
Acronis Access Gateway Server	
C:¥Program Files (x86)¥Group Logic¥Gateway Server¥	参照
Acronis Access File Repository	
C:¥Program Files (x86)¥Group Logic¥File Repository¥	参照
Acronis Access Configuration Utility	
C:¥Program Files (x86)¥Group Logic¥Configuration Utility¥	参照
<戻る	(>) キャンセル

12. インストールおよびアップグレードするサービスを確認します。



13. [インストール] を押して、アップグレードを開始します。インストールが完了すると、インストール されたコンポーネントの概要が表示されます。[終了] を押します。



注意:必要なすべてのコンポーネントが順に自動的にインストールされます。これにはサーバーに応じて 5~15 分かかります。その後のアップグレードはより速く完了します。

14. 必要なすべてのソフトウェアはアップグレード処理のこの時点ですべてインストール済みですが、 次に、使用するネットワーク インターフェイス、ポート、および証明書を設定する必要があります。 このステップは必須です。インストーラを終了すると、Acronis Access 設定ユーティリティを実 行するよう促すプロンプトが表示されます。続行するには、[OK] をクリックしてください。

Acronis Access セットアップ ユーティリティ	×
インストールが完了しました。ご利用になるには設定が必要になります。 [OK] をクリックして Acronis Access 設定ユーティリティを実行します。	
ОК	

設定ユーティリティの使用

[ゲートウェイ サーバー] タブでの作業

- 1. **[アドレス]** フィールドに、mobilEcho が稼働していたサーバーの IP アドレスを入力します。これは最初に書き出したアドレスです。
- 2. [ポート] フィールドに、mobilEcho ファイル サーバーが使用していたポート番号を入力します。
- 3. mobilEcho ファイル サーバー用に使用していた証明書を追加します。

🙆 Acronis A	Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ	サーバー 🛛 Access サーバー 🗍 ファイルリポジ	и)
「サーバー	エンドポイント	サービス アカウント
アドレス	192.168.1.124	〇 ローカル システム アカウント
ポート	443	
証明書	Acronis Access	
Acce	ss サーバーに対するプロキシ要求	
□ ポー	ト80 での接続を許可します	
設定ログ		
自己署名証	明書を作成しています	
イートワエイ Access サー	サーハー の設定1世か止帯にロートされました。 バー の設定をロードしています	
Access サー	バーの設定値が正常にロードされました	
ファイルリポシ	ジトリ の設定をロードしています	
ファイル リポシ	ジトリ の設定値が正常にロードされました	_
ヘルプ		OK キャンセル 適用

[Access サーバー] での作業

- 1. **[アドレス]** フィールドに、今まで activEcho サーバーで使用していた IP アドレスを入力します。 これはデフォルトになっているはずです。
- 2. [ポート] フィールドに、今まで activEcho サーバーで使用していたポート番号を入力します。こ れはデフォルトになっているはずです。

3. activEcho サーバー用に使用していた証明書を追加します。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリボジト サーバー エンドボイント アドレス 192.168.1.128 ▼ ポート 443 証明書 Acronis Access … 「ポート 80 での接続を許可します	リ - サービス アカウント ・ ローカル システム アカウント
 設定ログ	
ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ	OK キャンセル 適用

[ファイル リポジトリ] タブでの作業

- 1. **[アドレス]** フィールドに、リポジトリ サービスの IP アドレスまたは FQDN を入力します。これ はデフォルトになっているはずです。
- 2. [ポート] フィールドに、リポジトリ サービスのポート番号を入力します。これはデフォルトになっているはずです。
- 3. FileStore フォルダへのパスを選択します。これはデフォルトになっているはずです。

💩 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイサーバー Access サーバー ファイルリポジトリ サーバー エンドポイント サービン アドレス 利用可能なすべてのアドレス ・ ポート 5787 ・ ファイル ストアのパ C:¥ProgramData¥Acronis¥Acce	A アカウント -カル システム アカウント Dアカウント -ド -ドの確認
自己署名証明書を作成しています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ OK	キャンセル 適用

必要な設定をすべて終えたら、[OK] をクリックして設定ユーティリティを終了します。

ローカル ゲートウェイ サーバーの設定

- 1. Acronis Access インストーラをコピーして、mobilEcho を使用しているサーバー上に置きます。
- 2. mobilEcho Management Server サービスを停止します。
- 3. インストーラを実行し、ようこそ画面で [次へ] をクリックします。
- 4. ライセンス契約を読み、承諾します。
- 5. [カスタム] をクリックします。
- 6. [ゲートウェイ サーバー] コンポーネントのみを選択して、[次へ] をクリックします。

Acronis Access セット	アップ コンポーネント
	9 Acronis
ーインストールするコンポーネント: 複数の Acronis Access サーバーまたはその他の 個々のコンポーネントをインストールします。	D非標準構成を配置するときは通常、
Acronis Access Server	5.0.3.121
Acronis Access Gateway Server	v. 4.5.2.105> 5.0.3.107
C Acronis Access File Repository	5.0.3.121
PostgreSQL Database Server	9.2.4
< <u>F</u>	実る 次へ > キャンセル

- 7. インストール パスを確認してから [次へ] をクリックします。これはデフォルトになっているはず です。
- 8. インストールするコンポーネントを確認して、[インストール] をクリックします。
- インストールが完了したら、インストーラを終了して設定ユーティリティを起動します(自動的に起動しない場合、通常は C:¥Program Files (x86)¥Group Logic¥Configuration Utility にあります)。
- 10. [アドレス] フィールドで、mobilEcho をホストしているマシンに割り当てた新しい IP アドレスを 指定します。

11. [ポート] フィールドで、以前 mobilEcho ファイル サーバーが使用していたポート番号を指定し ます(これはデフォルトになっているはずです)。

◎ Acronis Access 設定ユーティリティ ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリボジト	<mark></mark> ປ]
サーバーエンドボイント アドレス 192.168.1.123 ▼ ボート 443 証明書 Acronis Access … □ Access サーバーに対するプロキシ要求 □ ポート 80 での接続を許可します	- サービス アカウント © ローカル システム アカウント
設定ログ Access サーバー はインストールされていません ファイル リボジトリ はインストールされていません ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ	OK キャンセル 適用

- 12. [OK] をクリックすると、設定が完了します。ユーティリティを終了します。
- 13. Acronis Access ウェブ インターフェイスを開いてログインします。
- 14. [モバイル アクセス] タブを展開して、[ゲートウェイ サーバー] ページを開きます。
- 15. ステータスが **[レガシー]** になっているゲートウェイ サーバーを見つけて、そのゲートウェイのド ロップダウン メニューを開いて、**[登録]** を選択します。

タイプ ^	名前	0	アドレス	٥	バージョン	0	ステータス	0	アクティブ セッション 🌣	使用ライセンス	ライセンス	
8	Demo Share		sda.glilabs.com:4430		5.0.2x102		レガシー		0	0/無制限	サブスクリブション	0 ###

16. ダイアログが表示されたら、[はい] を押します。



17. [管理とクライアント接続のアドレス] フィールドに、アップグレードした Gateway Server の IP アドレスを入力します。これは、以前 mobilEcho をホストしていたマシンに割り当てた新しい IP アドレスです。

サーバー 'AWR' の登録	×
名前:	
AWR	
管理とクライアント接続のアドレス:	
https:// 192.168.1.123	
□ クライアント接続に代替アドレスを使用	
管理キー:	
MZWZ-9HRV-ZT3V	
☑ 自己署名証明書を使用した Acronis Access サーバーからの接続を許可	
Save ++>>t	zil

- 18. **[管理キー]** フィールドに、ゲートウェイ サーバーのキーを入力します。キーを取得するには、ブ ラウザでゲートウェイの IP アドレスを開きます (例: https://192.168.1.1)。この操作は、以前 mobilEcho をインストールしていたマシンで行う必要があります。
- 19. [保存] をクリックしてゲートウェイを登録します。

ローカル ゲートウェイ サーバーの登録

[ゲートウェイ サーバー] ページで次の操作を行います。

1. [ゲートウェイ サーバーの追加] ボタンを押します。

- 2. 新しいゲートウェイ サーバーの表示名を入力します。
- 3. ゲートウェイの IP アドレスを入力します。これは、以前 mobilEcho サーバーで使用されていた IP アドレス(最初に書き出した IP)です。
- 4. ゲートウェイの管理キーを入力します。キーを取得するには、ブラウザでゲートウェイの IP アド レスを開きます (例: https://192.168.1.1)。この操作は、現在 Acronis Access Server をホス トしているマシンで行う必要があります。

表示名:	
Local Gateway	
管理のアドレス: 🚯	
https:// 192.168.1.124	
□ クライアント接続に代替アドレスを使用 🚯	
管理キー∶●	
RAA3-J7F8-Z13A	

5. [保存] をクリックしてゲートウェイを登録します。

3.5 クラスタ構成のアップグレード

Acronis Access のクラスタ構成をアップグレードするには、Acronis Access サーバーとクラスタ グループのゲートウェイ サーバーの両方をアップグレードする必要があります。Access サーバー のアップグレードの方法については、「Acronis Access の新しいバージョンへのアップグレード 『65ページ』」の記事を参照してください。各ゲートウェイでは、次の手順を実行してください。

Microsoft Failover Clustering 構成のアップグレードの詳細については、「補足資料」セクションを参照してください。

保存

キャンセル

ゲートウェイ サーバーのアップグレード

- 1. 対象のサーバーで Acronis Access インストーラを実行します。
- 2. [ようこそ] 画面で [次へ] をクリックします。

Acronis Access へようこそ	
Acronis	Access
Acronis Access セットアップ ユーティリティへよ	:52 2
このユーティリティは、Acronis Access をインストール、アップデート、また す。	は削り除しま
6.0.0x155 次へ >	キャンセル

3. 使用許諾契約を読み、承諾します。

Acronis Access 使用許諾契約		
	Acronis Acc	ess
	ACRONIS	
ንግኑታ	リェア ライセンス契約書	
ACRONIS ソフトウェア(このソフトウェア ライセン をよくお読みください。AC (「ACRONIS」または「ラ 者(「ライセンシ」または	「本ソフトウェア」)をご利用になる前 ス契約書(「本契約」または「EULA」 CRONIS INTERNATIONAL GMBH イセンサ」)は、個人または法人の利 「利用者」)が本契約のすべての条件は	に) 用 こ ・
<戻る	この契約に同意します	キャンセル

4. [**カスタム**] をクリックします。

Acronis Access セットアップ オブション
Acronis Access
Acronis Access サーバー 「アップグレード」をクリックすると、ソフトウェアが Acronis Access サーバーおよびそれに 関連するコンボーネントにアップグレードされます。 <i>注意: カスタム インストールは、特別な構成にのみ使用します。</i>
アンインストール カスタム アップグレード キャンセル

- 5. [Acronis Access ゲートウェイ サーバー] コンポーネントのみを選択して、[次へ] をクリック します。
- 6. コンポーネントを確認し、[インストール]を押します。
- インストールの完了後、概要を確認してからインストーラを閉じます。設定ユーティリティを開くように求められたら、設定ユーティリティを開き、ゲートウェイ サーバーの以前の設定がすべて保持されていることを確認します。必要に応じて変更を加え、[OK] を押します。
- 4 Microsoft フェールオーバー クラスタ上での Acronis Access のアップグレード

Acronis Access Server クラスタを Acronis Access のさらに新しいバージョンにアップグレードするには、次のステップが役立ちます。

- 1. アクティブ ノードに移動します。
- 2. [Cluster Administrator]/[フェイルオーバー クラスタ管理] を開きます。

3. Acronis Access のサービスをすべて停止します(**postgres-some-version** も含む)。共有ディスクがオンラインでなければなりません。

AAS Cluster	
AAS Cluster の概要	
状態 : オフライン 警告: <なし> 優先する所有者 : XT,XTR 現在の所有者 : XTR	
名前	状態
サーバー名	
🗉 🖳 名前: AASCluster	🗊 オンライン
ディスク ドライブ	
🕀 🧰 Cluster Disk 1	💿 オンライン
その他のリソース	
🎼 Acronis Access File Repository Server	🖲 オフライン
🚽 👘 Acronis Access Gateway (AcronisAccessGateway	🖲 オフライン
🙀 Acronis Access Tomcat	● オフライン
Contraction Access PostgreSQL	🕑 オフライン

- 4. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 5. 実行可能なインストーラをダブルクリックします。

Acronis Access Advanced へようこそ	
	Acronis Access
Acronis Access Advance ようこ このユーティリティは、Acronis Access をインス す。	d セットアップ ユーティリティへ そ トール、アップデート、または削除しま
7.0.0x340	(次ヘン) キャンセル

6. [次へ] を押して開始します。

- 7. 使用許諾契約を読み、承諾します。
- 8. **[アップグレード]**を押します。

Acronis Access セットアップ オプション
Acronis Access
Acronis Access サーバー 「アップグレード] をクリックすると、ソフトウェアが Acronis Access サーバーおよびそれに 関連するコンボーネントにアップグレードされます。 <i>注意: カスタム インストールは、特別な構成にのみ使用します。</i>
アンインストール カスタム アップグレード キャンセル

9. インストールするコンポーネントを確認して、[インストール] をクリックします。

Acronis Accessのインストールに関する警告
Acronis Access
セットアップにより、以下の製品がインストールまたはアップグレードされます。この処理によ り、Acronis Access が起動または停止され、このシステムのユーザーの作業が中断される 可能性があります。 Acronis Access Server v. 6.1.0.249> v. 6.1.1.108 Acronis Access Gateway Server v. 6.1.0.165> v. 6.1.1.103 Acronis Access File Repository v. 6.1.0.249> v. 6.1.1.108 Acronis Access File Repository v. 6.1.0.249> v. 6.1.1.108 Acronis Access Configuration Utility v. 6.1.0.249> v. 6.1.1.108
<戻る インストール キャンセル

- 10. postgres スーパー ユーザーのパスワードを入力して、[次へ] を押します。
- 11. インストールが終了したら、[終了] を押してインストーラを閉じます。

警告: クラスタ グループをオンラインにしないでください。

- 12. クラスタ グループを第 2 のノードに移動します。
- 13. 第 2 のノード上で、同じインストール手順を実行します。
- 14. Acronis Access のサービスをすべてオンラインにします。

5 Microsoft フェールオーバー クラスタでの mobilEcho 4.5 からのアップグレード

警告: Acronis Access フェールオーバー クラスタリングは、5.0.3 より前のバージョンではサポートされてい ません。それより前のバージョンを使用している場合、何らかのクラスタの設定を続行する前に、5.0.3 以降 のバージョンにアップグレードする必要があります。

以下のガイド情報は、mobilEcho から Acronis Access にクラスタをアップグレードする作業についてのものです。

セクションの内容

Windows 2003 フェールオーバー クラスタ上の mobilEcho サーバーを Acronis Access	
にアップグレードする	138
Windows 2008 フェールオーバー クラスタ上の mobilEcho サーバーを Acronis Access	
にアップグレードする	151
Windows 2012 フェールオーバー クラスタ上の mobilEcho サーバーを Acronis Access	
にアップグレードする	162

- 5.1 Windows 2003 フェールオーバー クラスタ上の mobilEcho サーバーを Acronis Access にアップグレ ードする
- 1. [Cluster Administrator] を開き、サービス グループをダブルクリックします。
- 2. mobilEcho サービスのリソースを削除します。

注意: クラスタ グループ全体をオフラインにしないでください。mobilEcho サービス リソースだけを削除 してください。

- 3. アクティブ ノードでインストーラを起動します。
- インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 5. 実行可能なインストーラをダブルクリックします。

Acronis Access Advanced へようこそ	-
	Acronis Access
Acronis Access A このユーティリティは、Acronis Acc	Advanced セットアップ ユーティリティへ ようこそ ess をインストール、アップデート、または削除しま す。
7.0.0x340	(次へ) キャンセル

- 6. [次へ] を押して開始します。
- 7. 使用許諾契約を読み、承諾します。
- 8. **[インストール]**を押します。

注意: 複数の Acronis Access サーバーを配置する場合や、標準構成以外でインストールを行う場合は、 [カスタム インストール] ボタンからインストールするコンポーネントを選択することができます。

9. Acronis Access メイン フォルダのデフォルト パスを使用するか新しいパスを選択し、[OK] を 押します。

Acronis Access のシステム パスを指定する
Acronis Access
Acronis Access システムのインストール先ドライブ文字を含む、絶対パスを入力してくださ い。 このディレクトリが存在しない場合は、作成されます。
注意:このパスのすべてのファイルとフォルダは、セットアップ時に置き換えられることがあります。 す。 Acronis Access システム ディレクトリー
C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥ 参照…
<戻る 次へ > キャンセル

- 10. Postgres ユーザーのパスワードを設定し、書き留めておきます。このパスワードは、データベースのバックアップとリカバリに必要です。
- 11. 共有ディスクのうち Postgres データ フォルダのためのロケーションを選択して[次へ]をクリックします。

ローカルの PostgreSQLの構成
Acronis Access
PostgreSQL のインストール ロケーション:
データパス: S:¥PSQL 参照
PostgreSQL スーパーユーザー資格情報:
PostgreSQL スーパーユーザー パスワード: *******
パスワードを再入力してください: *******
PostgreSQL ポート: 5432
リモート アクセスのためにファイアウォールのこのボートを開く: 🔲
< 戻る 次へ > キャンセル

- 12. インストールされるコンポーネントがすべてリストされたウィンドウが表示されます。 続行するに は、 **[OK]**を押します。
- Acronis Access のインストーラが完了したら、[終了] を押します。共有ディスクに移動し、 production.sqlite3、mobilEcho_manager.cfg、priority.txt(これは存在しない場合があり ます)の 3 つのファイルを見つけてコピーしてから、それらを Acronis Access インストール ディレクトリに貼り付けて既存のファイルを置き換えます。

注意: 置き換える元のファイルは、一般に次の場所にあるはずです。

C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\ManagementUI\db\production.sqlite3 C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\ManagementUI\mobilEcho_manager.cfg

C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\Management\priority.txt

アクティブ ノードでの設定

1. ゲートウェイ サーバーのデータベースが共有ディスク上のロケーションとなるように設定します。

- a. C:\Program Files (x86)\GroupLogic\mobilEcho Server\ に移動します。
- b. database.yml ファイルを見つけ、テキスト エディタで開きます。
- c. database_path: './database/'の行を見つけ、./database/を、使用するパスに置き換えます(database_path: 'S:/mobilEcho_cluster/database/'など)。

注意: パスの区切りにはスラッシュ(/)を使用します。

注意: 第1ノードで設定した database.yml をコピーして、第2ノードに貼り付けることができます。

必要なすべてのサービスを Acronis Access クラスタ グループに追加する

AcronisAccessGateway、AcronisAccessPostgreSQL(Acronis Access のバージョンに応じて異なる)、AcronisAccessRepository、および AcronisAccessTomcat の各サービスについて、以下の手順を実行します。

1. Acronis Access クラスタ グループを右クリックします。

2. [新規] を開いて [リソース] を選択します。

Ele View Window Help	
ទីត្ SATURN (.)	
Image: State Owner Resource Type Description	
Groups Cluster IP Address Online RHEA IP Address PHTG1 Bing Online Ch+H Online RHEA Network Name Online RHEA Physical Disk Quorum Disk Online RHEA Distributed Transaction Coordinator Cluster Configue Delete Ctrl+H Resources Rename Ctrl+H Network Ir Network Ir Active Groups Groups Active Groups Guster Cluster ITAN Active Groups Active Groups Custer Metwork Interfaces Network Interfaces	

- 3. サービスの名前を入力し、適切なクラスタ グループを選択します。
- 4. [リソースの種類] ドロップダウン メニューから [汎用サービス] を選択して [次へ] をクリックします。

New Resource	Acronis Ac	cess Tomcat
	Description: Resource type: Group: Run this resourc To continue, click N	Generic Service Generic Script Generic Service IP Address Local Quorum Majority Node Set Message Queuing Network Name Physical Disk Print Spooler
	<u>د ال</u> و	Volume Shadow Copy Service Tas WINS Service

5. 2 つのノードがいずれも [使用可能な所有者] のリストに含まれていることを確認してから [次 へ] をクリックします。

ipecify the possible owne wailable nodes:	ers for this resourc	e. Possib	ile <u>o</u> wners:	
Name	<u>A</u>	dd ->	ne RHEA TITAN	

- 6. [次へ] をクリックして依存関係をスキップします。
- 7. 追加するサービスの正確なサービス名 (postgresql-x64-9.2 など)を入力して [次へ] をクリックします。
- 8. ここでは [次へ] を押して [レジストリ レプリケーション] ウィンドウをスキップします。
- 9. [完了] をクリックします。これで手順は完了です。

依存関係の設定

PostgreSQL および Acronis Access ファイル リポジトリでは、次の操作を実行 します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。
- 3. [変更] をクリックします。

4. 追加した共有ディスクを選択し、右側に移動します。

pSQL Propert	ties				? ×	
General D	ependencies Advanced I	Parameters				
	Modify Dependencies			<u>? ×</u>		
Specify w	Available resources:	,	Dependencies:			
resource	Name	Resource Type		Resource Type		
Resource				Physical Disk		
Name						
			OK Cancel	Properties		
		Modify	Properties			
	<u> </u>	Cancel	Apply			

5. **[OK]** を押します。

PostgreSQL では、次の操作も実行します。

1. [レジストリ レプリケーション] タブをクリックします。

2. [追加] を押し、SYSTEM\CurrentControlSet\Services\AcronisAccessPostgreSQL\の ように入力します(旧バージョンの Acronis Access の場合、サービスが postgresql-x64-9.2 のように異なることがあります)。

pSQL Properties	? ×
General Dependencies Advanced Parameters Registry Replication	
€ pSQL	
Programs or services may store data in the registry. Therefore, it is important to have this data available on the node on which they are running. Specify the registry keys below HKEY_LOCAL_MACHINE that should be replicated to all nodes in the cluster.	
Root Registry Ke Registry Key	
Boot registry key:	
SYSTEM\CurrentControlSet\Services\postgresql-x64-9.2	
OK Cancel	
Add <u>M</u> odify <u>H</u> emove	
OK Cancel Apply	

Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスでは、次の操作を実行します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。
- 3. [変更] をクリックします。
4. IP アドレスと物理ディスクを選択し、右側に移動します。

AAS Gateway Properties	? ×		
General Dependencies Advanced Parameters Registry Replication			
AAS Gateway			
Specify Modify Dependencies			
Available resources: Dependencies:			
Name Resource Type Name Resource Type Output Output Output Output			
MSDTC Distributed Tra			
OK Cancel Properties			
Modity Eroperties			
OK Cancel Apply			

5. **[OK]** を押します。

Acronis Access Tomcat サービスでは、次の操作を実行します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。
- 3. [変更] をクリックします。

4. PostgreSQL および Acronis Access ゲートウェイ サーバーのサービスを選択し、右側に移動します。

Acronis Access Tomcat Properties	? X		
General Dependencies Advanced Parameters Registry Replication			
Acronis Access Tomcat			
Specify Modify Dependencies			
Available resources: Dependencies:			
Name Resource Type Name Resource Type			
Cluster IP Address IP Addres			
Concernence Service Concernence Service			
MSDTC Distributed Tra			
Modify Properties			
OK Cancel Apply			

5. **[OK]** を押します。

クラスタ グループをオンラインにして設定ユーティリティを使用する

- 1. クラスタ グループを右クリックし、[Bring online] をクリックします。
- 2. 設定ユーティリティを起動します。mobilEcho からのアップグレードの場合、通常これは C:\Program Files (x86)\GroupLogic\Configuration Utility にあります。

3. Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サー ビス グループをリッスンするように設定します。

Acronis Acce	ss設定ユーティリティ	-	×
ゲートウェイ サー ーサーバー エン アドレス ポート 証明書 「 Access サ 「 ポート 80	パー Access サーバー ファイルリボジト! ドボイント The Client Access IP address ▼ 443 Acronis Access … ーバーに対するプロキシ要求 での接続を許可します	ノ サービス アカウント © ローカル システム アカウント	
設定ログ 自己署名証明書 ゲートウェイサー/ Access サーバーの Access サーバーの ファイルリポジトリ ファイルリポジトリ	を作成しています ドーの設定値が正常にロードされました の設定をロードしています の設定値が正常にロードされました の設定をロードしています の設定値が正常にロードされました		
ヘルプ		OK キャンセル 適	用

4. Acronis Access サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サービス グルー プをリッスンするように設定します。

注意: [ポート 80 での接続を許可します] が選択されている場合、Tomcat は、セキュアでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートにリダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスをオンにしないでください。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リボジト サーバー エンドポイント アドレス The Client Access IP address ▼ ポート 443 証明書 Acronis Access … 「ポート 80 での接続を許可します	リ - サービス アカウント © ローカル システム アカウント
ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ	OK キャンセル 適用

5. Acronis Access ファイル リポジトリが localhost 上でリッスンするように設定し、FileStore へのパスが共有ディスク上になるように変更します。このパスは、2 つのノードで同じにする必要があります。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリポジトリ サーバー エンドポイント アドレス 127.0.0.1 ポート 5787 ファイル ストアのパ E:\FileStorePath	・サービス アカウント ● ローカル システム アカウント ● このアカウント パスワード パスワードの確認
設定ログ ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
	OK キャンセル 適用

6. [OK] をクリックすると、設定が完了し、サービスが再起動します。

第2ノードでのインストールおよび設定

- 1. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 2. 第 2 ノードに Acronis Access をインストールします。ただし、今回は、デフォルトの Postgres データ ロケーション、および第 1 ノードと同じ postgres ユーザー パスワードを使 用します。
- 3. インストールを実行します。
- 4. ゲートウェイ サーバーのデータベースが共有ディスク上のロケーションとなるように設定します。
 - a. C:\Program Files (x86)\GroupLogic\mobilEcho Server\ に移動します。
 - b. database.yml ファイルを見つけ、テキスト エディタで開きます。
 - c. database_path: './database/'の行を見つけ、./database/を、使用するパスに置き換えます(database_path: 'S:/mobilEcho_cluster/database/'など)。
 注意: パスの区切りにはスラッシュ(/)を使用します。
 注意: 第 1 ノードで設定した database.yml をコピーして、第 2 ノードに貼り付けることができます。

注意: このパスは第 1 ノードで設定されているパスと同じでなければなりません。

- 5. クラスタ グループを第 2 ノードに移動します。そのためには、クラスタ グループを右クリックして [Move Group] をクリックします。
- 6. 設定ユーティリティを起動します。mobilEcho からのアップグレードの場合、通常これは C:\Program Files (x86)\GroupLogic\Configuration Utility にあります。

7. Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サー ビス グループをリッスンするように設定します。

 Acronis Acces ゲートウェイサー、 サーバーエント アドレス ポート 証明書 Access サー ボート 801 	S 設定ユーティリティ バー Access サーバー ファイルリボジト Sボイント The Client Access IP address ▼ 443 Acronis Access … -バーに対するプロキシ要求 での接続を許可します	リ サービス アカウ © ローカル ジ	ント バステム アカウント	
設定ログ 自己署名証明書 ゲートウェイサーバー(Access サーバー(Access サーバー(ファイルリポジトリ・ ファイルリポジトリ・	を作成しています ドーの設定値が正常にロードされました D設定値が正常にロードされました の設定をロードしています の設定値が正常にロードされました	OK	キャンセル	▲ ▲ ■ ▼

8. Acronis Access サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サービス グルー プをリッスンするように設定します。 **注意: [ポート 80 での接続を許可します]** が選択されている場合、Tomcat は、セキュアでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートにリダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスをオンにしないでください。

 Acronis Access 設定ユーティリティ 			
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リボジトリ サーバー エンドポイント サーバー エンドポイント アドレス The Client Access IP address マ ポート 443 証明書 Acronis Access ポート 80 での接続を許可します			
設定ログ ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました			
ヘルプ OK キャンセル 適用			

Acronis Access ファイル リポジトリが localhost 上でリッスンするように設定し、FileStore へのパスが共有ディスク上になるように変更します。このパスは、2 つのノードで同じにする必要があります。

💩 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリポジトリ サーバー エンドポイント アドレス 127.0.0.1 ポート 5787 ファイル ストアのパ E: \FileStorePath	
設定ログ ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ OK キャンセル 通	卸用

10. [OK] をクリックすると、設定が完了し、サービスが再起動します。

- 5.2 Windows 2008 フェールオーバー クラスタ上の mobilEcho サーバーを Acronis Access にアップグレ ードする
- 1. [フェールオーバー クラスタ マネージャ] を開き、サービス グループをダブルクリックします。
- 2. mobilEcho サービスのリソースを削除します。 **注意:** クラスタ グループ全体をオフラインにしないでください。mobilEcho サービス リソースだけを削除 してください。
- 3. アクティブ ノードでインストーラを起動します。
- 4. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 5. 実行可能なインストーラをダブルクリックします。

Acronis Access Ac	lvanced へようこそ		
		Acronis /	Access
Acro このユーティル	nis Access Advanced ようこそ ティは、Acronis Access をインスト す。	レットアップ ユーティリテ 	- 行へ 除しま
7.0.0x340		(法へ)>	キャンセル

- 6. [次へ] を押して開始します。
- 7. 使用許諾契約を読み、承諾します。
- 8. [インストール] を押します。 注意: 複数の Acronis Access サーバーを配置する場合や、標準構成以外でインストールを行う場合は、 [カスタム インストール] ボタンからインストールするコンポーネントを選択することができます。
- 9. Acronis Access メイン フォルダのデフォルト パスを使用するか新しいパスを選択し、[OK] を 押します。

Acronis Access のシステム パスを指定する
Acronis Access
Acronis Access システムのインストール先ドライブ文字を含む、絶対パスを入力してくださ い。 このディレクトリが存在しない場合は、 作成されます。
注意:このパスのすべてのファイルとフォルダは、セットアップ時に置き換えられることがあります。 す。 Acronis Access システム ディレクトリー
C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥ 参照
< 戻る 次へ > キャンセル

- 10. Postgres ユーザーのパスワードを設定し、書き留めておきます。このパスワードは、データベースのバックアップとリカバリに必要です。
- 11. 共有ディスクのうち **Postgres データ** フォルダのためのロケーションを選択して [**次へ**] をクリ ックします。

ローカルの PostgreSQL の構成
Acronis Access
PostgreSQL のインストール ロケーション:
データパス: S:¥PSQL 参照
PostgreSQL スーパーユーザー資格情報:
PostgreSQL スーパーユーザー パスワード: *******
パスワードを再入力してください: *******
PostgreSQL ポート: 5432
リモート アクセスのためにファイアウォールのこのポートを開く: 📃
<戻る 次へ > キャンセル

- 12. インストールされるコンポーネントがすべてリストされたウィンドウが表示されます。 続行するに は、 **[OK]**を押します。
- Acronis Access のインストーラが完了したら、[終了] を押します。共有ディスクに移動し、 production.sqlite3、mobilEcho_manager.cfg、priority.txt(これは存在しない場合があり ます)の 3 つのファイルを見つけてコピーしてから、それらを Acronis Access インストール ディレクトリに貼り付けて既存のファイルを置き換えます。

注意: 置き換える元のファイルは、一般に次の場所にあるはずです。

C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\ManagementUI\db\production.sqlite3

C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\ManagementUI\mobilEcho_manager.cfg

C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\Management\priority.txt

アクティブ ノードでの設定

- 1. ゲートウェイ サーバーのデータベースが共有ディスク上のロケーションとなるように設定します。
 - a. C:\Program Files (x86)\GroupLogic\mobilEcho Server\ に移動します。
 - b. database.yml ファイルを見つけ、テキスト エディタで開きます。
 - c. database_path: './database/'の行を見つけ、./database/を、使用するパスに置き換えます(database_path: 'S:/mobilEcho_cluster/database/'など)。

注意:パスの区切りにはスラッシュ(/)を使用します。

注意: 第1ノードで設定した database.yml をコピーして、第2ノードに貼り付けることができます。

必要なすべてのサービスを Acronis Access サービス グループに追加する

AcronisAccessGateway、AcronisAccessPostgreSQL(Acronis Access のバージョンに応じて異なる)、AcronisAccessRepository、および AcronisAccessTomcat の各サービスについて、以下の手順を実行します。

- 1. Acronis Access サービス グループを右クリックして、[リソースの追加] を選択します。
- 2. [汎用サービス]を選択します。

鬮フェールオーバー クラス・	ター マネージャー	
ファイル(F) 操作(A) 剥	表示(V) ヘルプ(H)	
🗢 🔿 🖄 📊 👔		
💐 フェールオーバー クラスタ	는 국차 ⁵⁷ AAS Cluster	
□ 韓 shimanoglilabs.co □ □ 開 サービスとアプル	m ケージョン AAS Clusterの標準	
AAS Clus	「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	1
표 🔮 기수ド	このサービスまたはアプリケーションをオフラインにする(P)	6.518346 , (+/.)
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	このサービスまたはアプリケーションを別のノードに移動(0) ▶	目期の開始にはい
🧾 クラスター イベ	共有と記憶域の管理(N)	
	共有フォルダーの追加(L)	
	このアプリケーションの重要イベントの表示(S)	
	記憶域の追加(D)	犬熊
	リソースの追加(A) 🕨	1 - Generic Application
	自動開始の無効化	2 - Generic Script 3 - Generic Service
	依存関係レポートの表示(Y)	4 - クライアント アクセス ポイント
	表示(∀)	その他のリソース(M)・・
	肖·耶余(D)	
	名前の変更(M) 長新の性報に重新(E)	
	ヘルフ(H)	J
•		
このアクションでは、サービスま		

3. 適切なサービスを選択して [次へ] をクリックします。

🔮 新しいリソース ウィナ	f∽k	×
ぼう サービスのう	選択	
サービスの選択 確認 汎用サービス の構成 概要	ー覧から使用するサービスを選択します: 名前 Acronis Access Gateway (Acronis AccessGat Acronis Access Tomcat Application Experience Application Identity Application Information Application Layer Gateway Service Application Management ASP.NET State Service Background Intelligent Transfer Service Base Filtering Engine	説明 Mobile Gateway Server for Acronis Access Tomcat Web Server for Acronis Access 7.0.42 起動するアプリケーション(ご対して、アプリケーション アプリケーションの ID を判定および検証します。こ 追加の管理者特権によるが話型アプリケーション インターネット接続共有に使用する、サード パーテ グループ ポリシーで展開されるソフトウェアに対する Provides support for out-of-process session アイドル状態のネットワーク帯域幅を使ってバックグ ベース フィルター エンジン (BFE) は、ファイアウォ マ・サ・ ETRR キレリ・ LETRR キャコマ・レート・レ
		次へ(N) > キャンセル

- 4. 確認ウィンドウで [次へ] をクリックします。
- 5. [レジストリ設定のレプリケート] ウィンドウで [次へ] をクリックします。
- 6. 概要ウィンドウで [完了] をクリックします。

依存関係の設定

1. Acronis Access サービス グループをダブルクリックします。

PostgreSQL および Acronis Access ファイル リポジトリ サービスについて、次の操作を実行 します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。

3. [リソース] をクリックし、追加した共有ディスクを選択します。

Acronis Access File Repository Serverのプロパティ	×
全般 依存関係 ポリシー 詳細なポリシー レジストリのレプリケーション	1
このリソースをオンラインにする前にオンラインにする必要のあるリソースを指定	i I
	-
AND/OR JUS-2	
Cluster Disk I w (たた明/S た)をわったス (c/t, ここた blue b L ア/ポネッ)	9
* 14(1子関1条を)恒川するには、ここをクリックしてください	-11
挿入(1) 肖順金(D)	i L
	- ⊨
Cluster Disk 1	
リソースの依存関係の動作	E
OK キャンセル 適用(A)	

4. [適用] をクリックしてウィンドウを閉じます。

PostgreSQL では、次の操作も実行します。

1. [レジストリ レプリケーション] タブをクリックします。

2. [追加] を押し、SYSTEM\CurrentControlSet\Services\AcronisAccessPostgreSQL\の ように入力します(旧バージョンの Acronis Access の場合、サービスが postgresql-x64-9.2 のように異なることがあります)。

	Acronic Access PostgreSOL070177	
2		
	全般 依存関係 ポリシー 詳細なポリシー レジストリのレプリケーション	
· 者 : ×T	プロガニリまた(ナサードコケード、ケード、カバレジコトリケキタ(中されることがまる)	
⊨ XTR	ため、プログラムやサービスが実行されているノードからこのデータを利用でき	
	るようにしてください。クラスターの全ノードにレプリケートされるべき	
	HKEY_LUUAL_MACHINEの下のレジストリキーを指定してたたい。	
ASClus		
	SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥AcronisAccessPostgreSQL	_
イニレジ	גריין גרין גרי גריין גריין גריי	×
Di ue	ート レジストリ キー(B)	
,,,	KEX LOCAL MACHINEX M¥CurrentControlSet¥Services¥AcronisAccessPostareSQ	Π
<u> </u>		
:A	OK キャンセル	
;A		11
: Acces:		
Acces:		
	追加(D)編集(E)削除(R)	
	OK キャンセル 適用(A)	

Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスでは、次の操作を実行します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。

3. [**リソース**] をクリックしてから、追加した共有ディスク、および**ネットワーク名**(クライアント アクセス ポイントの名前)を選択します。

Acronis	Access Ga	ateway	(AcronisA	ccessGatewa	y) [XT]{XT 🔀
全般	依存関係	ポリシー	詳細なポリ:	シートレジストリの	Dレプリケーション
ະທາງ	・ ソースをオンライ	しにする	' 前にオンライン	にする必要のある	5リソースを指定し
てくださ	S():				
	AND/OR	リソース	\ \		
		名前: n	nECluster		
	AND	Cluste	r Disk 1		<u> </u>
*	依存関係を追	助ける(お	は、ここをクリ	ックしてください	
				挿入(I)	削除(D)
タギ			atar Diak 1		
治則	: mediuster i	AND OIU:	ster Disk I		
					生存用があたいた
				<u>99-701</u>	<u> 秋仔関1条の動作</u>
			ОК	キャンセル	適用(A)

4. [適用] をクリックしてウィンドウを閉じます。

Acronis Access Tomcat サービスでは、次の操作を実行します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。

3. [リソース] をクリックし、依存関係として、PostgreSQL および Acronis Access ゲートウェイ サーバーのサービスを選択します。[適用] をクリックしてウィンドウを閉じます。

	AND JOD	1131. 7
	AND/UR	
•		Acronis Access Gateway (AcronisAccessGateway)
	AND	Acronis Access PostgreSQL
ŧ	依存関係を辿	自加するには、ここをクリックしてください
\cro	nis Access Ga nis Access Po	挿入(!) 削除(D) ateway (AcronisAccessGateway) [XT]:XT> AND ostgreSQL

注意: ゲートウェイ サーバーと Access サーバーを異なる IP アドレスで実行する場合は、Acronis Access サービス グループに第 2 IP をリソースとして追加し、ネットワーク名の依存関係として設定します。

サービス グループをオンラインにし、設定ユーティリティを使用する

- 1. Acronis Access サービス グループを右クリックし、[Bring this application or service group online] を押します。
- 2. 設定ユーティリティを起動します。mobilEcho からのアップグレードの場合、通常これは C:\Program Files (x86)\GroupLogic\Configuration Utility にあります。

3. Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サー ビス グループをリッスンするように設定します。

◎ Acronis Access 設定ユーティリティ ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリポジトリ	
サーバー エンドポイント アドレス The Client Access IP address ▼ ポート 443 証明書 Acronis Access … □ Access サーバーに対するプロキシ要求 □ ポート 80 での接続を許可します	- サービス アカウント © ローカル システム アカウント
 設定ログ	
自己署名証明書を作成しています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ	OK キャンセル 適用

4. Acronis Access サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サービス グルー プをリッスンするように設定します。

注意: [ポート 80 での接続を許可します] が選択されている場合、Tomcat は、セキュアでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートにリダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスをオンにしないでください。

 ◇ Acronis Access ゲートウェイ サー/ サーバー エンド アドレス ボート 証明書 ボート 80 て 	s 設定ユーティリティ ヾー Access サーバー ファイルリボジト! ポイント The Client Access IP address ▼ 443 Acronis Access *の接続を許可します	/)	ウント システム アカウント	
設定ログ ゲートウェイ サーバ ゲートウェイ サーバ Access サーバー の Access サーバー の ファイルリポジトリ の	ーの設定をロードしています ーの設定値が正常にロードされました 設定をロードしています 設定値が正常にロードされました D設定をロードしています D設定値が正常にロードされました			
ヘルプ		OK	キャンセル	適用

5. Acronis Access ファイル リポジトリが localhost 上でリッスンするように設定し、FileStore へのパスが共有ディスク上になるように変更します。このパスは、2 つのノードで同じにする必要があります。

Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リポジトリ サーバー エンドポイント アドレス 127.0.0.1 ボート 5787 ファイル ストアのパ E: \FileStorePath	小
設定ログ ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリボジトリ の設定をロードしています ファイルリボジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ OK キャンセル	道用

6. [OK] をクリックすると、設定が完了し、サービスが再起動します。

第2ノードでのインストールおよび設定

- 1. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 2. 第 2 ノードに Acronis Access をインストールします。ただし、今回は、デフォルトの Postgres データ ロケーション、および第 1 ノードと同じ postgres ユーザー パスワードを使 用します。
- 3. インストールを実行します。
- 4. ゲートウェイ サーバーのデータベースが共有ディスク上のロケーションとなるように設定します。
 - a. C:\Program Files (x86)\GroupLogic\mobilEcho Server\ に移動します。
 - b. database.yml ファイルを見つけ、テキスト エディタで開きます。
 - c. database_path: './database/'の行を見つけ、./database/を、使用するパスに置き換えます(database_path: 'S:/mobilEcho_cluster/database/'など)。
 注意: パスの区切りにはスラッシュ(/)を使用します。
 注意: 第 1 ノードで設定した database.yml をコピーして、第 2 ノードに貼り付けることができます。

注意: このパスは第 1 ノードで設定されているパスと同じでなければなりません。

- 5. Acronis Access サービス グループを第 2 ノードに移動します。そのためには、そのサービス グループを右クリックして [第 2 ノードに移動] をクリックします。
- 6. 設定ユーティリティを起動します。mobilEcho からのアップグレードの場合、通常これは C:\Program Files (x86)\GroupLogic\Configuration Utility にあります。

7. Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サー ビス グループをリッスンするように設定します。

	<mark>Acronis Acces</mark> ゲートウェイ サー	ss 設定ユーティリティ バー Access サーバー ファイルリ:	ポジトリ	1		X
	ーサーバーエンド アドレス ポート 証明書	*ポイント The Client Access IP address 443 Acronis Access	•	-サービス アオ © ローカル	ウント - システム アカウン	ŀ
	I Access サ 「ポート 80 ⁻ 定口グ	ーハーレットタークレキン要求 での接続を許可します				
重 ゲ A フ フ	自己署名証明書 『ートウェイ サー/ ccess サーバー(ccess サーバー(ゆイルリポジトリ	を作成しています ドーの設定値が正常にロードされまし D設定値が正常にロードされました の設定をロードしています の設定をロードしています	J.t.			
	ヘルプ			OK	キャンセル	適用

8. Acronis Access サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サービス グルー プをリッスンするように設定します。

注意: [ポート 80 での接続を許可します] が選択されている場合、Tomcat は、セキュアでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートにリダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスをオンにしないでください。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	<
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リボジトリ サーバー エンドポイント アドレス The Client Access IP address ボート 443 証明書 Acronis Access ボート 80 での接続を許可します	
 設定ログ	
ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ OK キャンセル 適用	

9. Acronis Access ファイル リポジトリが localhost 上でリッスンするように設定し、FileStore へのパスが共有ディスク上になるように変更します。このパスは、2 つのノードで同じにする必要があります。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	X
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリポジトリ サーバー エンドポイント アドレス 127.0.0.1 ポート 5787 ファイル ストアのパ E:\FileStorePath	サービス アカウント ・ ローカル システム アカウント ・ このアカウント パスワード パスワードの確認
設定ログ ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ	OK キャンセル 適用

10. [OK] をクリックすると、設定が完了し、サービスが再起動します。

- 5.3 Windows 2012 フェールオーバー クラスタ上の mobilEcho サーバーを Acronis Access にアップグレ ードする
- 1. [フェールオーバー クラスタ マネージャ] を開き、サービス グループをダブルクリックします。
- 2. mobilEcho サービスのリソースを削除します。 注意: クラスタ グループ全体をオフラインにしないでください。mobilEcho サービス リソースだけを削除 してください。
- 3. アクティブ ノードでインストーラを起動します。
- インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 5. 実行可能なインストーラをダブルクリックします。

Ac	rronis Access Advanced へようこそ
	Acronis Access
	Acronis Access Advanced セットアップ ユーティリティへ ようこそ このユーティリティは、Acronis Access をインストール、アップデート、または削除しま す。
	7.0.0x340 次ヘン キャンセル

- 6. [次へ] を押して開始します。
- 7. 使用許諾契約を読み、承諾します。
- 8. **[インストール]**を押します。

注意: 複数の Acronis Access サーバーを配置する場合や、標準構成以外でインストールを行う場合は、 [カスタム インストール] ボタンからインストールするコンポーネントを選択することができます。

9. Acronis Access メイン フォルダのデフォルト パスを使用するか新しいパスを選択し、[OK] を 押します。

Acronis Access のシステム パスを指定する
Acronis Access
Acronis Access システムのインストール先ドライブ文字を含む、絶対パスを入力してくださ い。 このディレクトリが存在しない場合は、作成されます。
注意:このパスのすべてのファイルとフォルダは、セットアップ時に置き換えられることがあります。 す。 Acronis Access システム ディレクトリー
C:¥Program Files (x86)¥Acronis¥Access¥ 参照
< 戻る 次へ > キャンセル

10. Postgres ユーザーのパスワードを設定し、書き留めておきます。このパスワードは、データベースのバックアップとリカバリに必要です。

11. 共有ディスクのうち **Postgres データ** フォルダのためのロケーションを選択して [次へ] をクリ ックします。

ローカルの PostgreSQL の構成
Acronis Access
PostgreSQL のインストール ロケーション:
データパス: S:¥PSQL 参照
PostgreSQL スーパーユーザー資格情報:
PostgreSQL スーパーユーザー パスワード: ********
パスワードを再入力してください: *******
PostgreSQL ポート: 5432
リモート アクセスのためにファイアウォールのこのポートを開く: 🥅
< 戻る 次へ > キャンセル

- 12. インストールされるコンポーネントがすべてリストされたウィンドウが表示されます。 続行するに は、 **[OK]**を押します。
- Acronis Access のインストーラが完了したら、[終了] を押します。共有ディスクに移動し、 production.sqlite3、mobilEcho_manager.cfg、priority.txt(これは存在しない場合があり ます)の 3 つのファイルを見つけてコピーしてから、それらを Acronis Access インストール ディレクトリに貼り付けて既存のファイルを置き換えます。

注意: 置き換える元のファイルは、一般に次の場所にあるはずです。

C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\ManagementUI\db\production.sqlite3 C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\ManagementUI\mobilEcho_manager.cfg

C:\Program Files (x86)\Group Logic\mobilEcho Server\Management\priority.txt

アクティブ ノードでの設定

- 1. ゲートウェイ サーバーのデータベースが共有ディスク上のロケーションとなるように設定します。
 - a. C:\Program Files (x86)\GroupLogic\mobilEcho Server\ に移動します。
 - b. database.yml ファイルを見つけ、テキスト エディタで開きます。
 - c. database_path: './database/'の行を見つけ、./database/ を、使用するパスに置き換え ます(database_path: 'S:/mobilEcho_cluster/database/' など)。

注意:パスの区切りにはスラッシュ(/)を使用します。

注意: 第 1 ノードで設定した database.yml をコピーして、第 2 ノードに貼り付けることができます。

必要なすべてのサービスを Acronis Access の役割に追加する

AcronisAccessGateway、AcronisAccessPostgreSQL(Acronis Access のバージョンに応じて異なる)、AcronisAccessRepository、および AcronisAccessTomcat の各サービスについて、以下の手順を実行します。

- 1. Acronis Access 役割を右クリックして、[リソースの追加] を選択します。
- 2. [汎用サービス]を選択します。



3. 適切なサービスを選択して [次へ] をクリックします。

🔮 新しいリソース ウィ	ゲード	×
(計 サービスの)	選択	
サービスの選択	一覧から使用するサービスを選択します:	
	名前	I兑明▲
7九用サービス (01件)が	Acronis Access Gateway (AcronisAccessGat	Mobile Gateway Server for Acronis Access
概要	Acronis Access Tomcat	Tomcat Web Server for Acronis Access 7.0.42
	Application Experience	起動するアプリケーションに対して、アプリケーション
	Application Identity	アプリケーションの ID を判定および検証します。こ…
	Application Information	追加の管理者特権による対話型アプリケーション
	Application Layer Gateway Service	インターネット接続共有に使用する、サード パーテ
	Application Management	グループ ポリシーで展開されるソフトウェアに対する…
	ASP.NET State Service	Provides support for out-of-process session
	Background Intelligent Transfer Service	アイドル状態のネットワーク帯域幅を使ってバックグ
	Base Filtering Engine	ベース フィルター エンジン (BFE)は、ファイアウォ… 🏻 🔤
	Constituents Description	
		次へ(N) > キャンセル

- 4. 確認ウィンドウで [次へ] をクリックします。
- 5. 概要ウィンドウで [完了] をクリックします。

アクセス ポイントの設定

1. Acronis Access 役割を右クリックして、[リソースの追加] を選択します。

2. [**クライアント アクセス ポイント**] を選択します。

- 44			フェール	レオーバー ク	ラスター マネージャー		
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へルプ(H)						
🗢 🔿 🙍 🖬 👔 🖬							
聰 フェールオーバー クラスター マネージ	公割 (1)						
⊿ 📲 Qi.glilabs.com	(又引(1) _{拾壶}				0 /7T		
1 役割	1208			1	7 11		
▷ 📮 ン 🕇	名前		状態	種類	所有者ノード	優先順位	情
▶ 🏨 ネットワーク	mE1	役割の開始(_()/言止)	<u></u> 7./#1	YANG	中	
國 クラスター イベント		役割の停止(τ)				
		221000	- /	•			
		1930(0)		(D)			
		スタートアップの	り 怪光順位の 変更((P) •			
	1	情報の詳細(D)				
		重要度の局い	いイベントの表示(W)			
		記憶域の追加	0(S)	ſ	I		
		リソースの追加	D(A)	•	クライアント アクセス ボイント		
		他のアクション	(M)	•	汎用アノリケーション		
	×	削除(∨)			シル用サービス	_	
		プロパティ(R)			アルホスクリント その他のリソーフ(M)	•	>
	v 🔜 mF	1			(H) (H) (日)		カノード
		-					
	名前		状態	情報			^
	Microsoft 分散	タトランザクション	コーディネーター				_
	🎧 New D	Distributed Tra	🕭 オフライン				
	記憶域		0				≡
	🕀 📑 Cluster	r Disk 2	(全) オンライン				$\overline{}$
				ш			

3. このアクセス ポイントの名前を入力します。

4. ネットワークを選択します。

🔮新しいリソース ウィ!	チード		×
👔 ካライアント	・アクセス ポイント		
<mark>クライアント アクセス ポ イント</mark> 確認 クライアント アクセス ポ イント の構成 概要	ネットワーク名と IP アドレスの入力: 名前(A): AASCluster 1 つ以上の IP∨4 アドレスを自動的に構成でき ていることを確認し、アドレスを入力してください。 ネットワーク ▼ 172.27.0.0/16	ませんでした。使用するネットワークごとに、ネットワ アドレス 172.27.25.25	ークが選択され
		次へ(N) >	キャンセル

- 5. IP アドレスを入力して [次へ] をクリックします。
- 6. 確認ウィンドウで [次へ] をクリックします。
- 7. 概要ウィンドウで [完了] をクリックします。

共有ディスクの追加

1. Acronis Access の役割を右クリックして、[ストレージの追加] を選択します。

2. 共有ドライブを選択します。

		×
=	容量	
717		
	OK(0)	キャンセル
	ライン	容量 ライン

依存関係の設定

1. Acronis Access の役割を選択し、[リソース] タブをクリックします。

PostgreSQL および Acronis Access ファイル リポジトリ サービスについて、次の操作を実行 します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。

3. [リソース] をクリックし、追加した共有ディスクを選択します。

Acronis Access File Repository Serverのプロパティ	×
全般 依存関係 ポリシー 詳細なポリシー レジストリのレプリケーション	
このリソースをオンラインにする前にオンラインにする必要のあるリソースを指定し	L
てください	
AND/OR リソース	
Cluster Disk 1	
* 依存関係を追加するには、ここをクリックしてください	
Cluster Disk 1	
リソースの依存関係の動作	
OK キャンセル 適用(A)	1

4. [適用] をクリックしてウィンドウを閉じます。

Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスでは、次の操作を実行します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。

3. [**リソース**] をクリックしてから、追加した共有ディスク、および**ネットワーク名**(クライアント アクセス ポイントの名前)を選択します。

Acronis	Access Ga	teway	(Acronis	AccessGate	way)	[XT]{XT 🗙
全般	依存関係	ポリシー	詳細なボ	リシー レジス	พดก	プリケーション
このり、	・ リースをオンライ	ンにする	・ 前にオンライ	ンにする必要の)あるり)	ノースを指定し
てくださ	<u>s():</u>					
	AND/OR	リソース	501 .			
		名前: r	nECluster			
	AND	Cluste	r Disk 1			
*	依存関係を追	加する(こは、ここを?	リックしてくださ	() ()	
				挿入(I)		削除(D)
之前。	mECluster A		otor Diok	1		
-10810-	- IIIEOluster P		SIGI DISK	1		
				IN 1	1.0/+7	フロロノズ のかわげた
				<u>99-</u> 2	5001481-	<u> 日英11年(7月8月11日</u>
		(DK	キャンセル		適用(A)

4. [適用] をクリックしてウィンドウを閉じます。

Acronis Access Tomcat サービスでは、次の操作を実行します。

- 1. 適切なサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [依存関係] タブをクリックします。
- 3. [リソース] をクリックし、依存関係として、PostgreSQL および Acronis Access ゲートウェイ サーバーのサービスを選択します。[適用] をクリックしてウィンドウを閉じます。

注意: ゲートウェイ サーバーとアクセス サーバーを異なる IP アドレスで実行する場合は、第 2 IP を リソースとして Acronis Access 役割に追加し、それをネットワーク名の依存関係として設定します。

croni	s Access To	mcatのプロパティ		
全般	依存関係		リシー レジストリの	レプリケーション
この! して [.]	・ リソースをオンライ ください:	(ンにする前にオンライ	ンにする必要のある	リソースを指定
	AND/OR	リソース		
•		Acronis Access Ga	ateway (AcronisAcc	essGateway)
	AND	Acronis Access Po	ostgreSQL	
*	依存関係を追	助力する(こは、ここを)	フリックしてください	
			挿入(!)	<u> </u>
Acr Acr	Acronis Access Gateway (AcronisAccessGateway) [XT] <xt> AND Acronis Access PostgreSQL</xt>			
			リソースの依	;存関係の動作
			Sec. S. Level 1	

役割の開始と設定ユーティリティの使用

- 1. Acronis Access の役割を右クリックして、[役割の開始] を押します。
- 2. 設定ユーティリティを起動します。mobilEcho からのアップグレードの場合、通常これは C:\Program Files (x86)\GroupLogic\Configuration Utility にあります。

3. Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サー ビス グループをリッスンするように設定します。

 Acronis Access 設定ユーティリティ ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリボジ サーバー エンドポイント アドレス The Client Access IP address ボート 443 証明書 Acronis Access ニー Access サーバーに対するプロキシ要求 ボート 80 での接続を許可します	ドリ サービス アカウント ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
設定ログ 自己署名証明書を作成しています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリボジトリ の設定をロードしています ファイルリボジトリ の設定をロードしています ファイルリボジトリ の設定値が正常にロードされました	▲ ▼ OK キャンセル 適用

4. Acronis Access サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サービス グルー プをリッスンするように設定します。

注意: [ポート 80 での接続を許可します] が選択されている場合、Tomcat は、セキュアでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートにリダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスをオンにしないでください。

💩 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リボジトリ サーバー エンドボイント サービス アカウント アドレス The Client Access IP address ・ ボート 443 ・ 証明書 Acronis Access ・ ボート 80 での接続を許可します ・ ・	
ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ OK キャンセル 適用	

5. Acronis Access ファイル リポジトリが localhost 上でリッスンするように設定し、FileStore へのパスが共有ディスク上になるように変更します。このパスは、2 つのノードで同じにする必要があります。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリポジトリ サーバー エンドポイント アドレス 127.0.0.1 ポート 5787 ファイル ストアのパ E:\FileStorePath	・サービス アカウント ● ローカル システム アカウント ● このアカウント パスワード パスワードの確認
設定ログ ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
	OK キャンセル 適用

6. [OK] をクリックすると、設定が完了し、サービスが再起動します。

第2ノードでのインストールおよび設定

- 1. インストールされているウイルス対策ソフトウェアをすべて無効にしてください。無効にしない場合は、インストール手順が中断され、インストールが失敗する可能性があります。
- 2. 第 2 ノードに Acronis Access をインストールします。ただし、今回は、デフォルトの Postgres データ ロケーション、および第 1 ノードと同じ postgres ユーザー パスワードを使 用します。
- 3. インストールを実行します。
- 4. ゲートウェイ サーバーのデータベースが共有ディスク上のロケーションとなるように設定します。
 - a. C:\Program Files (x86)\GroupLogic\mobilEcho Server\ に移動します。
 - b. database.yml ファイルを見つけ、テキスト エディタで開きます。
 - c. database_path: './database/'の行を見つけ、./database/を、使用するパスに置き換えます(database_path: 'S:/mobilEcho_cluster/database/'など)。
 注意: パスの区切りにはスラッシュ(/)を使用します。
 注意: 第 1 ノードで設定した database.yml をコピーして、第 2 ノードに貼り付けることができます。

注意: このパスは第 1 ノードで設定されているパスと同じでなければなりません。

PostgreSQL の場合、レジストリを手動で複製する必要があります。

- 1. Regedit を開きます。
- 2. HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\AcronisAccessPost greSQL\ に移動します。
- 3. キー「ImagePath」を開き、キーの値の一部を次のように変更します: -D "The path you selected for the PostgreSQL data location" (例: -D "E:/PostgreSQL/data")。
- 4. キー「DataDirectory」を開き、値を PostgreSQL のデータ フォルダに選択したパスに変更し ます(例: E:/PostgreSQL/data)。

₫ I	レジス	자기파	ディター					x
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H)								
PerfDisk	^	名前		種類	データ			
		ab)(既	ま)	REG_SZ	(値の設定なし)			
🔉 - 🚹 PerfNet		ab Dep	endOnSer	REG_MULTI_SZ	RPCSS			
PerfOS		ab Des	cription	REG SZ	Provides relational datab	ase storad	ie.	
PerfProc		ab Dis	olavName	REG_SZ	postaresal-x64-9.2 - Post	areSOL S	erver	r 9.2
⊳]] pla		200 Erro	orControl	REG DWORD	0x0000001 (1)			
⊳]] PlugPlay		ab Im:	anoDath	REC EXPAND SZ	C:/PostareSOL/0.2/bin/n	n ctl eve i	runee	anvice
PolicyAgent		ahlOhi	octNamo	REG_EXPAND_32	NT AUTUORITVXNotwork	Convice	runae	I VICE
			ecuvarite	REG_32	0v00000000 (2)	Coervice		
postgresql-x64-9.2		ພາ	n.	REG_DWORD	0x0000002 (2)			
⊳ -]] Power		i 📷 i Ab	e	REG_DWORD	0X0000010 (16)			
PptpMiniport								
▶ - 🚹 PrintNotify								
▶ - 🚹 ProfSvc								
⊳ - 🚹 Psched								
⊳ - <mark>]]</mark> } ql2300				t	マ字列の編集		>	κ 📘
⊳ - 🚹 ql40xx				^	 3.2.3.020mp#c 		_	
⊳ - 🚹 RasAcd	≡		値の名前(N	1):				
🔈 📲 RasAgileVpn			ImageDat	-/ +h				1
RasAuto			ImagePa	ui				
⊳ - 🚹 Rasl2tp			値のデータ()	v):				
⊳]] RasMan			No runcor	-/	x64.0.2" D."Ct/DoctaroSO	/0.2/Data	-" - 14	a 📕
⊳ - 🚹 RasPppoe			xe runser	vice -in postgresqi-	x04-9.2 -D C./PostgresQ	_/9.2/Data	a -vv	9
⊳ - 🚹 RasSstp					OK	++++++	ad .	1
					UK	+170	ענ	1
								_
⊳ 🗓 rdpbus								
RDPNP								
	H	1						
The start area a	Ľ	`						1
ンビューター¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥postgresql-x64-9.2								

- 5. Regedit を閉じ、続けて以下のステップを実行します。
- 6. Acronis Access の役割を第 2 ノードに移動します。

第 2 ノードの設定ユーティリティの使用

1. 設定ユーティリティを起動します。mobilEcho からのアップグレードの場合、通常これは C:\Program Files (x86)\GroupLogic\Configuration Utility にあります。 2. Acronis Access ゲートウェイ サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サー ビス グループをリッスンするように設定します。

۲	Acronis Acc	ess設定ユーティリティ	_	×
	ゲートウェイサ	ーバー Access サーバー ファイルリポジト	기	.
	「サーバーエン	/ドポイント	┐ ┌ サービス アカウント────	1
	アドレス	The Client Access IP address 💌	💿 ローカル システム アカウント	
	ポート	443		
	証明書	Acronis Access		
	Access	サーバーに対するプロキシ要求		
	□ ポート 8) での接続を許可します		
- IS	(定口グ			
É	3己署名証明:	書を作成しています		-
þ	ドートウェイ サー	バーの設定値が正常にロードされました		
Α	iccess サーバー	の設定をロードしています		
A	ccess サーバー	の設定値が正常にロードされました		
2	ワイルリポジト	ノの設定をロードしています		
2	ァイルリポジト) の設定値が正常にロードされました		-
	ヘルプ		OK キャンセル 適用	

3. Acronis Access サーバー サービスが、IP アドレス上で Acronis Access サービス グルー プをリッスンするように設定します。

注意: [ポート 80 での接続を許可します] が選択されている場合、Tomcat は、セキュアでないポート 80 で着信トラフィックをリッスンし、それを上記で指定された HTTPS ポートにリダイレクトします。ポート 80 上でリッスンする別のプログラムがある場合は、このボックスをオンにしないでください。

💿 Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイルリボシ サーバー エンドポイント アドレス The Client Access IP address ボート 443 証明書 Acronis Access ボート 80 での接続を許可します	7トリ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
 設定ログ	
ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定をロードしています Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリポジトリ の設定をロードしています ファイルリポジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ	OK キャンセル 適用

4. Acronis Access ファイル リポジトリが localhost 上でリッスンするように設定し、FileStore へのパスが共有ディスク上になるように変更します。このパスは、2 つのノードで同じにする必要があります。

Acronis Access 設定ユーティリティ	×
ゲートウェイ サーバー Access サーバー ファイル リボジトリ サーバー エンドボイント アドレス 127.0.0.1 ボート 5787 ファイル ストアのパ E: \FileStorePath	
 設定Dグ	_
ゲートウェイ サーバー の設定をロードしています ゲートウェイ サーバー の設定値が正常にロードされました Access サーバー の設定値が正常にロードされました ファイルリボジトリ の設定をロードしています ファイルリボジトリ の設定値が正常にロードされました	
ヘルプ OK キャンセル 適用	

5. [OK] をクリックすると、設定が完了し、サービスが再起動します。

6 クイック スタート: モバイル アクセス

このガイドでは、ゲートウェイ サーバーの設定、データ ソースの追加、および Access モバイル クライアント アプリケーションのインストールに不可欠な手順について説明します。Acronis Access ゲートウェイ サーバーと Client Management コンポーネントの構成に関する詳細については、 「ゲートウェイ サーバーの管理」と「モバイル アクセス」のセクションを参照してください。

セクションの内容

初期設定	178
最初のゲートウェイ サーバーとデータ ソースの構成	182
ポリシーの設定	185
Access モバイル クライアント アプリケーションのインストール	186
クライアント管理での登録	187

6.1 初期設定

Acronis Access のインストールと構成をまだ行っていない場合は、それを実行します。詳細については、「インストール『5ページ』」セクションと「設定ユーティリティ『10ページ』」セクションを参照してください。

ウェブ インターフェイスを初めて開いたときに、デフォルト管理者アカウントのパスワードを設定する 必要があり、ログイン後にセットアップ ウィザードが表示されます。

警告: 管理者パスワードを忘れることがないようにしてください。サポート部門でそのパスワードを復元することはできません。

注意:構成ユーティリティからの起動後、アプリケーションが使用可能になるまでに 30 から 45 秒かかることがあります。

上記の手順が完了すると、下記に示されている初期構成を進める準備が整います。

全般設定

サーバー設定	
サーバー名	Acronis Access
ウェブ アドレス	https://www.echoserver.com
モバイル クライアント登録 アドレス	www.echoserver.com
カスタム ロゴを使用	
監査ログの言語	日本語
保存	

- 1. [サーバー名] にサーバー名を入力します。
- 2. ユーザーが(http:// または https:// で始まる)ウェブ サイトにアクセスできるFQDN または IP アドレスを指定します。
- 3. モバイル ユーザーが登録する FQDN または IP アドレスを指定します。
- 4. カラー スキームを選択します。現在のオプションは、[灰色]、[紫]、[カプチーノ]、[青]、[濃紺]、お よび [オレンジ] です。
- 5. [監査ログ] のデフォルトの言語を選択します。現在のオプションは、[英語]、[ドイツ語]、[フラン ス語]、および [日本語] です。
- 6. [保存] を押します。

SMTP

SMTP

Acronis Access サーバーは、構成された SMTP サーバーを使用して電子メールを送信し、ファイルの共有やデバイスの登録のためにユーザーを招待したり、ユーザーや管理者にサーバー アクティビティを通知します。

SMTP サーバー アドレス	myemailserver.mycompany.com
SMTP サーバー ポート	25
セキュリティで保護された 接続を使用しますか?	
差出人名	Access Administrator
差出人電子メール アドレス	adminname@mycompany.com
SMTP 認証を使用します か?	
保存 テスト用の電子	メールの送信 SMTP セットアップのスキップ

注意: この手順をスキップして、後で SMTP を構成することもできます。

- 1. SMTP サーバーの FQDN または IP アドレスを入力します。
- 2. サーバーの SMTP ポートを入力します。
- SMTP サーバーの証明書を使用しない場合は、[セキュリティで保護された接続を使用します か?] のチェックを外します。
- 4. サーバーによって送信される電子メールの「差出人」行に表示されるユーザー名を入力します。
- 5. サーバーから送信される電子メールのアドレスを入力します。
- 6. SMTP サーバーでユーザー名やパスワードの認証を使用している場合は、[認証を使用します か?] をチェックし、認証情報を入力してください。
- 7. [**テスト用の電子メールの送信**] を押して電子メールを手順 5 で指定したテスト用の電子メール アドレスに送信します。
- 8. [保存]を押します。
LDAP

LDAP

組織内のユーザーにモバイル アクセス、同期アクセス、および共有アクセスを提供するために、Active Directory への LDAP 接続を使用することができます。LDAP は、管理対象外のモバイル アクセスや、 同期および共有サポートに対しては不要ですが、管理対象のモバイル アクセスには必要になります。 Microsoft Active Directory への LDAP 接続のみがサポートされています。

LDAP を有効にしますか?	
LDAP サーバー アドレス	Idap.company.com
LDAP サーバー ポート	389
セキュリティで保護された LDAP 接続を使用します か?	
LDAP ユーザー名	domain\Administrator
LDAP パスワード	•••••
LDAP バスワードの確認入 力	•••••
LDAP 検索ベース	dc=company, dc=com
LDAP 認証のためのドメイ ン	 例: mycompany.com。このリストに含まれるドメ インの電子メール アドレスを使用しているユー ザーは、LDAP に対して認証する必要がありま す。他のドメインのユーザーは、Acronis Access データベースに対して認証します。 mycompany.cc ・追加 一削除 一削除 二 完全に一致している必要があります
LDAP 情報をキャッシュす る間隔	15
保存 LDAP のセット	アップをスキップ

注意: この手順をスキップして、後で LDAP を構成することもできます。

- 1. [LDAP を有効にしますか?] をチェックします。
- 2. LDAP サーバーの FQDN または IP アドレスを入力します。
- 3. LDAP サーバーのポートを入力します。
- 4. LDAP サーバーとの接続に証明書を使用する場合は、[セキュリティで保護された LDAP 接 続を使用しますか?] をチェックします。
- 5. LDAP の資格情報をドメインも含めて入力します(例: acronis¥hristo)。
- 6. LDAP 検索ベースを入力します。
- 7. LDAP 認証のドメインを入力します(例えば、電子メール joe@glilabs.com のアカウントの LDAP 認証を有効にするには、glilabs.com と入力します)。
- 8. [保存] を押します。

ローカル ゲートウェイ サーバー

ローカル ゲートウェイ サーバー

Acronis Access のモバイル アプリケーション クライアントは、ゲートウェイ サーバーのアドレスを使用して Access サーバーに接続します。サーバーの設定によっては、デスクトップ同期クライアントおよびウェブ クライア ントもこのサーバーに接続されていることがあります。ゲートウェイ サーバーは現在 192.168.2.129:443 で動作 しています。クライアントの接続設定では、接続元となるすべてのネットワークからアクセス可能な DNS アドレス を使用することが推奨されますクライアントがプロキシ サーバーを経由して接続する場合、このアドレスはプロキ シ サーバーの実際の DNS アドレスにすることができます(例: gateway.mycompany.com)。

クライアントがサーバーに接続するために使用 するアドレス: 192.168.2.129:443

保存 スキップ

注意: 同じコンピュータにゲートウェイ サーバーと Acronis Access サーバーの両方をインストールする場 合、ゲートウェイ サーバーが自動的に検出され、Acronis Access サーバーに管理されます。クライアントが アクセス可能なローカル ゲートウェイ サーバーの FQDN または IP アドレスを設定するように指示するメ ッセージが表示されます。このアドレスは後から変更できます。

- 1. ローカル ゲートウェイ サーバーの FQDN または IP アドレスを設定します。
- 2. [保存] を押します。

6.2 最初のゲートウェイ サーバーとデータ ソースの構成

新しいゲートウェイ サーバーの登録:

- 1. ゲートウェイ サービスがインストールされているコンピュータを参照します。
- 2. https://localhost/gateway_admin を開きます。

注意: デフォルトのポート番号は、443 です。デフォルトのポートを変更した場合は、「localhost」の後ろ にポート番号を追加してください。

3. [管理キー] を書き留めます。



- 4. Acronis Access ウェブ インターフェイスを開きます。
- 5. [モバイル アクセス] タブを選択します。
- 6. [ゲートウェイ サーバー] ページを開きます。
- 7. [新しいゲートウェイ サーバーの追加] ボタンを押します。

新しいゲートウェイ サーバーの追加

表示名:

Marketing Gateway

管理のアドレス: 🚯

https:// 192.168.1.72

🔲 クライアント接続に代替アドレスを使用 🚯

管理キー: 🚯

4KR9-X77D-X7YX

- 自己署名証明書を使用した Acronis Access サーバーからの接続を 許可
- 8. ゲートウェイ サーバーの表示名を入力します。
- 9. ゲートウェイ サーバーの FQDN または IP アドレスを入力します。

注意: リバース プロキシ サーバーまたはロードバランサを経由してモバイル クライアントをゲートウェイ に接続する場合、[クライアント接続に代替アドレスを使用] を有効にして、リバース プロキシ サーバー またはロードバランサの FQDN または IP アドレスを入力してください。

- 10. [管理キー] を入力します。
- 11. 必要に応じて、[自己署名した証明書を使用した Acronis Access サーバーからの接続を許可] を有効にして、自己署名した証明書を使用することで、このゲートウェイに接続することができます。
- 12. [保存] ボタンを押します。

注記: ゲートウェイ サーバーが 1 つ以上あることを確認してください。

データ ソースの作成

新しいフォルダを追加

×

表示名: Marketing Project

このデータソースにアクセス権を付与するために使用するゲートウェイ サーバーを選択する:

Local (192.168.2.129:443)
データのロケーション: ゲートウェイ サーバー上
この Acronis Access ゲートウェイ サーバー上で共有するローカル フォルダのバスを入力します(例: "E:\Shares\Documents\")。ワイルドカード文字列 %USERNAME% をパスに含めることができます。この場合、ワイルドカードはユーザーのユーザー名で置き換えられます。
パス: C:\Shares\Documents\Marketing Project
同期: なし
▼ サーバーの参照時に表示する □ Salesforce.com アクティビティのログ記録を必須にする A G

ユーザーまたはグルーブにこのフォルダを割り当てる

次に該当するユーザーまたはグルー	ブを検索	先頭の文字	*
jprice	検索		

データ ソースを作成する手順は、次のとおりです。

- 1. Acronis Access ウェブ インターフェイスを開きます。
- 2. [モバイル アクセス] タブを選択します。
- 3. [データ ソース] タブを開きます。
- 4. [フォルダ] に移動します。
- 5. [新しいフォルダの追加] ボタンを押します。
- 6. フォルダの表示名を入力します。
- 7. フォルダへのアクセスを提供するゲートウェイ サーバーを選択します。
- データのロケーションを選択します。ロケーションとして、実際のゲートウェイ サーバー、他の SMB サーバー、SharePoint サイトまたはライブラリ、同期と共有サーバー上を選択できます。
 注意: 同期と共有を選択するときは、必ずサーバーのフル パスをポート番号と共に入力してください(例: https://mycompany.com:3000)。
- 9. ロケーションの選択に基づき、フォルダ、サーバー、サイトまたはライブラリへのパスを入力します。
- 10. フォルダの同期タイプを選択します。
- 11. Acronis Access モバイル クライアントがゲートウェイ サーバーを参照した場合に、このデータ ソースが表示されるようにするには [サーバーの参照時に表示する] を有効にします。
- 12. フォルダを Salesforce アクティビティ ログが必要な場合に選択します。
- 13.フォルダを割り当てるユーザーやグループを参照し選択します。
- 14. [保存] ボタンをクリックします。

6.3 ポリシーの設定

クライアント管理にユーザーを登録するには、ユーザー ポリシーまたはグループ ポリシーを設定 する必要があります。ポリシーの詳細については、「ユーザーおよびグループ ポリシー」の記事を 参照してください。

新しいグループ ポリシーを追加するには

- 1. [グループ ポリシー] タブを選択します。
- 2. 新しいグループ ポリシーを追加するには、[新しいポリシーの追加] ボタンをクリックします。こ れにより、[新しいグループ ポリシーの追加] ページが表示されます。

新しい グループ ホ	パリシー の	D追加			保存キャンセル
ディレクトリを検索し、このポリ	リシーの グループ	プを選択します。			
選択された グループ:					
次に該当するグループを検索	先頭の文字		¢ domain ad	検索	
共通名/表示名		識別名			\$
Domain Admins		CN=Domain Ad	mins,CN=Users,DC=glila	os,DC=com	
ポリシーの設定のコピー元:		\$	適用		
重要な注意事項: Acronis Acce AppConnect に対して異なる リシー設定に関する例外の詳 パーを設定することができます	ss ポリシー設定 方法で適用され mが表示されます f。	には、 Acronis A るものがあります す。特定のクライ)	Access for Android、Acro 。これらの例外には、 アント プラットフォームの	onis Access for Good Dynamics および Acro および 🌒 アイコンを表示しています。 A みが Acronis Access サーバーの使用 接続でき	nis Access with MobileIron 各アイコンの上にマウスを移動すると、ポ きるように Acronis Access Gateway サー
セキュリティ ポリシー ア	プリケーション	ポリシー 同期	同ポリシー ホーム フォ	ルダ サーバー ポリシー	

- [次に該当するグループを検索] フィールドに、ポリシーを作成する対象の Active Directory グ ループ名の一部または全部を入力します。[先頭の文字] または [含まれる文字] 検索を Active Directory グループに対して実行できます。[先頭の文字] の検索は、[含まれる文字] の検索よりも短時間で完了します。
- 4. [検索]をクリックし、表示される結果でグループ名を見つけてクリックします。
- 5. [セキュリティ]、[アプリケーション]、[同期]、[ホーム フォルダ]、および [サーバー] の各タブで必要な設定をしてから [保存] をクリックします。

新しいユーザー ポリシーを追加するには

- 1. [ユーザー ポリシー] タブを選択します。
- 2. 新しいユーザー ポリシーを追加するには、[新しいポリシーの追加] ボタンをクリックします。こ れにより、[新しいユーザー ポリシーの追加] ページが表示されます。

かに該当するユーザーを検索	先頭の文字	字	≜ bristo	检索			
+30/==0		Statul Ar	V	1XXX		B <i>H</i> 4 3 4	
hristo		CN=hristo,CN=	=Users,DC=glilabs,DC=com		·	hristo	
リシーの設定のコピー元:			◆ 適用				

- [ユーザーの検索] フィールドに、ポリシーを作成する対象の Active Directory ユーザー名の 一部または全部を入力します。[先頭の文字] または [含まれる文字] 検索を Active Directory ユーザーに対して実行できます。[先頭の文字] の検索は、[含まれる文字] の検索よりも短時 間で完了します。
- 4. [検索]をクリックし、表示される結果でユーザー名を見つけてクリックします。
- 5. [セキュリティ]、[アプリケーション]、[同期]、[ホーム フォルダ]、および [サーバー] の各タブで必要な設定をしてから [保存] をクリックします。

6.4 Access モバイル クライアント アプリケーションのイン ストール

- 1. Apple または Android のアプリ ストアで Acronis Access を参照します。
 - iOS デバイスの場合、Apple App Store にアクセスして Acronis Access を検索するか、 リンク http://www.grouplogic.com/web/meappstore にアクセスします。
 - Android デバイスの場合、Google Play ストアにアクセスして Acronis Access を検索す るか、リンク https://play.google.com/store/apps/details?id=com.grouplogic.mobilecho にアクセスします。
- 2. Access モバイル クライアント アプリケーションをインストールし、タップして起動します。
- 3. ようこそ画面で [続行] をタップします。

- iOS では「+」アイコンをタップし、サーバーを追加します。
- Android では [設定] メニューを開き、[サーバーを追加] をタップします。
- Acronis Access サーバーまたはゲートウェイ サーバーをインストールしたサーバーのサーバ ー名または IP アドレスを入力します。サーバー リストに表示されるこのサーバーの表示名を 任意で入力できます。
- 5. ゲートウェイ サーバーにアクセスできるユーザーのユーザー名を入力します。 <RPODUCT_NAME> は標準の NTFS アクセス権を使用してアクセスを規制します。
- 6. パスワードを保存する場合は、[パスワードの保存]をオンに切り替えてから、パスワードを入力し、確認のためにもう一度入力します。
- 7. [保存] をタップしてサーバーの設定を確定します。
- 8. 左側のペインに一覧表示されるサーバーをタップして接続し、使用可能なボリュームを参照します。
- 9. Access モバイル クライアント アプリケーションの設定と機能の詳細については、「モバイル クライアント」のページを参照してください。

6.5 クライアント管理での登録

モバイル アクセスを有効にして Acronis Access をインストールした後は、以下の 2 つの方法で Access モバイル クライアントを使用できます。

組織が Access モバイル クライアントのアクセスおよび設定を集中管理している場合、Acronis Access へのアクセス権を IT 部門に要求する必要があります。アクセス権が付与されたら、登録 用電子メールを受け取ることになります。その電子メールには、Access モバイル クライアントの使 用を開始するために必要な情報および手順が示されています。

Access モバイル クライアントが集中管理されずに Acronis Access サーバーへのアクセスが許可されている場合、Acronis Access サーバー名、ユーザー名、およびパスワードを入力するだけで使用を開始できます。

管理登録招待メールを送信した各ユーザーは、次の情報が含まれる電子メールを受け取ります。

- Apple App Store から Access モバイル クライアントをインストールするためのリンク
- Access モバイル クライアント アプリケーションを起動し、登録処理を自動化するために使用 するリンク
- ワンタイム PIN コード
- 管理サーバーのアドレス

電子メールの指示に従って、Access モバイル クライアントをインストールし、登録情報を入力 します。

From: Access Administrator <pam@glilabs.com> Subject: Acronis Access へようこそ Date: February 12, 2014 9:57:12 AM

Hide

pam@glilabs.com

会社によって提供されているモバイル ファイル管理アプリケーション Acronis Access へのアクセス権が付与されました。

この電子メールには、Acronis Access アプリケーションのセットアップ手順が記載されています。以下の PIN コードは、1 台のデバイスで Acronis Access をアクティブにするために使 用できます。これらの手順を完了する前に、ネットワークへのアクセスがあることを確認してください。

Acronis Access アブリをまだインストールしていない場合、今すぐインストールしてください。

Acronis Access for iOS をインストールするにはここをタップしてください(iPad、iPhone、iPod Touch) Acronis Access for Android をインストールするにはここをタップしてください

2. 登録ブロセスを次の手順で行います。

iOS の場合:

1. このリンクをタップして登録を自動的に開始するか、次の手順を実行して手動で登録してください。

- 2. Acronis Access アラリを起動して、ようこそ回面で [今すぐ登録] をタップします。 3. ようこそ回面が表示されない場合は、[設定] アイコン、[登録] ボタンの順にタップします。
- 以下の情報を入力します。

Android の場合:

1. このリンクをタップして登録を自動的に開始するか、次の手順を実行して手動で登録してください。

- Acronis Access アリンを起動して、デバイスで「メニュー」ボタンをタッブします。
 [設定]を選択して、[今すぐ登録]をタッブします。

4. 以下の情報を入力します。

PTN: DEMA77NC サーバー アドレス: 192.168.1.72:3000 ユーザー名: pam@glilabs.com バスワード:会社のバスワードを入力

登録 PIN は 2014/02/22 16:31:17 に期限切れになります。

4. セキュリティポリシーで要求されている場合、アプリケーションロックパスワードの作成を指示するプロンプトが表示されます。このパスワードは、Acronis Access アプリを起動 するときに入力する必要があります。

これらの手順を完了すると、利用可能なサーバーとフォルダが Acronis Access に表示されます。

Acronis Access の使い方については、『Acronis Access Client ユーザー ガイド』を参照してください。

これ以上のサポートについては、IT 部門にお問い合わせください。

Access モバイル クライアントが既にインストールされていて、デバイスでこの電子メールを表示し ている間にユーザーが [自動的に登録を開始するにはこのリンクをタップ...]オプションをタップした 場合、Acronis Access が自動的に起動し、登録フォームが表示されます。ユーザーのサーバー アドレス、PIN コード、およびユーザー名もこの URL でエンコードされているため、登録フォーム内 のこれらのフィールドは自動的に入力されます。この時点で、ユーザーがパスワードを入力するだ けで登録処理が完了します。

必要なユーザー名とパスワードは、ユーザーの Active Directory のユーザー名とパスワードです。 これらのログイン情報は、ゲートウェイ サーバーへのアクセスのために適切なユーザーまたはグル ープの管理ポリシーを照合するのに使用され、また、Acronis Access サーバー ログインのための ログイン情報を保存するため(管理ポリシーで許可されている場合)に使用されます。

管理ポリシーでアプリケーション ロック パスワードが必須になっている場合は、パスワードを入力 するように要求するメッセージが表示されます。この初期パスワードの設定時および将来のアプリケ ーション ロック パスワードの変更時には、ポリシーで設定されているすべてのパスワードの複雑さ の要件を満たす必要があります。

デバイスにローカルでファイルを保存することがポリシーで制限されている場合は、既存のファイル が削除されることを示す警告が表示され、削除する前に操作する必要があるファイルがある場合は、 管理設定処理をキャンセルすることができます。

^{3. [}登録] ボタンをタップします。

管理に登録するには

登録用電子メールを使った自動登録

- 1. IT 管理者から送信された電子メールを開き、Acronis Access をまだインストールしていない場合は「Acronis Access をインストールするにはここをクリック」というリンクをクリックします。
- 2. Acronis Access がインストールされたら、デバイスで招待メールに戻り、電子メールの手順 2 の「自動的に登録を開始するにはこのリンクをクリック」をタップします。
- 3. 登録フォームが表示されます。招待メール内のリンクを使用して登録処理を開始する場合は、 サーバーのアドレス、PIN コード、およびユーザー名は自動的に入力されます。

注記: サーバーで PIN コードが不要な場合は、登録フォームに表示されません。

- パスワードを入力し、[今すぐ登録] をタップして続行します。
 注記: ユーザー名とパスワードは会社の標準のユーザー名とパスワードです。これは、コンピュータまた は電子メールにログインするために使用するパスワードと同じ場合があります。
- 5. フォーム全体に入力した後で、[登録] ボタンをタップします。
- 社内のサーバーの設定によっては、管理サーバーのセキュリティ証明書が信頼されていないことを示す警告が表示されることがあります。この警告を受け入れて続行するには、[常に続行] をクリックします。
- 7. Access モバイル クライアント アプリケーションのアプリケーション ロック パスワードが必要 な場合は、パスワードを設定するように要求されます。パスワードの複雑性の要件が適用され ている場合があり、必要な場合はそれが表示されます。
- 管理ポリシーで Acronis Access でのファイルの保存が制限されているか Access モバイル クライアント アプリケーション内で個別のサーバーを追加する機能が無効にされている場合、 確認ウィンドウが表示されることがあります。Access モバイル クライアント アプリケーションで ローカルに保存したファイルがある場合は、[マイ ファイル] ローカル ファイル ストレージ内の ファイルが削除されることを確認するように要求するメッセージが表示されます。[いいえ] を選 択すると、管理登録処理がキャンセルされ、ファイルは変更されずに残ります。

手動登録

- 1. Acronis Access アプリケーションを開きます。
- 2. [設定]を開きます。
- 3. **[登録]** をタップします。
- 4. サーバーのアドレス、PIN コード(必要な場合)、ユーザー名、パスワードを入力します。
- 5. フォーム全体に入力した後で、[登録] ボタンをタップします。
- 社内のサーバーの設定によっては、管理サーバーのセキュリティ証明書が信頼されていないことを示す警告が表示されることがあります。この警告を受け入れて続行するには、[常に続行] をクリックします。
- Access モバイル クライアント アプリケーションのアプリケーション ロック パスワードが必要 な場合は、パスワードを設定するように要求されます。パスワードの複雑性の要件が適用され ている場合があり、必要な場合はそれが表示されます。

管理ポリシーで Acronis Access でのファイルの保存が制限されているか Access モバイル クラ イアント アプリケーション内で個別のサーバーを追加する機能が無効にされている場合、確認ウィ ンドウが表示されることがあります。Access モバイル クライアント アプリケーションでローカルに 保存したファイルがある場合は、[マイ ファイル] ローカル ファイル ストレージ内のファイルが削除 されることを確認するように要求するメッセージが表示されます。[いいえ] を選択すると、管理登録 処理がキャンセルされ、ファイルは変更されずに残ります。

継続的な管理の更新

初期管理設定の後、Access モバイル クライアントは、アプリケーションが起動されるたびに管理 サーバーに接続しようとします。設定変更、サーバーまたはフォルダの割り当ての変更、アプリケー ション ロック パスワードのリセット、またはリモート ワイプは、そのときにクライアントに受け入れら れます。

接続要件

Acronis Access クライアントが、プロファイルのアップデート、リモート パスワードのリセット、およびリモート ワイプの指示を受け取るには、Acronis Access サーバーへのネットワーク アクセスが必要です。クライアン トが、Acronis Access にアクセスする前に VPN に接続する必要がある場合は、管理コマンドを受け付ける 前に VPN に接続する必要があります。

管理の削除

Access モバイル クライアントを管理から削除する場合、次の2つのオプションを使用できます。

- 「管理を使用」オプションをオフにする(ポリシーで許可されている場合)
- Access モバイル クライアント アプリケーションを削除する

Acronis Access の管理ポリシーの設定によっては、Access モバイル クライアントを管理から削除する権限が与えられている場合があります。削除すると、通常は社内のファイル サーバーにアク セスできなくなります。この操作が許可されている場合、以下の手順に従ってデバイスを非管理にします。

デバイスを管理するには、次の操作を行います。

- 1. [設定] メニューをタップします。
- 2. [管理を使用] オプションをオフにします。
- デバイスを管理から削除するときに Access モバイル クライアントのデータが必ず消去される ように、プロファイルで指定されている場合があります。消去したくない場合はこの時点で処理を キャンセルできます。

4. 確認ウィンドウで [はい] をタップして Acronis Access を管理から削除することを確認します。

注意: Acronis Access 管理プロファイルでクライアントを非管理にすることが許可されていない場合は、[設 定] メニューに [管理を使用] オプションが表示されません。この場合、デバイスを管理から削除するには、 Access モバイル クライアント アプリケーションをアンインストールする必要があります。アプリケーションを アンインストールすると、Access モバイル クライアントの既存のデータと設定がすべて消去され、再インスト ール後にデフォルトのアプリケーションの設定に戻ります。 Access モバイル クライアント アプリケーションをアンインストールするには、次の操作を行います。

- 1. Access モバイル クライアント アプリケーションのアイコンが揺れ始めるまでアイコンを指で押し続けます。
- 2. Access モバイル クライアント アプリケーションの [X] ボタンをタップし、アンインストール処理 を確認します。

Access モバイル クライアント アプリケーションを再インストールするには、 http://www.grouplogic.com/web/meappstore にアクセスします。

7 クイック スタート: 同期と共有

このガイドでは、同期と共有の設定、ウェブ インターフェイスを使ったファイルへのアクセス、および Acronis Access デスクトップ クライアントの使用に関する基本的な手順について説明します。これ らのコンポーネントの構成に関する詳細については、「同期と共有」と「デスクトップ クライアント」の セクションを参照してください。

セクションの内容

初期設定	192
ファイルにアクセスするためのウェブ インターフェイスの使用	197
デスクトップ クライアントの使用	202

7.1 初期設定

Acronis Access のインストールと構成をまだ行っていない場合は、それを実行します。詳細については、「インストール『5ページ』」セクションと「設定ユーティリティ『10ページ』」セクションを参照してください。

ウェブ インターフェイスを初めて開いたときに、デフォルト管理者アカウントのパスワードを設定する 必要があり、ログイン後にセットアップ ウィザードが表示されます。

警告: 管理者パスワードを忘れることがないようにしてください。サポート部門でそのパスワードを復元することはできません。

注意:構成ユーティリティからの起動後、アプリケーションが使用可能になるまでに 30 から 45 秒かかることがあります。

上記の手順が完了すると、下記に示されている初期構成を進める準備が整います。

全般設定

サーバー設定	
サーバー名	Acronis Access
ウェブ アドレス	https://www.echoserver.com
モバイル クライアント登録 アドレス	www.echoserver.com
カスタム ロゴを使用	
監査ログの言語	日本語
保存	

- 1. [サーバー名] にサーバー名を入力します。
- 2. ユーザーが(http:// または https:// で始まる)ウェブ サイトにアクセスできる FQDN または IP アドレスを指定します。
- 3. モバイル ユーザーが登録する FQDN または IP アドレスを指定します。
- 4. カラー スキームを選択します。現在のオプションは、[灰色]、[紫]、[カプチーノ]、[青]、[濃紺]、お よび [オレンジ] です。
- 5. [監査ログ] のデフォルトの言語を選択します。現在のオプションは、[英語]、[ドイツ語]、[フラン ス語]、および [日本語] です。
- 6. [保存] を押します。

SMTP

SMTP

Acronis Access サーバーは ルを送信し、ファイルの共有 り、ユーザーや管理者にサー	t、構成された SMTP サーバーを使用して電子メー やデバイスの登録のためにユーザーを招待した -バー アクティビティを通知します。
SMTP サーバー アドレス	myemailserver.mycompany.com
SMTP サーバー ポート	25
セキュリティで保護された 接続を使用しますか?	
差出人名	Access Administrator
差出人電子メール アドレス	adminname@mycompany.com
SMTP 認証を使用します か?	
保存 テスト用の電子 注意: この手順をスキップして、後で	・メールの送信 SMTP セットアップのスキップ SMTP を構成することもできます。

- 1. SMTP サーバーの FQDN または IP アドレスを入力します。
- 2. サーバーの SMTP ポートを入力します。
- 3. SMTP サーバーの証明書を使用しない場合は、[セキュリティで保護された接続を使用します か?] のチェックを外します。
- 4. サーバーによって送信される電子メールの「差出人」行に表示されるユーザー名を入力します。
- 5. サーバーから送信される電子メールのアドレスを入力します。
- 6. SMTP サーバーでユーザー名やパスワードの認証を使用している場合は、[認証を使用します か?] をチェックし、認証情報を入力してください。
- 7. [テスト用の電子メールの送信] を押して電子メールを手順 5 で指定したテスト用の電子メール アドレスに送信します。
- 8. [保存] を押します。

LDAP

LDAP

組織内のユーザーにモバイ Directory への LDAP 接続 同期および共有サポートに Microsoft Active Director	(ル アクセス、同期アクセス、および共有アクセスを提供するために、Active 誌を使用することができます。LDAP は、管理対象外のモバイル アクセスや、 対しては不要ですが、管理対象のモバイル アクセスには必要になります。 y への LDAP 接続のみがサポートされています。
LDAP を有効にしますか?	
LDAP サーバー アドレス	Idap.company.com
LDAP サーバー ポート	389
セキュリティで保護された LDAP 接続を使用します か?	
LDAP ユーザー名	domain\Administrator
LDAP バスワード	•••••
LDAP バスワードの確認入 力	•••••
LDAP 検索ベース	dc=company, dc=com
LDAP 認証のためのドメイ ン	 例: mycompany.com。このリストに含まれるドメ インの電子メール アドレスを使用しているユー ザーは、LDAP に対して認証する必要がありま す。他のドメインのユーザーは、Acronis Access データベースに対して認証します。 mycompany.co ・追加 一削除 一削除 二 完全に一致している必要があります
LDAP 情報をキャッシュす る間隔	15
保存 LDAP のセット	アップをスキップ

注意: この手順をスキップして、後で LDAP を構成することもできます。

- 1. [LDAP を有効にしますか?] をチェックします。
- 2. LDAP サーバーの FQDN または IP アドレスを入力します。
- 3. LDAP サーバーのポートを入力します。
- 4. LDAP サーバーとの接続に証明書を使用する場合は、[セキュリティで保護された LDAP 接 続を使用しますか?] をチェックします。
- 5. LDAP の資格情報をドメインも含めて入力します(例: acronis¥hristo)。
- 6. LDAP 検索ベースを入力します。
- 7. LDAP 認証のドメインを入力します(例えば、電子メール joe@glilabs.com のアカウントの LDAP 認証を有効にするには、glilabs.com と入力します)。
- 8. [保存] を押します。

ローカル ゲートウェイ サーバー

ローカル ゲートウェイ サーバー

Acronis Access のモバイル アプリケーション クライアントは、ゲートウェイ サーバーのアドレスを使用して Access サーバーに接続します。サーバーの設定によっては、デスクトップ同期クライアントおよびウェブ クライア ントもこのサーバーに接続されていることがあります。ゲートウェイ サーバーは現在 192.168.2.129:443 で動作 しています。クライアントの接続設定では、接続元となるすべてのネットワークからアクセス可能な DNS アドレス を使用することが推奨されますクライアントがプロキシ サーバーを経由して接続する場合、このアドレスはプロキ シ サーバーの実際の DNS アドレスにすることができます(例: gateway.mycompany.com)。

クライアントがサーバーに接続するために使用 するアドレス: 192.168.2.129:443

保存 スキップ

注意: 同じコンピュータにゲートウェイ サーバーと Acronis Access サーバーの両方をインストールする場 合、ゲートウェイ サーバーが自動的に検出され、Acronis Access サーバーに管理されます。クライアントが アクセス可能なローカル ゲートウェイ サーバーの FQDN または IP アドレスを設定するように指示するメ ッセージが表示されます。このアドレスは後から変更できます。

1. ローカル ゲートウェイ サーバーの FQDN または IP アドレスを設定します。

2. [保存] を押します。

7.2 ファイルにアクセスするためのウェブ インターフェイス の使用

セクションの内容

 ウェブ ブラウザを起動して https://myserver https://myserver に移動します。この myserver は Acronis Access サーバーが稼動しているコンピュータの URL または IP アド レスのことです。

Acronis Access	
Acronis Access へようこそ 管理者の初期バスワードを設定してください。	
♪ パスワード パスワードの確認入力	
バスワードの設定	

- 2. 資格情報を指定してログインします。
 - a. Acronis Access サーバーをインストールした直後の場合、インストール プロセス後に設定 したパスワードを指定して管理者としてログインします。ウェブ インターフェイスを初めて開 いた場合は、ここでパスワードを設定するよう要求されます。
 - b. Acronis Access に招待する電子メールを受信した場合は、この時点で自分のパスワード を設定するか、Active Directory の資格情報を使用してログインする必要があります。
 - c. 認証およびユーザー アカウント プロビジョニングに Active Directory を使用するように Acronis Access サーバーを設定した場合は、有効なネットワーク資格情報を使用してログ インできます。

注意: デフォルトの管理者としてログインした場合、ウェブ クライアントへのアクセス権限はありません。デフォルトの管理者以外のアカウントを使用する必要があります。

フォルダの作成

- 1. [フォルダの作成] ボタンをクリックし、新しいフォルダの名前を入力します。この例では Marketing Project を使用します。
- 2. [保存] ボタンを押します。

同期および共有

同期	タイプ	名前 ▼	サイズ	更新日時
		Marketing Project 保存 キャンセル		

ファイルのアップロード

- 1. 新しいフォルダの名前をクリックしてそのフォルダに移動します。
- 2. **[ファイルのアップロード]** ボタンをクリックして **[ファイルの追加...]** ボタンをクリックし、コンピュ ータからファイルを 1 つまたは複数選択します。

ファイルのアップロード		×
AAS7.0bookid_rtm	0.00 MB	
Acronis Access 7.0.xlsx	0.01 MB	Ø
複数ファイルの選択		完了

3. ユーザーがいるフォルダにファイルがアップロードされます。[完了] を押します。

ファイルをアップロードする別の方法は、ファイルをウェブ ページにドラッグ アンド ドロップすることです。



ファイルまたはフォルダをクリックすると、実行できる操作が右のサイドバーに表示されます。

$\hat{\mathcal{Y}}$	ダウンロード
\checkmark	リビジョン
1	名前の変更
\oplus	שציי
Ŕ	移動
	電子メール リンク
B	リンクを取得
\otimes	削除

ファイルのダウンロード

ファイルをダウンロードする場合は、ファイル名をクリックします。ファイル名またはフォルダ名の右 側の行をクリックし、サイドバーで **[ダウンロード]** を押すことで、ファイルをダウンロードすることもで きます。

Х

注意: Internet Explorer を使用する場合、ファイルをダウンロードするためには、[暗号化されたページをディ スクに保存しない] にチェック マークが付いていない状態にしておく必要があります。この設定は、[インター ネット オプション] ' [詳細設定] ' [セキュリティ] にあります。

ファイルまたはフォルダのコピー

ファイルやフォルダをコピーする場合は、次の操作を実行します。

- 1. ファイル名またはフォルダ名の右側の行をクリックし、[コピー]を選択します。
- 2. 新しいライトボックスで、ファイルの貼り付け先のフォルダに移動して [コピー] を押します。

ファイルまたはフォルダの移動

- 1. ファイル名またはフォルダ名の右側の行でクリックし、[移動]を選択します。
- 2. 新しいライトボックスで、ファイルの移動先のフォルダに移動して [移動] を押します。

フォルダの共有

注意:他のユーザーから共有されたファイルやフォルダを別のユーザーと共有する場合、別のユーザーをその共有に招待するための権限が必要です。別のユーザーを招待する権限がない場合、ファイルとフォルダを他のユーザーと共有することはできません。右のサイドバーの [共有] オプションも表示されません。

同僚や取引先とフォルダを共有するには、次の操作を実行します。

- 1. フォルダが置かれている場所に応じて、[同期および共有] または [ネットワーク] をクリックしま す。管理ポリシーによっては、[ネットワーク] タブにアクセスできない場合があります。
- 2. 共有するフォルダをクリックして、サイドバーから [共有] を選択します。



3. [共有] ライトボックスに、電子メール アドレスと適切なテキスト メッセージを入力します。送信 者の情報とアクセス手順を含む電子メールが生成され、受信者に送信されます。

Marketing Project に招待する

メンバーをこのフォルダに招待

frank.burton@glilabs.com

メッセージ(オブション)

Frank, this is the project we are working on. Please make any changes to the included documents as needed.

□ 編集と削除を許可

- ── 他のメンバーを招待することを許可
- ── 他のメンバーがこの共有を閲覧することを許可

招待メールの言語 日本語 -

フォルダの共有

キャンセル

Х

注意: [編集と削除を許可] チェック ボックスを無効にした場合、招待されたユーザーは、共有フォルダに 含まれるドキュメントのダウンロードと読み取りしか実行できません。

単一ファイルの共有

注意:他のユーザーから共有されたファイルやフォルダを別のユーザーと共有する場合、別のユーザーをその共有に招待するための権限が必要です。別のユーザーを招待する権限がない場合、ファイルとフォルダを他のユーザーと共有することはできません。右のサイドバーの [共有] オプションも表示されません。

- 1. Acronis Access ウェブ インターフェイスを開きます。
- 2. 管理者アカウントでログインしていた場合、右上隅から [管理画面を閉じる] を押します。
- 3. 目的のファイルを見つけ、ファイル名の隣の行をクリックします。

a) 電子メールでのリンクの送信

- a. サイドバーから [リンクの送信] を選択します。
- b. 目的の有効期限と、招待に使用する言語を入力します。
- c. ダウンロード リンクを送信する、ユーザーの電子メール アドレスを入力します。
- d. [送信] を押します。
- b) その他の方法でのリンクの送信
 - a. サイドバーから [リンクを取得] を選択します。
 - b. 目的の有効期限と、招待に使用する言語を入力します。
 - c. [リンクをコピー] を押します。
 - d. 希望する方法でリンクを共有します。

電子メール通知の登録

自分が共有しているフォルダに対して電子メール通知アラートを申し込むことができます。

- 1. 通知を登録するには、その共有フォルダに移動し、サイドバーで [通知] をクリックします。
- 2. 通知に関する条件を選択し、[保存]を押します。

通知の管理

デフォルトの通知	共有の通知を力スタマイズ			
間隔(分単位) 60				
□ ファイルがダウンロードされたときに通知する				
□ ファイルおよびフォルダが追加されたときに通知する				
🗌 ファイルおよびフォルダがアップデートされたときに通知する				
□ ファイルおよびフォルダが削除されたときに通知する				
🗌 ユーザーが招待または削除されたときに通知する				
🗌 エラーが発生したときに通知する				
保存しずべての共有に適用する				
	閉じる			

7.3 デスクトップ クライアントの使用

初期設定

注意: Acronis Access デスクトップ クライアントをまだインストールしていない場合は、「クライアントのインストールと設定」のガイドに従ってインストールできます。

- 構成プロセス中に、同期するために選択したフォルダを開きます。これは通常のフォルダなので、 Sync Folder と呼ぶ代わりに、より一般的な名前を使用してください。この例では、My Projects という名前を付けました。
- 2. Marketing Campaign という名前のフォルダを My Projects 内に作成します。
- 3. テキスト ドキュメントを My Projects 内に作成してテキストを入力し、保存してから閉じます。

Х

4. Collaterals という名前を使用し、My Projects 内に別のフォルダを作成します。

🔐 l 💽 🕕 = l	My Projects				– – X
ファイル ホーム 共有	表示				~ ()
🔄 🔄 🔻 🚺 🕨 My		✓ Ċ My	Projectsの検索	Q	
숡 お気に入り	名前	更新日時	種類	サイズ	
🝌 ダウンロード	🐌 Collaterals	2014/02/11 11:06	ファイル フォルダー		
📰 デスクトップ	퉬 Marketing Campaign	2014/02/11 13:45	ファイル フォルダー		
週 最近表示した場所	퉬 Marketing Project	2014/02/11 11:07	ファイル フォルダー		
	퉬 Neuer Ordner	2014/02/11 16:22	ファイル フォルダー		
PC 🛒	🔁 Corporate documents.pdf	2007/09/29 17:25	Adobe Acrobat	472 KB	
🐌 ダウンロード	Marketing.docx	2014/02/11 15:14	Office オープン X	259 KB	
隆 デスクトップ					
📗 ドキュメント					
📔 ピクチャ					
🍺 ビデオ					
🜗 ミュージック					
📥 ローカル ディスク (C:)					
🖣 ネットワーク					
6 個の項目					

- 5. コンピュータからファイルをコピーし、そのフォルダにファイルを配置します。
- ここで、フォルダを同僚と共有します。これは、Windows Explorer もしくは他のウェブ ブラウザ を使用することで実行できます。Windows Explorer を使用してデスクトップからコンテンツを共 有するには、手順 7 を実行します。他のウェブ ブラウザを使用してコンテンツを共有するには、 手順 8 を実行します。

注意: この記事の最後に記載されている方法で、単一ファイルのみを共有することもできます。

- 7. これをデスクトップから直接行う場合は、Marketing Campaign フォルダを選択します。
 - a. このフォルダを右クリックします。
 - b. コンテキスト メニューから [Acronis Access と共有] を選択します。

	開<(O)	
	新しいウィンドウで開く(E)	
-	Acronis Access ウェブ サイトで表示	
-	Acronis Access の以前のバージョンを表示	
-	Acronis Access と共有	
	共有(H)	۲
	以前のバージョンの復元(V)	
	ライブラリに追加(I)	►
	スタートにピン留め(P)	
	送る(N)	•
	切り取り(T)	
	⊐ピ–(C)	
	ショートカットの作成(S)	
	削除(D)	
	名前の変更(M)	
	プロパティ(R)	

- c. ウェブ ブラウザが起動され、招待ダイアログが表示されます。
- d. 電子メール アドレスと適切なテキスト メッセージを [招待] ダイアログに入力します。

Х

Marketing Project に招待する

メンバーをこのフォルダに招待					
frank.burton@glilabs.com					
メッセージ(オプション)					
Frank, this is the project we are working on. Please make any changes to the included documents as needed.					
 □ 編集と削除を許可 □ 他のメンバーを招待することを許可 □ 他のメンバーがこの共有を閲覧することを許可 					
招待メールの言語 日本語 -	フォルダの共有 キャンセル				

ウェブ ブラウザを使用する場合は、次の操作を実行します。

- 1. https://server.com/ https://server.com/ を開きます。**server.com** は Acronis Access サー バーのアドレスを示します。ユーザー名とパスワードの資格情報を使用してログインしてください。
- 2. フォルダが置かれている場所に応じて、[同期および共有] または [ネットワーク] をクリックしま す。管理ポリシーによっては、[ネットワーク] タブにアクセスできない場合があります。

3. 共有するフォルダをクリックして、サイドバーから [共有] を選択します。



4. [共有] ライトボックスに、電子メール アドレスと適切なテキスト メッセージを入力します。送信 者の情報とアクセス手順を含む電子メールが生成され、受信者に送信されます。

Marketing Project に招待する

メンバーをこのフォルダに招待

frank.burton@glilabs.com

メッセージ(オブション)

Frank, this is the project we are working on. Please make any changes to the included documents as needed.

□ 編集と削除を許可

📃 他のメンバーを招待することを許可

── 他のメンバーがこの共有を閲覧することを許可

招待メールの言語 日本語・

フォルダの共有

キャンセル

 \times

注意: [編集と削除を許可] チェック ボックスを無効にした場合、招待されたユーザーは、共有フォルダに含まれるドキュメントのダウンロードと読み取りしか実行できません。

他のユーザーの招待に使用された方法に関係なく、受信者は、内部(Active Directory)ユーザーであるか外部ユーザーであるかに応じて 1 通、または 2 通の電子メールを受信します。

- a. 外部ユーザーの場合、最初の電子メール(件名:「Acronis Access に招待されました」) には、個人用パスワードを設定するためのリンクが含まれます。
- b. 2 通目の電子メール(件名:「Marketing Campaign へのアクセス権が付与されました」) には、送信者のメッセージおよび共有ファイルにアクセスするためのリンクが含まれます。

招待されたユーザーがリンクをクリックしてシステムにアクセスし、必要に応じてパスワードを設定すると、送信者とその同僚は Marketing Campaign フォルダのファイルへのアクセスを共有します。

Access デスクトップ クライアントについて同僚に説明し、コンピュータ間でファイルを自動的に同期 できるようにしてください。

 注意: Mac OS X と Windows ではパスの最大の長さが異なるため、クロス プラットフォーム 展開では同期エラーが発生することがあります。Windows では、「C:¥mysharefolder¥」の部 分も含めたパス全体に、合計 260 文字(MAX_PATH)という OS 制限がかかります。このた め、Windows の場合、ファイル名の最大の長さは、260 - (共有フォルダのパスの長さ) - 1 (NULL ターミネータ)です。

たとえば、ユーザーが C:¥my_shared_documents を共有していて、 C:¥my_shared_documents¥this_is_a_folder¥ にファイルをダウンロードしようとしている場合、 そのサブディレクトリのファイル名の最大の長さは、260 - 40 - 1 = 219 文字になります。Mac OS X の制限は 1024 文字です。